

激江

DENKO



1995・春・神戸に

'95

大阪経済大学同窓会

先生と学生のハートをオンライン

いま、マルチメディアで変わるキャンパスライフ

INTERNET

インターネットワーキング

E-Mail

サイバースペース

エコノミクス

マルチメディアコミュニケーション

ORIONS
大阪地域大学間
ネットワーク

CAMPUS
NET WORK
キャンパスネットワーク

学生

先生

WWW

WindowsNT

情報処理実習等で利用される実習室。
FLORA 3010 DV (Pertium 90 MHz, PCTバス)。

ウィンドウズ環境による高機能な教育環境をサポート。小さな文字もみやすい15インチモニタ。

ビデオ、教材提示装置、教師卓ディスプレイ情報などを取り入れたマルチメディア情報による教育。



開室時間中いつでも自由に利用できるオープン端末室。

CAMPUS LIFE

グラビア
キャンパスライフ
先生と学生のハートをオンライン
大経大周辺マップ／キャンパスマップほか

特集
座談会
「心のふるさと、我が母校」
母校を想うトップの集い……………1

◆ キャンパスライフ ……………14
これが21世紀の学園
クラブ戦績……………21

◆ 学園ニュース ……………22
理事長・学長あいさつ
国際交流／教務／入試／就職 ほか

◆ ゼミ短信・先生の近況 ……………32

◆ 本部だより ……………39
会長あいさつ／前会長あいさつ／総会／理事会／全国支部長会

◆ 支部だより ……………44
話題の同窓生(阿部淑子氏・関田庄司氏)……………45
平成7年支部総会一覧……………53
支部長一覧……………54

◆ OOBネットワーク ……………55
ホットインタビュー
田中富三氏・古谷七五三次氏・木村正人氏・江守光起氏……………64・65

◆ 北から南から ……………71

◆ お知らせ 事務局……………77



PHENIX号

表紙作品紹介

成田 一徹 (本名：徹)
【生年月日】 昭和24年10月9日生(45歳)
【出身地】 兵庫県神戸市
【連絡先】 東京都台東区谷中6-2-11
【卒業年次】 昭和48年(39回)
【所属ゼミ】 山本晴義ゼミ(学部)、鈴木亨ゼミ(修士課程)
【略歴】 1949年神戸市生まれ。切り絵作家

'76年大阪経済大学修士課程修了後、(社)神戸港振興協会に勤務。
'80年頃から切り絵技法に目覚め、様々な公募展に出品、受賞を重ねる。
'82年神戸のオールドスタイルバーを切り絵で紹介した「酒場の絵本」を自費出版(共著)。仕事のかたわら、毎日新聞、サンデー毎日等に連載で作品を掲載。
'88年、サラリーマン生活に終止符、東京に居を移す。以後、フリーの切り絵作家として現在にいたる。
今は新聞、雑誌、書籍等を中心に作品を発表するかたわら、年に個展を2~3回、グループ展を1~2回のペースで開催している。
今年('95年)は毎日新聞、早川書房、文藝春秋、PHP出版、マガジンハウス等で連載をもった。また、8月6日付の朝日新聞高校野球特集のフロントページを切り絵で飾った。
個展:17回
著書:「酒場の絵本」(共著)「ペンとカラーインクの描き方」(共著)「一徹の酒場だより」(あまから手帖社)「最新切り絵教室」(誠文堂新光社)



「澱江」の由来

題字:渡辺達好名誉会長

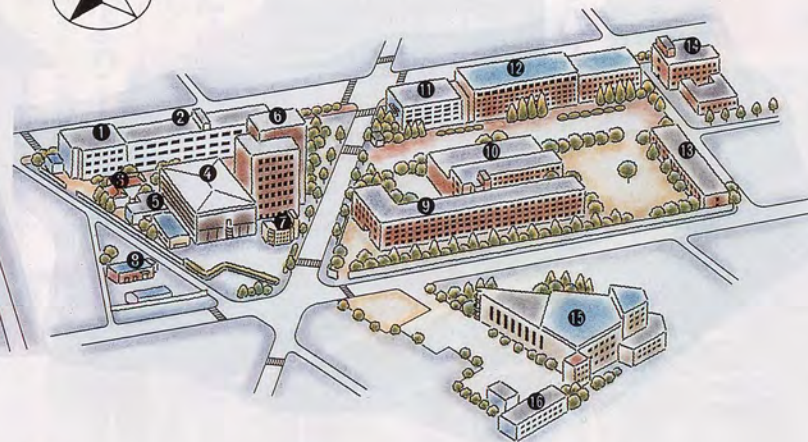
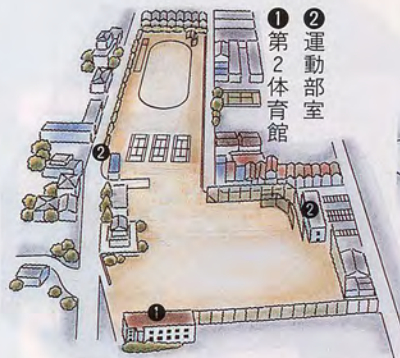
初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌(現在の学園歌)の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。
ちなみに岩波漢語辞典によれば、【澱江】大阪の淀川。澱水(でんすい)、澱河(でんが)。「淀」は「澱(でん)」に通ずると記載されています。



●キャンパスマップ

- 1 A館
- 2 B館
- 3 大学院館
- 4 体育館
- 5 体育特別教室
- 6 50周年記念館(E館)
- 7 芸術会館
- 8 西学舎別置書庫
- 9 本館
- 10 図書館
- 11 C館
- 12 D館
- 13 学生クラブ室
- 14 MIC(F館)
- 15 学生会館(生協)
- 16 学生クラブ室

●江口グラウンド



●大経大周辺マップ



ご存じですか?

これが今年の私たちの顔です!

JR新大阪駅コンコース内
電照広告

長居第2陸上競技場 看板

阪急梅田駅
電照広告

KEIDAI CAMPUS '95 ACT I

特集 座談会

母校を想うトツプの集い

心のふるさと、我が母校
 現世の利害を越えた心の故郷
 立ち戻って英気を養う心の基地
 貴重な青春時代の思い出の場
 人生の師や友人との出会いの場

- 出席者
- 桑津 昇(11) 母校理事長
 - 上島 武 母校前学長
 - 萩原 市郎(10) 同窓会会長
- オフザーバー
- 岩谷 宣治(11) 母校専務理事
 - 陰下 嘉典(16) 同窓会事務局長
 - 波根 伸俊(32) 同窓会広報部長

平成7年7月18日
大阪・新阪急ホテルにて

※この座談会は平成7年7月18日に収録されたものです。



母校を想うトップの集い

会長 同窓会の主催というところでございますので、借越でございますが、一言ご挨拶を申し上げます。非常にご多忙なところ、学長、理事長、専務理事においでいただきまして本当にありがとうございます。今日は、忌憚のないお話を聞かせていただきたいと思っております。

私が同窓会長ということになりましたのは、昨年の12月17日でございます。就任するやいなや祝福してくれるのか脅かすのか、今年の1月17日、ちょうど1ヶ月目ですが、大地震に直面しまして、その後、その対応に追われておりまして、ゆっくりと将来展望を考える余裕もなく、今日に至っておりますので、何をお話すればよいかわかりませんが、ひとつよろしく願っています。

司会 本日はお忙しいなか、ありがとうございます。

特集「心のふるさと、我が母校」も、これで第6回目になります。同窓会誌の『澱江』につきましては、数万の会員間と母校間の貴重なパイプ役ということで、情報源として読者に親しまれ、少々啓発的な雑誌であるべきだということに基づきまして、こういう座談会が始まったという経緯がございます。本日は、新任されました理事長及び同窓会長、そして学長に、トップの座談会ということで、幅広くお話をお願いしたいと思います。

さっそくですが、御三人の抱負をお聞きしたいと思います。まず桑津理事長から、お願いいたします。

シヤッポではない理事長職

理事長 あらたまつて抱負と言われると、あたりさわりのない表現になりますが、実のある話が一つ二つでも出れば何よりだと思っております。

同窓会長と同じく昨年の12月の暮れ近くの理事会におきまして、鈴木理事長のご退任になった。その前にすでに、一昨年の7月から鈴木理事長を補佐するという意味で、岩谷専務理事と私が学内理事という体制が約1年半続いたわけでございますね。

これは裏話になるわけなんです。その時特に鈴木さんが退陣する前に、何度も二人で話し合いをいたしておりましたが、後任理事長就任についてはイエスは与えてなかったわけなんです。お断り申し上げます。私自身も現役であるし、オーナーであるんだし、とてもとても理事長という大役はその任にあらずということをお断りしております。私自身は、補佐する立場であればいかなることでもいとやしない。だから、指名された途端に非常に逡巡したわけなんです。しかし、諸々の葛藤をのりこえて確か1月27日でしたが、そこで正式に鈴木さんの退任、私の理事長就任が決まり、同時に評議員会の開催ということもあつて、評議員会にご報告申し上げて、私の抱負と決意を申し上げ、理事長就任が実現したわけなんです。

だが、また味わい深いものがあり、想えば懐かしい限りです。



岩谷 宣治 専務理事

3年目学長の抱負

司会 学長ご抱負お願いいたします。

学長 学長としての抱負ということですが、最初に前置きを一つか二つ。桑津理事長が就任されて間もないというのとは違いますが、私はすでに3年目の学長です。学長選挙規程にありますように、任期もございますので、これからお話しすることは、学長としての私の抱負ということもありませんけれども、それ以上に、これまでの経験をふまえて、その中



桑津 昇 理事長

ところが理事長になってみて、初めは、たいてい忙しくもないだろう、シヤッポでいいんだ。そう体を拘束されることもなからう。会社の社長と十分両立させていくことができ。そういう気持ちでおったわけなんです。ところが中へ入りますと、当然のこと、学内の会議とか卒業式、入学式と、会合が多いわけです。それに極力顔を出して、全面的にフォローアップしていくことが前提であり、振り返ってみて、理事長職というのは大変なことだなという実感以上のものを持ちました。同時に、理事長も大変だけれども、学長はそれ以上に学内、学外の対外的な折衝、そういう言うに言えないはざままでお苦しみもあるということをよく感じ取りました。この前の同窓会の理事会でご挨拶申し上げたように、学長先生とは一心同体だ。二人で一つの人格を形成しておる。理事長は対外的にいかなる場

で感じてきたことで、今後も大阪経済大学の一教員として、こういう大学になってほしい。そのためには、自分でその時点その時点でできることはやろう、そういう趣旨でお話したい。

もう一つは、学長というものは、なる前もそういうふうを意識していたと思えますけれども、できることよりもできないことのほうが多い。抱負、期待、あるいは希望、あるいは計画、考えることはたくさんありますけれども、やはり限界があります。ですから、学長としてやれることはやる、やれないところは、別の立場でもやるという趣旨でご理解いただいたうえで、聞いていただければと思います。

このシリーズ「心のふるさと、我が母校」との関連で申しますと、大阪経済大学は今後大きく変わっていくかなければならないと思えますが、同時に、同窓生が心のふるさととして見る、あるいは思い起こす大阪経済大学が、伝統ある大阪経済大学、あるいはさらに遡って言いますと、昭和商高時分のものとは全く変わってしまうことはよろしくない。つまり、やっぱりふるさとであり続けるということですね。こういうことを今後もしっかりとやっていかなければならないと思うんです。長い伝統として守っていかなければならないことの最大のポイントは、先進的な教育をやってきた。常に学問の最先端を先生たちがきちんとやってきたこと。この伝統ですね。俗にアカデミズムと言いますが、この伝統だけはどうしても守らないといかんと思っていま

す。経大には今もいい先生がいるということ、同窓生が実際に感ずることのできるような、それは学生さんのためでもあると思えますから、そういうアカデミズムの伝統を守っていきます。



上島 武 前学長

しかし、もう一つは、大学はよく保守的だと言われますが、そういう古い伝統だけを守っていいかという点、そうではないので、やはり時代の趨勢に応じた、現在の社会とか現在の若者とか、あるいはその若者に期待する親御さんたちの期待というものにも応えていかないといいけない。実はその期待は、これも実は本学の伝統の一つだと思っております。つまり、単にアカデミズムの大学とか象牙の塔とかいうのでなくて、建学以来、実学の精神と言ってきましたね。これは、もう一つの大きい柱であって、決してアカデミズムの伝統を守っていいことと矛盾しないだ

ろうと思うんです。しかし、最近特に大学生の数が非常にふえて、親御さんなんかと会う中で痛感することなんですけれども、本当の社会に出たら、すぐ役立つことを教えてくれと言われます。あるいはさらに進んで、あれこれの資格を取ってできるような教育をやってくれと。ごもつともだと思っております。ただ、本学は資格取得のための学校ではなく、他方でアカデミズムを守っていくという大学ですから、限界はあります。しかし、そういう期待やニーズというものには、最大限こたえていかないといいかない。つまり、教育を現代化していくということだと思っております。

最近もある雑誌に書いた覚えがあるんですけども、たとえば景気循環の理論をちゃんと教えないといかん。基礎理論を教えないといかん。けれども、現在、日本が直面している景気の大変な状況、これの具体的な現状分析というようなものを、本当にかみくだいて学生に伝えて理解してもらおう。それから今日も新聞に出てましたけれども、上智大学の外人教授が多摩大学の学長になった。この学長の抱負は、開口一番、英語教育をガラッと変えるというんです。つまり、英語の文章や書物を読む英語教育じゃなくて、話せる英語をやりたい。これは、私どもにとっては、別に新しいことではありません。すでにたくさんネイティブの教師を招いて、会話能力を身につけさせるということを非常に重視している。先ほどの景気基礎理論と景気の現状分析じゃないですけども、両方やる。だから、本学では、聖書の英語を講義する人もいます

けれども、現代アメリカ口語をどんどん教えている先生がいる。こういう意味で、ふるさととはふるさとでありつつ、同時に発展しているというか、現代的に変わっていくというところを、両方とも実感できるような、それが大きな次元で言う今後の経大への期待だろうと思っております。その期待は、すでにできるところはできている。もちろんやり切れていないところの方が、はるかに多いですけどもね。経大の教員こそって、その期待にこたえるような教育実践をしていくべきだろうと思っております。

古きも新きもまぐろと融和を欲す

司会 萩原同窓会長、よろしくお願いたします。会長 同窓会長就任の抱負ですが、理事長がおっしゃったように、私も躊躇したんです。とにかく、そのために10年前に副会長を辞任しましてね。同窓会の顧問ということで、のんびりと好きなことを言わせてくれということとで、やってたわけなんです。桑津理事長が同窓会長をやってくれるものと思っておったところが、磯野前同窓会長が突然やめられて、鈴木前理事長も突然おやめになる。結局おはちが回ってきて、私が引き受ける格好になりました。同窓会長をやるのは、大変なことです。磯野前会長のまねはとてできないけれ

母校を想うトップの集い

ども、今までやってこられたのだから、できるだけ沢山の支部を訪問しようという気持ちがあります。前々から感じておるのは、昭和9年の創立以来60年なんです。今年61回の卒業生が出ましたが、60年と一言で言いますが、10年一昔といふ三世代にまたがる訳ですから、新しい卒業生と古い卒業生とギャップがあります。それをいかに持つていくか。我々も卒業してからすでに50数年を経ている。黒正先生の『自由と融和』のモットーがあった。我々も先生を慕って入りました。それが黒正先生を、いまは誰も知らない。先生方でもおそらく黒正先生を知っている方はほとんどいない。ただ、孫弟子ぐらいの方がいらっしゃるようですね。そういうことで、いま6万人の卒業生のうちに高商の卒業生は千人もいない。ですから、私が会長をやった、この次は必ず大卒の方に譲りたい。いま同窓会の役員も、若返る必要があります。若い者はおそらくついていけない面もあると思います。同窓会という性質上古きも新きもあつて、それがうまく融和してくれば文句はないんですが、私も各支部を回って、大卒の方に必ず会長の座を譲ってやめるといふことを申し上げているんです。

も思考が偏ってくるものです。私にはありがたいことに戦後の柔道部を再建して、ずーっと今まで若い者の面倒をみてきていますので、今の学生たちと昔の学生たちの移り変わりは少しわかっております。だから、今20年前の卒業生の言うことを聞いて、逆にあいつ古いことを言ひよると、そういうことがわかるんです。同窓会としても、先日も支部長会、理事会の折りに、私は白紙だ、とにかく支部長、何でも好きなことを言ってくれと言うと、相当ユニーク意見が出ましてね。これがあたりまえなんだなと感じております。持論としては、学校法人と教学と同窓会は各々独立したものであって、たまたま同窓生が今回理事長と、専務理事になられておるのであって、これは同窓会と距離をおいたもののだと思っております。教学に対して、も、教学独自のものであって、理事会と教学の間に立つて、学長が非常に苦勞されているということとはわかっております。だから、同窓会がそこに割り込むということは絶対にない。同窓の方々も理事、評議員に入っていたいただきますけれども、これは同窓会とは距離をおいたもので、学校の経営のためにやっていただくことであつて、同窓会としては、もの申すことは絶対しません。だから、その点をこの『激江』で、新同窓会長の信念としてはっきりさせておきたいと思っております。やはり各支部長からも、いろんな要求があるんです。けれど、私は支部へ行って、できるものは引き受ける。できないものはお断りする。そういう方針でやりますので、「少し



萩原 市郎 同窓会会長

過激やからあいつあかん」と言われるかもしれないけれども、そういう気持ちでおりますので、よろしくお願いたします。計画、当面の計画について、お話し合いをいただきますと思います。これからの司会は、萩原会長にお願いしたいと思います。会長 それでは理事長、学長から、将来展望抱負をお伺いしたいと思います。おっしゃられる範囲で結構ですので、よろしくお願いたします。

歴史の中に温存されたタブーに挑戦

理事長 学長がおっしゃった、やれることは

母校を想うトップの集い

やるけれども、やれることには限界がある。限界とは何か。やれることであれば、当然やらなれないかと思う。長い歴史とともに温存され、踏襲されてきた慣例があり、これが美德であるという面もあるでしょうが、現状にそぐわぬ点を手直しすることがタブー視されている。これは学長も実感なさっていると思います。私自身も思っております。やれることの限界にどこまで挑戦していくか。何がタブーなのかを明快に分析して、場合によっては、それをかみくだき、取り除くことが必要であり、過去の60年を振り返って、これをどのように処理するか悩むことは、上に立てば立つほどその実感はあるはずだと思うんです。そういうものを将来展望として、切り拓いていくということが、必要じゃないか。

原理原則というものは、決められたことを絶対守っていかないといかん。自分も守るし、守らせるべきだ。だから、自分が守るということであつたら、守らせて当然の話なんです。それがリーダーなんです。守らずして、おまえ守れと、そんな法のないことはないわけであつて、自分も守る。お互いに守りあひましよう、守るための理解を、広範囲に広げていこうじゃないかということの認識を基本にしていきたいという気持ちでおります。

これはお互いに得手不得手があることです。歴史を守るといことは、現実になんかそれを生かしていくかということになるわけですから、私自身は、蛮勇というような表現はいたしません。これはタブーとしてるんじゃないやなろうかというような意識を払拭して、

たいと思います。それからこういうことは、後に話題になります『経大白書』にも出ていたと思うんですけども、地域と言いましても、本学の立地条件から言いまして、大阪のど真ん中ではなくて、端なんですよ。東淀川区というのは、大阪市の場末だと考えている人も多い。そのかわり、それを逆手にとれば、大阪市の北の端を、非常に文化的教育的な香りのある地域にしていくということはない可能性はないわけです。これは、地域の皆さん、大阪市と言わず、東淀川区と言つてもいいですけども、その辺の方々との協力ということも必要でしょうね。『経大白書』が出る前の学園マスタープランの中にも、地域の人たちに対して大学を開放するという項目があります。いまのところ、公開講座とか多少の貢献はしていますけれども、まだまだやれていないことばかりだと思ひますのでね。それは、教員それから職員の方にもその気になつていただく必要があるんじゃないか。ただ、言うはやすくということ、たとえば最近図書館の本を地域の人に閲覧させてくれるという希望があるんです。このところはみんな工夫を凝らして、ささやかなことかも知れませんが、だけど、全国的あるいは世界的に言えば、大学の図書館を公開していることなどは、趨勢でとつてできあがつていくことなんです。ですから、是非とも実現したいなと思つています。将来計画ということに比べると、ややマイナーな点かもしれないけれども、しかし、マイナーなことでも、将来のふろしきを広げてもしよう

母を想うトップの集い

現実を切り拓いていきたいという気持ちでおります。その意味で、学長はご自分の得手となさることを、使命感はもちろんのこと、それ以上に幅広くやつていただく。最初に学長とは一心同体だと申し上げておるわけですから、やつていかれておると思うし、一層やつていただきたい。私自身は、不即不離で得手とすることをやつていく。タブー視されているものを純化、真実美化して、現実にかないイコール将来に結びつく道の創造を創出していきたいという認識でおります。また、実践いたしております。

大阪市の都市型大学として

学長 もう一度「心のふるさと、我が母校」なんです。ふるさとというのは大阪であり、大阪経済なんです。本学がどのような将来構想を描く場合でも、この二つは、絶対に落とせないだろうと思つております。これは、単に教育研究の面からだけではなくて、大阪の大学だということがある。ここで一つ微妙なのは、本学が抱えている長年の懸案事項かつ未解決事項の中に、茨木校地移転問題というのがあります。これは、幸か不幸か、あそこの開発構想計画が遅れに遅れております結果、なかなか実現の展望が描けないというところがあります。しかし、私個人がこの間の考え方から申しますと、むしろ数少ない大阪市の

の都市型大学として、将来ある程度、未来永劫にという意味では決してなく、いずれは本学の発展にふさわしい飛躍という時期があるかもしれないが、しかしそれが見えてくるまでは、少なくともふるさとの大坂といつたら大阪市だと、私は過激に言えば、そういうふうには考えているんです。

これも私、『学園ニューズ』で何回か書いてたんですが、大阪〇〇大学と称する大学で大阪市に所在している大学というのは、もう5本の指を割つてます。大阪大学、大阪教育大学、大阪〇〇大学は、みんな郊外へ行つてしまつた。その中で、自治体としての大阪市の考え方もあると思つてますが、自治体と協力しあつて、大阪市の大学、教育、文化というもの重要な一環という地位を本学は占めてきたし、今のそういう状況を見ますと、今後占めていかなければいけないんじゃないかと思つています。したがって、将来の大きな飛躍ということはひとまずおきますと、当分はここががんばつていこうということになると思つてます。たとえば大学が非常にたくさん都市にあるということで、京都は全国でも有数な教育都市あるいは大都市と言われているんですが、この間、櫛の歯を引くように大学が少なくなつていきます。それが、日本にとつていいことなのかどうなのか。日本とあえて言いますけども、やはり都市には都市にふさわしい大学、教育環境があつていいんじゃないかと思ひます。むしろ将来計画を考える際にも、大学人、自治体の人たち、あるいは地域の人たちが、一緒になつて考えていき

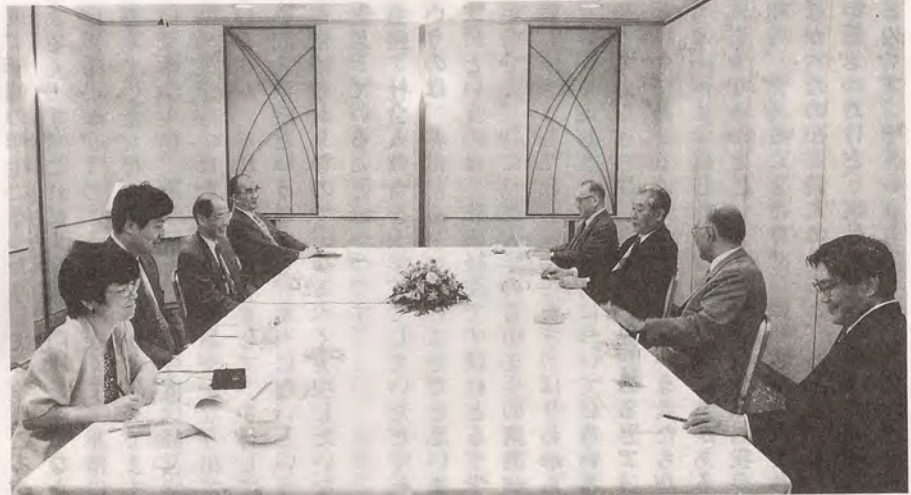
がないんじゃないかという感じもすることがあります。

2部を拡充して

会長 それに関しまして、私が前々からお願ひしているのは、2部を拡充していただきたい。そして、地域の方々がもう一べん勉強する。これは、先生方に非常に負担がかかることですが、2部を拡充していただいて、2部の定員をもつとふやしていただいて、とにかく社会教育ということのある程度やつていただく。北は大阪経済大学、南は大阪市大。そして旭区に行く大阪工業大学。この三つがいま大阪に踏みとどまつている。こういうことを考えますと、大阪経済大学の一つのユニークな方法として、2部の拡充をお願いしたいんです。

それと、大学の先輩後輩のつながりが薄れてきている。ということは、人数が多すぎるということもあるし、現代の学生気質から、先輩はけむたいという感じで、体育会においても、先輩後輩の関係がだんだん薄れていく傾向です。こういうことはやはり、クラブに入るのはいやだけれども、同好会ならいいという学生が大部分。入つてやりたいなという気持ちのクラブにしたいなと思つてるんですけれども、なかなか、野球部にしたり練習する場所がない。ラグビーにしてもサッカーにしても、グラウンドが小さい。これは非常にネックなんですけれども、これを何とかうまくやつて、現在の学校の回りに校地をふやしていくということが大事だと思つてますよ。

学長 2部につきましては、そういうお話がありましたけれども、それも実現できる限りで考えていくべきだと思いますし、現に理事会でもそういう話は出ております。ただ、本



会長の発言が、私自身も思つておる。実現できる限りで考えていくべきだと思いますし、現に理事会でもそういう話は出ております。ただ、本

学にとつての2部は、たぶん理事会の方で、あるいは理事長のほうで経営上の問題としてお考えになることなんでしょう。教学のほうから申しますと、昼間授業をやつて夜もやるということですので、大変なことだと思ふんです。しかし、いまおっしゃったことは、全く事実ですから、できることはやりたいと思ふんです。

それと、現在の段階では、本当にまだ制度を設けただけで、店開きはしていないという状況なんです。2部の社会人入学というのがあります。そして、これもちよつと先の話になるか、あるいは相当大きい躊躇が出てくるかと思うことの一つは、夜間大学院という話があるわけで、諸大学がこれにかなり積極的に取り組んでいますね。経済大学も、夜間大学院ということ、具体的に考える時期じゃないか。

社会人教育を大学院で

学長 実は、夜間大学院というのは、現役の社会人もさりながら、こんなニーズもあるんです。定年退職をしたサラリーマンが、高齢化社会ですので、知的好奇心とか知的能力が、70、80は別ですけれども、50代の終わり、60代というのは、まだまだこれから旺盛に吸収できる。そういう人たちが、場合によつて

は、学部の子生になつたりしてるところがあるんです。これに大学院の門戸を開くならば、市場がどうのこうのじゃなくて、非常に喜んでいただけるのではないかと思つてます。いま本学では、大学院と言へば今度は経営学部の大学院ではないかという話かなり出ていますが、それはそれとしまして、並行して夜間大学院ということも、本当に遅いというご指摘どおりなので、なるべく実現したいなと思つていることの一つです。

会長 社会人教育を大学院でしていただくというのは、非常にありがたいことだと思ひます。というのは、私の経験ですけれども、学生時分に、特に京都大学の青山先生の講義が難しすぎましてね。読んでもさっぱりわからない。卒業しまして、実務についていろいろやつていくうちに、ちよつと見てみるとアツといつてわかるんです。そういう人たちが、もう一ぺん学問したいなという気持ちがあるんじゃないかと思ひます。学生時分は無我夢中で、覚えることだけで、はっきり把握できなかったのが、読んでみると、あんなに難しいと思つたけど、案外わかるという部分があるんです。そういうものとか、教養の部分では考古学の講義でもしていただいたりすると、案外いいなということ、そういう興味を持つてる人がずいぶんいると思ふんです。

学長 去年から今年にかけてやつております経営学、経済学の特講講義ですね。経済界、新聞界、一流の人が来てるんです。そうしますと、学生の受講希望もさりながら、地域の人かなり来てるんです。これは、今後も拡

大していくつもりです。さつき実学の精神と言いましたけど、それこそホツトな実学なんです。私自身はいかんながら教室へ入つて聞く時間はないんですけれども、先生が聞いても非常に刺激になるんじゃないかと思ふんです。

会長 刺激というより、先生の学問的な研究にプラスになると思ひますよ。はっきり申し上げて、大学の先生というのは悪く言うとも聞かなくてすからな。

学長 語弊もありますがね。
会長 ぼくが言うのは、要するに、本當の意味の経営者に今度来ていただいたということ。鈴木先生は学問的、哲学的には立派な方ですけれども、経営ということになるとちよつとという感じです。たまたま今までは世の中が楽だったので、ずっとそのまま来たんです。学者では適応できませんよ。経大の特色というのは、昔から先生方がずっと長い間理事をやつて、経営をやつておられたんですけれども、これはたまたま時代がよかつたんです。こういう困難な時期になつても、優秀な経営者や経済学者はいらっしゃるんです。が、本来の経営ができる人は皆無に等しいと思ふんです。やりたくてもできないという壁があつたということもわかりませんが。

いつも思ふんですが、学内の選挙で理事何年と、任期をやつたら次交替では、難しいですね。初志貫徹してやつていくには、ある程度任期が長くできないだろうと傍目八目的ではありますが、そう感じますね。
思うに、同窓会というのは、大阪経済大学

母校を想うトツプの集い

といふふるさとの神社だ。そして11月3日が総会だ。そのときには、秋祭りには古いも若きも帰つてきて、御輿をかつぐ。大阪経済大学という御輿をかつぎに帰つてきてほしい。皆わけへだてなくやれるというのが、60年の開きを打ち破る考えで、今後やつていきたいと思つています。岸和田のだんじり祭りなんかは会社を休んで帰るといふからね。母校の同窓生もそういう気持ちでみな帰つてきてくれればいいんです。

学長 それは、私も先ほど言いましたように、全く同感です。
会長 それは本当なんです。ところが、だんだん学生さんが、人数も多くなつていく関係ですか、ふるさとだと思ふ人が少なくなつてきた。
学長 ただ、私よりもつと若い人について、いまの若い人とおつしやいましたので、本当に若い人たちがいまだ考へているかというところはわからない部分もありますが、たとえば同窓会長さんよりも10いくつ若い私にいたしても、私の出た大学とか高校とか、そういう同窓会活動が非常に盛んになつて、会合に頻々とするようになるというのは、定年退職が近くなるかなあという50代ぐらいが多いですよ。

会長 それはわかりません。
学長 卒業したばかりの若い人たちが、会社でしぼられしぼられ、四苦八苦している時に、同窓会でもあるまいという気持ちがあるのは、ある意味ではしょうがないんじゃないですか。会長 我々もかつての中学校で集まつて、ク

ラス会を毎年やつてますけど、近年になつて非常に出席者が多くなつた。人数が減つてからふえてくるんです。
学長 しかし、私はこの3年間、その前も地方の同窓会に行く機会がありましたけど、だんだん逆に若い人がちらほら顔を出すようになっていましてね。
会長 なつています。今年の卒業生が現れるということがあるんです。
学長 ただ、そういう場合には若い世話役、若い幹部が必要ですね。
会長 それは支部あたりに若い人がね。それは必要なんです。

私も同窓会の役員は若い人を入れたい。そういうつもりはしてると。いまはつきり言つたら老化現象で一種の動脈硬化を起こしてるとですよ。これを打破したい。私自身気は若いですよ。まだまだ20歳ぐらいですね。
会長 大阪経済大学同窓会白書も必要ですね。白書でなくても、それに近いことをやろうと思つておるんです。40年間学生とつきあつていたらわかるんです。現在の学生の気持ちと、20年前30年前の卒業生とは、非常に落差があるんです。定年になつてぼちぼち暇ができた、懐かしいな、死ぬまでに一ぺん会いたいなというのが多いと思ふんです。それが同窓会の姿だと思ふんです。若い人の魅力のある同窓会にしたいというのが、大事なことだと思ひます。

理事長 私の会社にも私を除いて卒業生が10人おるんです。一番多いときは14名おつたんですがね。14名のうち3名が亡くなつて、1人

は自営業ですから、跡を継ぐといつてやめましたけど。総会があるからおまえ出席せえと言つたら、行きますと言つて。同期生会はやつてるのかと聞くと、やつてるようにも思ふし、行つたことありませんと言つて。しかし、ゼミの会は行くんです。そして寄付は一切しない。時代の差ですかね。
話がそれますが、一昨日、私大協の幹部と話しをする機会を持ちました。私大協ができた時に、大阪でも中核校というものは、大阪工業大学、大阪経済大学、大阪商業大学、近畿大学、立命館大学、この5校でした。その中で、いまの時点で一番遅れをとつてるのは経大じゃないか。私大協においても一番歴史があるのに、その経大が一番遅れをとつておる。だから理事長しつかりせえと激励を受けたんです。

また、話は変わりますが、白書では、経営は法人、理事会にある、その全責任は理事長にあると明記されておるわけです。ということになつたら、収支の問題を考へていかなければならない。そうすると、地域社会に貢献するということの意味での社会人教育というもの、又2部を大学院までひつくるめて充実すべきだということも、多少意味は違ひますが、いずれにしてもコスト的にあわなわけなわけなんです。
一般論として教学、あるいは、同窓会の方々は、これは大いに賛成だとなるが、理事会としての経営の視点から見た場合は、間尺に合わないわけなんです。あわすとしたら員数とともに、入学金においても学費においても、1部

と近いぐらいまで上げないことには採算が合わないわけですね。自縄自縛になってしまふ。1部のほうはいまバランスがとれているのにそれを2部で食ってしまうんじゃないかというような矛盾が、経営上出てくる可能性が大なんです。しかし、社会人教育の場合は、多少コスト割れみたいなことがあっても、カバーしてあまりある名をとることができるわけですね。

これはまた話が飛びますが、戦前は関西大学専門部、これは夜間だったんです。働いている人が行ったわけです。特に専門部の法料は非常に優秀だったんです。優秀なのはみな学部へ入ったわけです。だから、そこらが、いまの関大の基礎を全部つくったわけですね。ところが、いまの時点で、2部云々となった場合、理事会として、理事長として、経営責任というのをずしつと負わされている限りは、はいよろしいということはいえない。それは、学長も口に出さなくても、変わらぬご意見であろうと思います。それをどこまで収支バランスがとれるように持っていきけるかということですね。

それともう一つ、理工系じゃないわけですから産学協同。実業界から寄付をもらえない。同時に卒業生からも寄付は集まりにくい。寄付はなかなか集まりません。ある人に同窓生が5万人もいたら、1人1万円寄付してもらっても5億円、中には5万10万となさる方もあって、寄付が集まらないというのは、ちょっとお考えになったらいかがですかということも言われました。うちが一番弱いところで

りましたけれども、私立大学に勝るとも劣らない宣伝をやつて、学生の再獲得に熱を入れて成功しているんです。ですから、そういう地方の学生が、途中で下車してしまう。これを何とかくい止めるためには、全国というわけにはいきませんが、関西に2時間か3時間で来れるという所へ、理事会の協力もあって、もう少し宣伝をする必要があると思うんです。

会長 みんなにお願いしてらんですよ。とにかく片っ端から受けてもらいたい。そういうふうによつてくれと依頼しておるんですけれども、いろいろ聞いてみると、この間新居浜へ行つたんですが、松山大学あたりが、総合大学になりましたね。そうすると、松山大学のほうへ行く。

推薦入学のフォローを

学長 最近、地方で聞いた話なんです。推薦入学というのを利用していただいて、地方から来ていることは来ているんです。その推薦をした学校の先生が、その後推薦した学生がどうなっているかということを知りたいという声がありました。そこまでは考えてなかったというのが正直なところなんですけれども、そういうご要望があれば、こたえるべきでしょう。それで1つ、経大はそういうフォロー

す。

司会 うちの大学は、関西の私学の中でも、学費はかなり安いですね。

学長 2部とか大学院について言いますと、確かに理事長ご心配の点はあるだろうと思うんです。これは学長として言っているのかどうかわからないですけども、会社によつては、各セクション独立採算制でやっているところがありますが、大学はそういう組織じゃないです。ですから、全体として経営が健全であるならば、特に大学として必要な限りにおいて、いろんな教学形態を設けていくというところは、あり得ると思うんです。もつと一般的に言いますと、たとえば夜間大学院なりあるいは2部の社会人教育なり、これはある意味では、経大全体の一種の目玉として活用できる。言い換えれば、一つの社会的に存在をアピールする道具なんです。そのことによつて、経大の全体の知名度みたいなものを、できるだけアピールできる一つの材料と考えれば、短期的あるいは一組織的には採算はあわないかもしれないけれども、長期的かつ全体的には、そういう方向にもつながらるのではないかと。専務さんはしぶい顔をしますけど、各大学とも、そういうことを考えてやっているとんじゃないかと思うんです。

理事長 よく二人で話してらんですよ。現状で剰余金が7、8億から10億出るようであったら2部の拡充とか、社会人教育に力を入れて、2億3億マイナスがあつても、大いに意味がある。そういう話はよくしてらんですよ。とて

をしてくれたと言つてもらえますから。

理事長 普通科や商業科推薦の入学があまりすね。その学生が1学年を振り返つて、主要科目だけでも2、3科目調べて、中位以上にあるか、上位にあるか、あるいは下のほうにあるかということ、ある程度知らせなければならぬ。

学長 追跡調査は、データとしてはあるはずなんです。ただ、それが、推薦をしていただけ高校とか高校の先生に行つてないというだけの話なんです。

理事長 別の話なんです。一昨日、職員最終的な採用に立ち会つたわけなんです。最終15人残つて2人採用するわけですが、本学の卒業生がもちろん一番多いです。午前中はペーパーテストをやつてます。英語とか社会とか。平均的に女子は非常に成績がいい。ところが、一番下の女の子がおつとりしてらんですよ。その子に質問したら、「英語が難しかったです。」「入試とどないや、入試のほうが難しかったやろ、入つてから勉強してないのでは」と言うと、「私は推薦入学ですから、試験は受けておりません」と言うわけです。特技じゃないんですよ。

会長 これは難しい問題で、学校差があるんですよ。高校で、これを勘案しないと。推薦の問題は改善しないといけないと思つてらんですよ。今の状態では学生に悪いですが勉強しません。

司会 問題の改善ということが出たんですけれど、『大阪経済大学白書』については、ど

会長 私は長い間監事をして、何で剰余金がないんだらうという学校でしたからね。決算を見るたびにゾツとするような、いわゆるタイムロップを渡っているような学校ですから。20年間ずっと決算を見ますが、最近になつてやつと剰余金が出てきたんですよ。今年私は見てないんですけども、1億とか7000万とかいう金が、チヨロチヨロと上がつてくるような形になってきたんです。それ

までは、どないなるのかな、つぶれるのとは違うかなという感じがすからね。最初から金のない学校で、大北先生が給料が払えないというので走り回られた時代があつたようですから。しかし、学者の先生方が経営された学校だったら、あんなもんでしよう。利益というのは少しも考えておられんですから。教育事業というのは儲かるもんだという前提でやつておられる学校とは違いますからね。特異な存在だったんですよ。塾的な感じだったんです。黒正塾というような感じで。でも、地方の学生がだんだん減つてきている。これもさびしいですね。昔は日本各地のいろいろなお国なまりが、あちこちで聞かれましたから。学長 それは、大学の数が比較にならないほど急増した。しかし、そうは言つてられない面もあるんですよ。たとえば中国地方、山陰、北陸、これは大阪と特急で結ばば2時間以内で来てしまう所なんです。そこで受験生あるいは入学生が減つているという現象の一つは、現在の状況でいきますと、そういう地方に新しい私立大学ができた。それから国公立、特に地方大学が、共通一次試験以来低迷して

うでしようか。

4年に一度『大阪経済大学白書』を作成

学長 あれだけ広範囲な領域にわたつて、各セクションが記録、資料、それから現状についての分析を、1年間にわたつて用意していただいて、しかもそれをあれだけの大冊にまとめたということは、初めてだと思つてらんですよ。その前にも、たとえば学園マスタープランというものはありましたが、しかし、あれはもちろんそれなりにまじめなものでしたが、多少希望的、楽観的希望という要素が強かった面もあります。それに比べますと全学の各領域にわたつて、まじめな現状分析をやつてくれたという点では、非常に大きな成果だと思つてらんですよ。もう一つ、同時に出版しました『研究者総覧』ですが、あれも本学としては初めての資料だと思つてらんですよ。つまり、あれを見ていただく、本学の教員百何名が、この間どういう研究をしてどういう研究業績を発表しているかということが、一目瞭然なので、つくるほうも、つくるのに協力した人も、相当緊張感を持ったそつてらんですよ。ですから、非常に大きな成果だと思つてらんですよ。

ただ、最初の経験ですからやむを得ないんですけれども、現状分析のための資料は、非常にたくさん出ましたけれども、その現状をどうとらえて、どこをどう改善するかという

母校を想うトップの集い

具体的な提言は、どちらかというともまだ弱い
です。それとも一つ、そのこととも関係する
んですけども、あの白書の資料をつくら
ていただくのに、本当に全教職員が参加した
と思うんですが、白書づくりを具体的に進め
た人は、はっきり言って自己点検・自己評価
実施委員の先生方、あるいは職員の方々に
もつばら重荷がいつて、あとは極端に言えば資
料を提供しただけというところに終わって
いるというところは、否めないと思うんです。
ですから、次の白書をつくる段階で、その二つ
の点を十分に踏まえていただいて、二番煎じ
でないのをね。あれはご承知のように文部省
から課せられた一つの義務的な仕事にもなっ
ている。だからやりやすくてはなくて、せつ
かできた第一次白書というものを具体化して
いくんだという取り組みが必要だと思います。
だけど、まじめに読んでいただいたら、相
当いろいろなことが書いてあるわけで、さつ
き同窓会長が、実はおれも完全には読んで
ないとおっしゃってましたけど、いずれ読ん
でいただきたいですね。

会長 あらかたは読みましたよ。詳しいこと
はわからなくてすけどね。やはり非常に難しい
問題が、随所にありますね。しかし実によく
あそこまで調べられたということは敬服して
おります。

学長 そういう意味では画期的だと思えます。
理事長 なかなか大変な作業だったと思いま
すが、2年ごと更新ですか。

学長 原則としては4年に一ぺん。2年目に
は、参議院じゃないけど、中間報告書を出そ

部をもう一つつくりたいといけません。一番
可能性のあるのは、経営学部の経営情報学科
の経営情報学部への改組転換ではないでしょ
うか。ネーミングは別ですよ。経営情報学科
を学部昇格させて三学部体制にする。平成
11年まで臨時定員増で、現状では確かに潤い
を持っていくわけです。しかし、これが全面
廃止ということになれば大変なことになるま
す。臨定増を恒常定員の中に組み込めるよう
その可能性をいま模索している最中なんです。
学内においても、作業委員会と準備委員会が
つくり、新学部構想というもの、すでに
スタートしているわけなんです。理事長とい
たしまして、学長も同じ意見だと思います
が、これは実現できるでしょう。定数は別で
すよ。臨定の恒常定員に組み込まれるかどう
かということも、たぶん組み込まれるであろ
うという希望的観測をしてるんです。それが
はずれたら大変なんです。その努力をいまし
つつあるんです。学部の新設なり、転換には
文部省のいろんな規制とか指導があるんです。
それをパスするように、いま教学サイドで努
力してもらっています。そういうことができ
るであろうという自信を持っていただき、
その可能性を求め得られるがために、理事長
が根回しをしておるわけなんです。

学長 いまおっしゃるとおりで、二転三転せ
ざるを得ない状況がありました。現時点で
は、経営情報学科を経営情報学部へ改組し、
昇格させるという計画を、実現に向けてやっ
ておる最中です。

理事長 それはひとつ理事長、学長をご信頼

うということ。
会長 その時に、どういふことが白書に基づ
いて改革されたかということ、はっきりさ
せていただいたら、私も読んでわかるんで
すが。

学長 まさにそのとおりです。

会長 問題点が随所に出てきますのでね。
学長 たとえば教授会で言いますと、教授会
の時間をもっと短くしないといかんとかです
ね。これは非常に切実な問題なんです。教授
会で取り上げる問題を、もっとコンパクトに
しよう。これが実現できるかどうか、今から
考えても難しいと思ってるんです。

会長 問題が多すぎるのと違いますか。

だから、そこまで教授の方には立ち入って
いただく前に、経営をしっかりとやればいいの
ではないかと、ぼくはそう思いました。

それは教授会の中に理事会の仕事は3分の
2ぐらい入ってるのとは違いますか。

学長 ついでですから、言いますけれども、
理事会の守備範囲プラス事務職員組織の守備
範囲が入ってます。本当に痛感しますけれど
も、それを言いたすと・・・

会長 これは、昔からの経大の教授会の形態
なんです。私も40年ずつと見てきてますので
ね。先生方が経営にタッチしておられたんで
すよ。だからどうしてもその名残が残ってき
てるんです。だから、本当の大学の教授会に
していただいで、経営は理事会のほうにお任
せいただくという形に持っていっていただい
たら、一番いいと思うんです。

理事長 それはそのとおりですが、白書でも

いたいで。とにかく血みどろの努力をして
おるといふご理解のもとでね。

司会 経済学部の充実というのも長期的には
あるのですか。

理事長 それはプラスαとして、次の段階で
ということ、ですから今回の件は試金石で
もあるわけなんです。

経大の場合、高商時代から経済が主流で、
その伝統のもとにきたんです。だから、先生
方から見れば、当然経済学部において、そこ
から枝として新しい学部が出るのが筋ではな
いかというご意見は、当然お持ちだと思いま
す。そういう意味で言ったら、経営学部は経
営情報学科のほうが行ったわけですね。だ
から、それも経済学部からまた新しい学部が
できるであろうという期待をこめての試金石
なんだというために、何が何でも実現したい
ですね。

学長 正確に言うと、学部じゃなくて、たぶ
ん経済学部の新学科ということになるだろう
と思うんです。ただしそれは、経営情報学科
の学部昇格ができなければ、将来そこへ進ん
でいくことも非常に難しいだろう。だから、
最初にクリアすべきハードルは、経営情報学
科の学部昇格であろうという認識で、いま取
り組んでいます。

理事長 その場合学長がおっしゃることをご
信頼なさっていただきたい。

会長 本日は、大切な時間を頂戴しまして、
貴重なお話を、本当にありがとうございます。
た。

理事長は学内事務の総括責任者である、対外
的には、業務全般総括責任者であるというよ
うな表現になってるんです。これはおかし
くないかと、ぼくは一番に言つたんで
す。

会長 手足を縛られる。

理事長 これは、最初に学長が非常にこれは
やりたいんだ。しかし限界があるんだ。限界
もどこまでが限界か。同時に、タブー視され
ているような踏襲というものを打ち破らない
といかんじゃないか。その努力をいたしまし
ようなどいって、2人で約束していること
あるわけなんです。

会長 今のやり方はいいんですが、教授会と
理事会というのが、もっと密接になってい
たほうがいい。教学は教学、理事会は理事
会で、知らんぞというのでは困りますので。
理事長 気持ちにはあつてるんです。業務がそ
のままになってる。

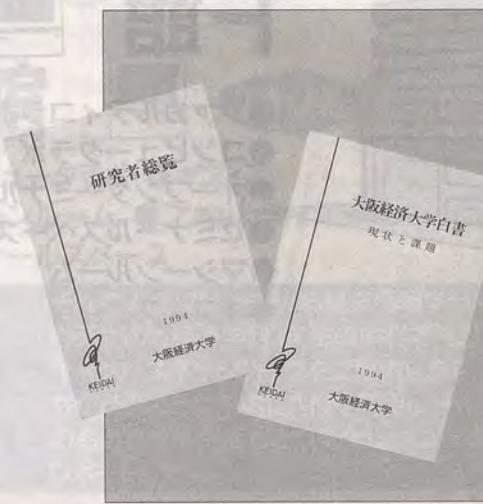
会長 私は個々の先生方にお話したら、全部
非常に理解のある先生方です。ところが、総
論賛成各論反対になりますので、非常に難
しいと思います。

司会 将来の具体的な構想のお話もいただき
たいのですが。

経営情報科学部昇格と新学科構想

「大阪経済大学白書」
「研究者総覧」

自己点検・自己評価運営委員会と
同実施委員会が成立してから足掛け
3年、実質1年半の歳月をかけて自
己点検活動を行った結果、1994
年度実施委員会は「大阪経済大学白
書」と「研究者総覧」をまとめるこ
とができました。



キャンパス・ライフ

WWWサーバ
E-Mail(電子メール)

INTERNET

インターネット

WHAT'S INTERNET?

世界規模のネットワーク(電子情報通信網)。ここ数年で利用者が爆発的に増加しています。電話は1対1の双方向、テレビ・ラジオは1対多の片方向メディアですが、インターネットは、多対多の双方向のメディア。現在、各界各分野から注目されています。

ORIONS

大阪地域大学間
ネットワークシステム

WHAT'S ORIONS?

各地にある地域ネットワークの1つで、大阪地域の大学間を結ぶネットワーク。各地ネットワーク(ORIONSを含む)は、高速回線で結合され、全国規模のインターネットを構築しています。

192Kbps

これが21世紀の学園

マルチメディアで授業が変わる、学校が変わる。

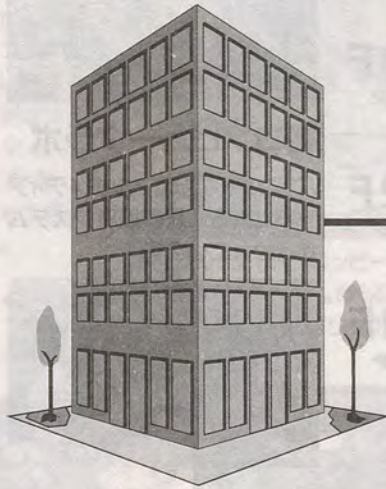
1995年4月より、大阪経済大学では、学内LAN(Local Area Network)を施設し、情報処理教育を主に、ゼミなどで諸設備を利用した教育が行われています。今回は、この学内LANを利用して、現在学生がどのようなキャンパスライフを送っているのかをご紹介します。

Windows NTによる
高度な教育環境

CAMPUS NET WORK

キャンパス ネットワーク

FDDI



E館



117台

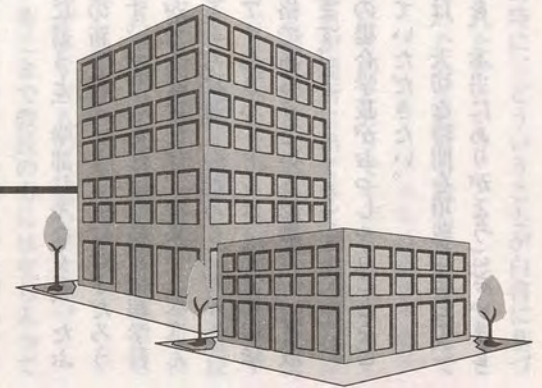
- コンピュータラボ ●オフィス
- マシンルーム ●ファカルティコラボレーションルーム
- ゼミナールスペース



自宅



自宅のパソコンから電話回線を利用して学内LANに接続することができます。

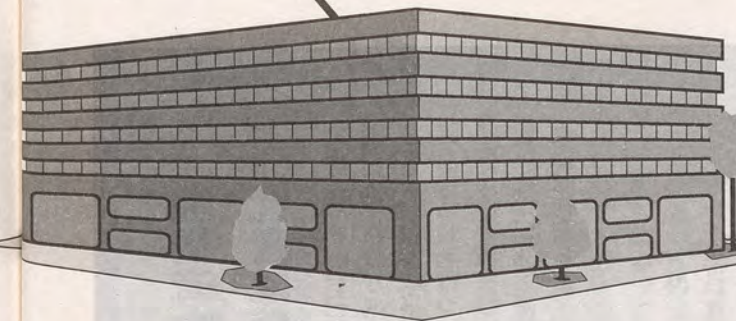


F館



237台

- ファカルティコラボレーションルーム
- コンピュータラボ
- オープンターミナルスペース
- ゼミナールスペース
- マシンルーム
- オフィス



本館



4台

技術資料作成等を支援するマルチメディアDPT環境を整えています。

←

それでは、次のページから経営情報学科3年生の中元さんと経済学科3年生の中村君をガイドに、キャンパスネットワークをご案内します。学生たちがどのように学内LANを利用し、新しい環境のもとで学生生活がどう変化しつつあるのかをレポートします。

マルチメディアコミュニケーション 教室から黒板がなくなる!? "管理工学授業"。

今日は、管理工学の授業です。F21とF22の実習室を利用して行われます。クライアントマシン100台が設置され、マシン間には、15インチ高精細モニターを設置し、教師卓パソコンのCD-ROM、光磁気ディスク装置とAVシステムによる書画表示、ビデオ表示、マーカーボード利用によってマルチメディア情報表示が双方向で可能です。



先生は、学生に画面を見せながら説明し、学生は、モニターに映る先生の画面を参考に実習します。大変わかりやすく、興味もわきます。モニターには、先生の画面だけではなく学生の画面も任意に出すことができます。

画面が黒板の代わり。先生のパソコンが直接つながっているの、授業も理解が早いです。



NEXT

E-Mail 教室からノートがなくなる!? "レポート提出"。

クライアントマシンを利用するには、まず、ネットワークにログインします。今日は、ワープロ(MS-Word)にて、情報通信概論のノートを入力します。ワープロの練習になり、しかも、ノートの清書、デジタルデータ化にもなります。データは、ほとんどFD(フロッピーディスク)に保存しますが、FDを忘れた時などはファイルサーバに保存できます。さらに、電子メールで課題を提出します。課題の提出は、電子メールで担当教員宛に送ります。(以前のようにノートでの提出はしません)

レポートは先生のパソコンに直接送信。レポートの内容はフロッピーディスクなどに保存。ノートはもう使いません。



まず、ネットワークにログイン。



電子メールで先生に課題を提出。



FDを忘れた時は、ファイルサーバでデータを保存。

●ネットワーク用語メモ●

- クライアント** ネットワークに接続されたパソコン。サーバ(サービスを提供するマシン)にサービスを依頼する側のコンピュータです。
- 電子メール** ネットワークを介して、コンピュータ同士が、文字や音声等の情報をメール(手紙)の形で交換するシステム。経大では、MS-Mail(電子メールソフト)を利用しています。ポストオフィスと呼ばれる登録簿1つに500人まで登録できます。合計14(7,000人まで利用可)のポストオフィスを構築しています。
- WWW** インターネットに情報を提供するシステム。文章だけではなく音や画像も扱うマルチメディアシステムであり、分散して存在する情報を結びつけることができます。

サイバースペース#F#マルチレポート

F館のガイド役は、経営情報科3回生の中元公子さんです。中元さんは、授業のようすとレポート提出について報告いたします。

こんにちは。中元公子です。今日は、学生の視点から日頃の利用状況をご案内します。



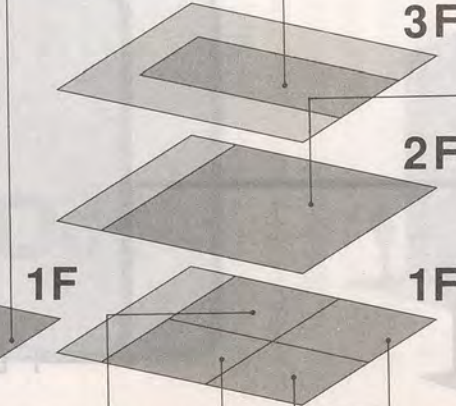
まず、経営情報学科生が主に利用する F館内をご案内します。

■マシンルーム

中核となるサーバ装置をはじめ、HITAC M-660/120Eと各周辺装置が置かれています。

■オフィス

事務処理、学生への対応を支援する情報システムを実現。



■ファカルティコラボレーションルーム

技術資料作成等を支援するマルチメディアDTP環境を実現。インターネットワーキングもOK。



■コンピュータラボ

パソコン100台のマルチメディア教室による大規模授業システムが行われています。



■オープンターミナルスペース

学生がいつでも自由に利用できるクライアントが、41台設置されています。情報処理実習I、II等で利用するF21、F22実習室と同じ環境が整っています。



■ゼミナールスペース

ビデオ・オン・デマンドシステムやインターネットワーキング、マルチメディア情報環境を実現。

●ネットワーク用語メモ●

- ファイルサーバ** 利用者に共有資源を提供するコンピュータの1つです。ネットワークに接続されているクライアントから利用できます。学生たちは、このファイルサーバに、自分のデータを手軽に保存して利用しています。
- ログイン** クライアントを利用する時に、利用者が、ユーザ名、ログイン先とパスワードを入力する操作を言います。これにより、クライアントを含んだネットワークシステムの不正利用を防止しています。
- MS-Word** マウスで手軽に操作できる日本ワープロソフトです。

コンピュータ・リテラシー & エコノメトリックス さまざまな情報処理が 思いのまま。

E61実習室は、40台のクライアントマシンと、ネットワークプリンターが、10台設置されています。15インチモニターを学生パソコン間に設置しており、教師卓のAVシステムからの書画表示、ビデオ表示、マークカード利用等のマルチメディア情報提示が可能です。マシンは、Pentiumの90Mhzです。



これまでの授業では、OSの実習とワープロソフトの実習を終えて、今、表計算ソフトの実習に入っています。また、ゼミナールスペースでは、エコノメトリックスを社会の経済活動に基づいた、データを使うエンピリカルスタディによって学ぶ授業も行われています。



実社会で役立つ情報処理の技術が、こんなに簡単に修得できるんですよ。



NEXT

空き時間は、実習室で自習。勉強に熱が入ります。



空き時間は、実習室を開放。 誰でも自由に自習できます。

E61実習室は、授業のない空き時間を学生に開放しています。今日は、情報処理実習のレポートを修正して、印刷します。まず、事務室の受付にて、手続きをとります。手続きがすめば後は自由にパソコンを使って自習ができます。プリンターでの印刷もOK。このように学生たちは、キャンパスネットワークにより広範囲に自由に学習できるのです。

NEXT

●ネットワーク用語メモ●

ネットワークプリンター 個々のマシン専用のプリンターではなく、ネットワーク上に接続されたすべてのマシンから印刷できるプリンターです。

OS マシンの基本的なソフトウェアで、これがないと動きません。経大では、Windows NT Workstation 3.5というOSをクライアントマシンすべてに搭載しています。

サイバースペース“E”マルチレポート

E館のガイド役は、経営情報科3回生の中村仁昭くんです。中村くんは、情報処理と自習時の実習室の利用の仕方についてレポートします。



まず、経済・経営学科生が主に利用する E館内をご案内します。

続いては、私がE館のE61実習室をご紹介します。よろしくお願いします。



■マシンルーム

実習室のクライアントにサービスを提供したり、ネットワークを管理する機器が設置されています。

■オフィス

ネットワークシステムの管理運用と利用者に対するサービスおよび事務処理をしています。

■ファカルティコラボレーションルーム

これからの研究を支えるマルチメディア&インターネットワーク環境を実現。



■コンピュータラボ

Windows環境による高機能な教育環境をサポート。コンピュータリテラシー。



■ゼミナールスペース

ゼミ用途に合わせた実習環境の構築が可能。コンピュータリテラシー、エンピリカルスタディで利用されている。

●ネットワーク用語メモ●

Pentium90Mhz CPU(中央処理装置)の名称で、導入時点で最速のものです。

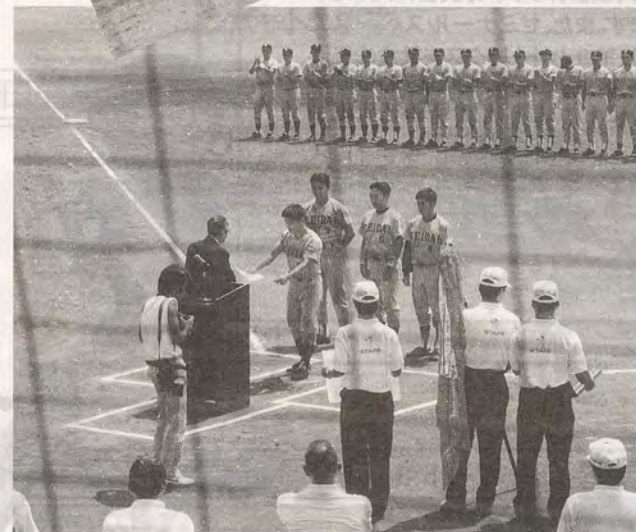
エコノメトリックス 経済統計学や計量経済学。

表計算ソフト MS-Excelを利用しています。WORDと親和性が良く、DDE(Dynamic Data Exchange)の機能で、WORDとデータの共有が可能です。

1995年度クラブ戦績

空手道部	西日本学生選手権大会 団体2回戦
日本拳法部	全国大学選抜選手権大会 団体2回戦
柔道部	関西学生柔道優勝大会 団体ベスト8、正力杯全日本学生体重別選手権大会 個人1回戦、全日本学生選手権大会 個人2回戦、全日本学生柔道優勝大会 団体1回戦
剣道部	大阪学生選手権大会 優勝(喜多山)、西日本学生選手権大会 団体3回戦、全日本学生剣道優勝大会 団体1回戦
合気道部	全国学生演武大会出場(12月)
少林寺拳法部	関西学生大会出場
硬式野球部	関西六大学野球リーグ戦 春季2位(最優秀投手、新人賞 辻智浩)秋季6位
準硬式野球部	関西学生選手権大会準優勝、全日本学生選手権大会 優勝(41年ぶり2度目)
硬式庭球部	関西学生3部リーグ戦 6位(4部降格)
ソフトテニス部	西日本学生選手権大会 男子団体・個人準優勝(玉井、前田組)、全日本学生選手権大会 男子団体・個人3位(同)
サッカー部	関西学生2部リーグ戦 春季Bブロック2位 秋季7位
ラグビー部	関西学生Aリーグ戦 6位(4~6位は同率、得失点差による)
ハンドボール部	関西学生リーグ戦 春季2位 秋季2位、西日本学生選手権大会 ベスト4、全日本学生選手権大会出場
卓球部	関西学生2部リーグ戦 春季優勝 秋季優勝(入替成らず)
バスケットボール部	関西学生2部リーグ戦 3位(1部昇格)、大阪府学生選手権大会優勝、西日本学生トーナメント大会 ベスト16
バレーボール部	関西学生3部リーグ戦 春季3位 秋季4位、西日本学生選手権大会 ベスト16
アメリカンフットボール部	関西学生2部リーグ戦 Aブロック2位
ボクシング部	近畿学生2部リーグ戦 4位、全日本学生選手権大阪府予選 フェザー級優勝(川瀬)
陸上競技部	関西学生陸上競技対抗選手権大会 総合11位
バトミントン部	関西学生リーグ戦 春季5位 秋季6位、西日本学生選手権大会 男子団体ベスト8、全日本学生選手権大会出場
自転車部	全日本学生サイクルサッカー選手権大会 優勝(岩崎、米谷組)
アイススケート部	〈スピード〉全日本学生選手権大会 団体8位 1000m6位、〈フィギュア〉全日本学生選手権大会(95年1月)2部9位
ゴルフ部	関西学生3部リーグ戦優勝(2部昇格)
競技スキー部	関西学生選手権大会(95年3月)2部総合2位、全日本学生選手権大会(95年1月)4部総合優勝(3部昇格)
カヌー部	関西カヌーレーシング選手権大会 1000m優勝(前田)、日本カヌーレーシング選手権大会 同5位(前田)、全日本学生選手権大会 1000mフォア4位
自動車部	全関西学生ダートトライアル選手権大会 男子団体・個人3位、全日本学生ダートトライアル選手権大会 男子団体18位
ヨット部	関西学生選手権大会 470級2位(田村、大向組)、全日本学生選手権大会出場
洋弓部	関西学生2部リーグ戦 男子優勝 女子4位、関西学生選手権大会 女子団体3位
重量拳部	関西学生選抜選手権大会 54kg級優勝(谷口)、西日本学生選手権大会 3部優勝(2部昇格)
水泳部	関西学生選手権大会 3部総合優勝(2部昇格)、関西学生水球2部リーグ戦 10位
チアリーダー同好会	関西チアリーディング選手権大会 奨励賞
浪速ユベントス	ユニバース・カップ・イン川上(大学サッカー同好会全国大会)総合優勝
グリークラブ	関西合唱コンクール 大学の部銅賞

クラブレポート
We are
The
Champions!



■準硬式野球部が大学日本一に!
8月13日から5日間の日程で神奈川県相模原、平塚両球場で開催された「第47回全日本大学準硬式野球選手権大会」において本学チームは41年ぶり2度目の優勝を果たし文部大臣杯を手に入れました。緒戦の法政戦は劣勢を二度まで跳ね返し延長サヨナラ勝ち、決勝戦も逆転勝ち、とチームプレーに徹した粘り強い闘いぶりが際立っていました。
不十分なグラウンド施設(二部学外施設利用)にも拘らず、準硬式



野球部は毎年のように全日本大会に出場してきましたが、この度の快挙は日ごろの地道な練習努力が実ったものと言えましょう。

■サイクルサッカーも全日本優勝!
9月2、3日の両日、大阪臨海スポーツセンターで開催された「第28回全日本学生サイクルサッカー選手権大会」において本学自転車部チーム(経営4年岩崎、経情4年米谷組)は見事に5年ぶり2度目の学生ナンパーワンの座に輝きました。



1回戦	法政大学	4-3
(延長11回)		
2回戦	北海学園	7-0
準々決勝	福岡工大	1-0
準決勝	香川大学	8-1
決勝	九州産大	3-1



理事長 桑津 昇

学内一致のための リーダーシップを

同窓の皆様には諸事ご多端の裡ご清栄のこととお慶び申し上げます。私は、本年1月、理事会のご推薦と評議員会のご賛意を得て、学校法人大阪経済大学理事長に就任致しました。

昭和19年9月、本学の前身昭和高等商業学校を卒業して以来50有余年、戦後の混沌の中で2、3の会社を経て、昭和25年に繊維製品を扱う千代田商事株式会社を設立し、現在ユニフォームの製造販売を行う会社に育て上げ、今も現役で活動しております。

この間、同窓会には永らく係わりあいをもって参りましたので、学内事情を知り得る機会も多く、ここ数年の学内動向には少なからず懸念しておりましたが、何れは建学の精神が失われることなく、機を見て息吹くものと見守って来ました。

世間は既に長い景気沈滞の続く中で、どの企業も個人も生き残りに必死の努力を続けている毎日であります。大学としても、安閑として居れるものではありません。平成4年205万人をピークに、18歳人口は毎年減少を続け、2000年には151万人と約4%に減少し、2007年には129万人

に迄落ち込みます。当然大学経営には大きな影響が出て参りますので、各大学共、この激変時代を如何に生き抜くか夫々に策を練り実行に移しております。

本学においても、教学面では教育の内容充実と実学指向を一層進めるべく、経営情報学科の学部昇格の申請を準備中であり、また経済学部にも新学科を創設すること等も検討されております。キャンパスの整備については茨木の国際文化公園都市計画が大幅に遅れており、2010年頃に完成という先の長い話であります。現在急を要する大隅校地を整備し新棟を建て、新学部への対応と共に施設の充実を図るべく具体案を練っております。これらの事業を達成し、魅力ある大学にするため、教学と一心同体となり、全学に血の通った一体感を醸成して大学改革にあたる事が理事長の勤めと考え、リーダーシップを発揮し、経営責任を果たす所存であります。

同窓の皆様もどうか母校の発展のために、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。



学長 北崎 豊二

学長就任に 当たって

このたび、学内の多くの方々の御推挙により、浅学非才の私が伝統のある大阪経済大学の学長に就任することになりました。本学に奉職して四半世紀以上になり、経大をとりまく状況が如何なるものであるか、ある程度承知しているつもりですが、何分にも長い間教学の中枢部門から離れていたこともあり、学内外の事情に疎く、同窓生の皆さまに御迷惑をおかけすることも多々あるのではないかと危惧しております。その節は、何卒、御寛容ください。

ところで、大学は学生とその父母、教職員、および同窓会の皆さまからなっております。そのような中で、私立大学においては、かなりの部分を同窓会の皆さまに依存しています。したがって、学長就任に当たり、私はまず、同窓会の皆さまに母校大阪経済大学の発展のため、今後共、強力な御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

幸い、本学の同窓会の皆さまには、各界において御活躍なさっております。また、多くの方が母校を心底から愛し、母校に対して熱い思いを寄せてくださっています。ここに御芳名を記すことは差し控えさせていただきますが、亡くな

られる数カ月前、死期の近いことを予感し、本学の一教員に過ぎない私に、遺言として聞いて欲しいと言われ、一時間以上にわたって切々と同窓生からみた経大の現状や、経大の将来について貴重な御意見を寄せられ、他界された方がおられます。その時は、よもや私のがちに学長に就任することになるとは夢にも思っておりませんでした。ところが、いま、言い残していかれた御言葉を反芻し、噛み締めているところですので。この方以外にも、多くの方が母校の現状・将来について案じておられることも十分認識しています。それだけに、大学の冬の時代を迎え、存立の危機にあるとき、学長としての責任の重大さを痛感し、微力を経大の改革と発展のために捧げたいと思っております。しかし、難問が山積しております。皆さまの御力添えがなければ、皆さまの御力添えが多々あると存じ解決しない問題も多々あると存じます。それゆえ、重ねて申し上げて恐縮ですが、経大の発展のため、強力な御支援を賜わりたく存じます。

最後に、同窓会の皆さまの御健勝と御活躍を祈念し、私の学長就任の御挨拶といたします。



経営学・経営情報学特殊講義

また今年も、オープンカレッジとして一般社会人の方にも聴講いただけるという、その真摯な受講態度が学生諸君にも大きなインパクトを与えています。

1995年度 経営学・経営情報学特殊講義
「情報の最前線」
—情報か走る、世界が変わる—

出講日	役職と氏名
第1回 4月12日	読売新聞社・経済部長 中村 仁 氏
第2回 4月19日	日本経済新聞社・大阪本社編集局長 堀川 健次郎 氏
第3回 4月26日	川崎重工業・常務取締役 元資源エネルギー庁長官 緒方 謙二郎 氏
第4回 5月10日	元世界平和研究所・理事 日本船舶振興会・常務理事 歌川 令三 氏
第5回 5月17日	NHK・解説委員 山田 吉考 氏
第6回 5月24日	クオレ・コーポレーション・社長 筑波大学非常勤講師 伊谷 江美子 氏
第7回 5月31日	大阪証券取引所・理事長 元大蔵省証券局長 北村 恭二 氏
第8回 6月7日	ニチレイ・取締役会長 金田 幸三 氏
第9回 6月14日	日本証券アナリスト協会・会長 上條 俊昭 氏
第10回 6月21日	日本公認会計士協会・会長 山本 秀夫 氏
第11回 6月28日	日経BP社・副社長 吉村 久夫 氏
第12回 7月5日	東京新聞・編集委員 伊藤 信雄 氏
第13回 7月12日	株式会社QUICK・常務取締役 棚橋 弘基 氏



◎オープンカレッジ
「経営学・経営情報学」「経済学」特殊講義の開講

昨年引き続き、特別企画の経営学・経営情報学特殊講義「情報の最前線」が、また、本年より経済学特殊講義「地球経済時代の開幕と日本」が開講されました。マスコミ・情報メディア界のトップと産業界の著名な経営者が、情報の社会的役割について熱のこもった講義を行いました。

1995年度 経済学特殊講義
「地球経済時代の開幕と日本」

出講日	テーマ・役職・氏名
第1回 7月24日	アジア経済の発展と途上国の主要課題 東京海上火災保険会社・顧問、前アジア開発銀行・総裁 垂水 公正 氏
第2回 7月25日	円高における国際取引 スタンフォード大学・フーバー研究所客員フェロー 植草 一秀 氏
第3回 7月26日	日本経済の課題と株式市場の役割 野村マネジメントスクール・研究理事 井手 正介 氏
第4回 7月27日	いま企業は国際戦略をどうたてているか 日立金属株式会社・代表取締役副社長 田中 富三 氏
第5回 7月28日	日本経済における法の新たな役割 三國事務所・代表取締役 三國 陽夫 氏
第6回 7月31日	知的所有権に係る国際トラブル 日立製作所・コンピュータ事業本部主管 法務統括センター長 武田 利弘 氏
第7回 8月1日	国際化と日本経済 野村総合研究所・取締役副社長 林 健二郎 氏

10000年度
国際交流関連事業

◎学生の国際交流のあり方に関するフォーラム

5月19日(金)に標記フォーラムを開催しました。短期語学研修についてはもちろん、語学研修以外の短期研修の可能性や留学制度などについて、出席した教職員、学生から感想や意見が出されました。今後の国際交流のあり方を検討する際に大いに参考になりました。

◎図書への寄贈

6月に夏期中国語研修先の首都経済貿易大学(旧名称・北京経済学院)に本学図書館から図書を寄贈しました。対象の図書は、教員個人研究費で購入し、後に図書館に返却された図書のうち、図書館蔵書資料と重複し除籍した分、今回は前回1987年に復旦大学に寄贈して以来1993年末まで



に蓄積された図書、単行本約1万冊です。



1995年度 夏期語学研修結団式
USA: The Community Colleges of Spokane 中国 首都経済貿易大学
励ましの言葉を贈られる中岡国際交流委員長

◎夏期語学研修

◎短期客員教授の招聘

9月4日(月)から10月3日(火)の1カ月間、短期客員教授としてマンチエスター・メトロポリタン大学のデヴィッド・メトロポリタン博士を招聘しました。滞在中、同博士は本学の中間教授との共同研究のほか、学生を対象とした実務講義、学内外の研究者を対象とした公開シンポジウム、学内教員を対象としたスタッフセミナー等に精力的に取り組み、いずれも成功を収めました。

◎国際ワークショップの開催

11月18日(土)、19日(日)の2日間、「アジア太平洋経済圏と中小企業」というテーマで国際ワークショップを開催しました。報告者コメントーターは東京、名古屋、大阪のみならず中国、韓国、台湾、タイ、アメリカからも招聘し、各国の事情と21世紀に向けての展望について議論されました。大阪APECの開催と時期を同じくしたタイムリーな企画として新聞紙上にも紹介されました。

卒業成績証明書等の申し込み方法

卒業生の皆さん、各種証明書を申し込まれる場合は、日数に十分な余裕をもって、左記の要領でお申し込みください。特に、英文による証明書には学長のサインが必要のため、10日以上の余裕をもってお申し込みください。

①来学して申し込む場合
所定の用紙で申し込んでいただくと、約10分でお渡しいたします。

②郵便で申し込む場合
(手数料1通につき 100円)
氏名、生年月日、卒業学部(1・2部の別)、卒業年度、証明書の種類、必要枚数を記入したメモと、切手(手数料同右、要返送料)を同封のうえお申し込みください。

③英文による証明書の場合
右記②と同様です。ただし、手数料が1通200円となります。なお、パスポートに記載の英字氏名を明記してください。

TOPICS

小野奨学会 善行表彰

昨年の佐川明美さん(1部・経済・3年)に続いて、川村栄次君(1部・経済・2年)が、前年度成績優秀で表彰されました。川村君は、阪神大震災により自宅(神戸市・長田区)が被災したにもかかわらず、本当によくがんばりました。*小野奨学会は、(株)小野薬品工業により設立された奨学金制度で、本学では毎年1名採用されています。(給費月額:3万円)



学生部長室にて

入試

10000年度
入試結果

◎1995年度推薦入学選考結果
1994年11月4日(金)に特技(スポーツ)推薦を、12月4日(日)に普通科・商業科推薦を実施しました。結果は下記の表の通りです。

◎1995年度一般入試結果
全般的な入試環境は
◇国立大学への回帰傾向(地元志向の強化)
◇受験競争緩和感からの併願校数の絞り込み
◇長引く不況を受けての経済・経営・情報系学部の人気低迷や減少傾向
などが依然続いており、18歳人口急減期の厳しい状況の中で1995年度入学試験を実施しました。
1995年度は従来のA方式(英語1教科)入試・B方式(3教科)入試に付け加えて
◇3月実施のC方式(2教科)入

(+20.2%)と大幅な志願者増になり、推薦入試の志願者を合計すると、19、147名と過去2番目の志願者数となりました。新規に導入したC方式に志願者が集まったことが大きく影響しております。
A方式の志願者数は、1、402名で87名(△5.8%)の減少となり3年連続して志願者が減り、B方式の志願者数も、1部が9、883名で1、294名(△11.6%)の減少となり、2部は2、612名で98名(△3.6%)の減少でした。1・2部と合計は、12、495名で、1、392名(△10%)の減少となりました。減少の要因としては、冒頭に述べました全般的な入試環境以外に、前年度の反動からくる学科間の隔年現象や、出願締切り直前に起こった阪神大震災の影響等が考えられます。C方式は4、031名もの志願者があり、その主な要因は3月入試という実施時期と2教科入試という受けやすい科目設定に人気が集中したのではと思われる。センター試験利用は、初年度ということもあり志願者数549名、合格者数419名、1.3倍という低倍率でした。
A方式の現役占有率(現浪比)

試の新設

◇センター試験利用入試の導入
◇社会人入試(第2部)の新設
など様々な入試制度の見直しを推し進めました。
地方試験会場として、A方式は岡山・名古屋で、B方式は東京を始め全国7会場で実施しました。
A方式・B方式・C方式・センター試験利用と4種類のそれぞれ異なるタイプの試験を実施したため、志願者総数は18、477名で前年度に比べて3、101名

A方式(英語1教科)入試 志願者・合格者状況(第1部) ()は女子内数

学 科	志願者				合格者				倍 率	合格最低点 (満点200)
	現 役	浪 人	その他	合 計	現 役	浪 人	その他	合 計		
経 済	381 (22)	272 (10)	10 (2)	663 (34)	60 (12)	68 (2)	2 (0)	130 (14)	5.0	125
経 営	261 (42)	201 (18)	7 (0)	469 (60)	42 (12)	60 (6)	0 (0)	102 (18)	4.5	125
経営情報	153 (17)	115 (1)	2 (0)	270 (18)	34 (6)	30 (0)	0 (0)	64 (6)	4.2	120
総合計	795 (81)	588 (29)	19 (2)	1402 (112)	136 (30)	158 (8)	2 (0)	296 (38)	4.7	—

B方式(3教科)入試 志願者・合格者状況(第1部) ()は女子内数

学 科	志願者				合格者				倍 率	合格最低点 (満点400)
	現 役	浪 人	その他	合 計	現 役	浪 人	その他	合 計		
経 済	1965 (118)	2468 (77)	20 (0)	4453 (195)	319 (31)	801 (22)	4 (0)	1124 (53)	3.8	257
経 営	1156 (162)	2075 (68)	19 (1)	3250 (231)	187 (53)	639 (25)	7 (1)	833 (79)	3.8	276
経営情報	693 (96)	1477 (36)	10 (2)	2180 (134)	132 (25)	416 (13)	5 (2)	553 (40)	3.7	269
総合計	3814 (376)	6020 (181)	49 (3)	9883 (560)	638 (109)	1856 (60)	16 (3)	2510 (172)	3.8	—

B方式(3教科)入試 志願者・合格者状況(第2部) ()は女子内数

学 科	志願者				合格者				倍 率	合格最低点 (満点400)
	現 役	浪 人	その他	合 計	現 役	浪 人	その他	合 計		
経 済	311 (11)	993 (10)	11 (0)	1315 (21)	40 (4)	280 (5)	3 (0)	323 (9)	3.9	218
経 営	236 (12)	1045 (6)	16 (1)	1297 (19)	27 (3)	278 (5)	5 (0)	310 (8)	4.0	236
経営情報	547 (23)	2038 (16)	27 (1)	2612 (40)	67 (7)	558 (10)	8 (0)	633 (17)	3.9	—
総合計	894 (34)	3076 (22)	54 (2)	3924 (56)	134 (24)	1116 (30)	16 (0)	1266 (24)	3.9	—

C方式(2教科)入試 志願者・合格者状況(第1部) ()は女子内数

学 科	志願者				合格者				倍 率	合格最低点 (満点200)
	現 役	浪 人	その他	合 計	現 役	浪 人	その他	合 計		
経 済	1111 (57)	1332 (42)	22 (2)	2465 (101)	52 (3)	94 (5)	1 (0)	147 (8)	15.9	161
経 営	376 (42)	599 (34)	11 (0)	986 (76)	18 (7)	47 (3)	1 (0)	66 (3)	14.1	161
経営情報	234 (27)	339 (12)	7 (0)	580 (39)	22 (3)	41 (1)	0 (0)	63 (4)	8.7	157
総合計	1721 (126)	2270 (88)	40 (2)	4031 (216)	92 (6)	182 (9)	2 (0)	276 (15)	13.8	—

センター試験利用入試 志願者・合格者状況(第1部) ()は女子内数

学 科	志願者				合格者				倍 率
	現 役	浪 人	その他	合 計	現 役	浪 人	その他	合 計	
経 済	81 (14)	146 (7)	2 (0)	229 (21)	50 (9)	114 (6)	2 (0)	166 (15)	1.4
経 営	71 (13)	124 (13)	0 (0)	195 (26)	52 (9)	107 (12)	2 (0)	161 (21)	1.2
経営情報	55 (16)	66 (5)	1 (0)	122 (21)	39 (11)	52 (4)	1 (0)	92 (15)	1.3
総合計	207 (43)	336 (25)	6 (0)	549 (68)	141 (29)	273 (22)	5 (0)	419 (51)	—

1995年度推薦入学選考結果 ()内は女子内数

推薦種別	学 科	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入学手続者数	
特 技	1部経済	100(0)	99(0)	38(0)	38(0)	
	1部経営	76(0)	76(0)	30(0)	30(0)	
	1部情報	5(0)	5(0)	2(0)	2(0)	
	合計	181(0)	180(0)	70(0)	70(0)	
	普通科	1部経済	201(48)	201(48)	201(48)	201(48)
普通科 対 象	1部経営	133(32)	133(32)	133(32)	133(32)	
	1部情報	49(13)	49(13)	49(13)	49(13)	
	合計	383(93)	383(93)	383(93)	383(93)	
	商業科	1部経済	28(13)	25(13)	20(11)	20(11)
	1部経営	56(28)	54(27)	46(25)	45(24)	
商業科 対 象	1部情報	22(10)	22(10)	20(9)	20(9)	
	合計	106(51)	101(50)	86(45)	85(44)	
総合計	1部経済	329(61)	325(61)	259(59)	259(59)	
	1部経営	265(60)	263(59)	209(57)	208(56)	
	1部情報	76(23)	76(23)	71(22)	71(22)	
	合計	670(144)	664(143)	539(138)	538(137)	

は、前年度に続き志願者・合格者段階のいずれも大幅に増え、浪人優位の本学の中では現役生がかなり健闘したと言えるでしょう。B方式は志願者・合格者段階ともA方式とは逆に昨年よりもわずかに減少し、C方式やセンター試験利用の占有率はどちらもA方式とB方式の中間の傾向を示しました。

◎一般入試験概要
推薦入学(指定校)説明会の開催
入試部では普通科対象推薦入学説明会と同女子高等学校指定校説明会に、推薦依頼校269校の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。

◎高校教員対象説明会の開催
入試部では、指定校以外で志願者のある高等学校の進路指導担当者に対して、本学の認知度を高めるとともに、本学の入試制度や教員内容を理解していただくため、次のとおり実施しました。

女子受験生の四年生大学志向の高まりを反映し、本学でも女子志願者数は758↓996名に、また合格者数は213↓286名と大幅に増加しました。男女比をみてもそれぞれ昨年より増加しており、この数字からも女子の健闘がうかがえます。実学志向の強い女子受験生が不況による厳しい就職状況を意識して学習に励んだ現れかと思われま。

◎推薦入学(指定校)説明会の開催
入試部では普通科対象推薦入学説明会と同女子高等学校指定校説明会に、推薦依頼校269校の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。
〔普通科対象推薦入学説明会〕
6月20日(火) 高松市 京王プラザホテル高松
徳島・香川・愛媛各県の高等学校対象 13校
6月21日(水) 岡山市 ホテルニューオカヤマ
岡山・広島・山口・島根各県の高等学校対象 29校
6月28日(水) 大阪市 東洋ホテル
兵庫県の高等学校対象 73校
6月30日(金) 京都市 新都ホテル
京都・滋賀・福井・石川・富山各県の高等学校対象 36校
7月4日(火) 大阪市 東洋ホテル
大阪・三重・奈良・和歌山各県の高等学校対象 75校
〔女子高等学校指定校説明会〕
7月5日(水) 大阪市

◎KEIDAI CAMPUS '95
今年のキャンパス見学会(受験生のための大学見学会)は、7月21日(金)にAct Iを実施し、10月7日(土)にAct IIを行いました。
見学会当日は、遠くは福島、東京、高知、山口など各地から昨年を上回る受験生や保護者が来学し、ミニ講義に始まる一連のスケジュールに熱心に参加する姿が見られました。(参加者699名)

就職

◎1995年卒業生の就職概況
 いくつか好転するとも知れぬ平成不況の中で94年度の就職戦線はスタートした。企業の新卒採用は一段と冷え込み、『日経新聞』の調査では「前年の採用実績を更に20.8%下回る」との予想を行い、リクルートリサーチ社の調査でも、大卒求人倍率は1.20倍（男子1.43倍、女子0.61倍）と前年を0.35ポイント下げていた。
 本学学生の会社資料請求時期は早まり、3年次の10月から翌年の3月迄に73.2%の者が行い、会社訪問も4年次の4月に40.3%の者が済ませた。採用内定については50.7%の者が7月下旬までに獲得した。しかし、内定時期が10月以降となった者が10.8%もあった。就職率は就職希望者1,217名に対し1,184名の97.3%であった。これは文部省が本年3月29日に発表した4大卒就職内定率91.2%を上回ることであった。

【業種・規模別就職状況】 (1995年4月1日現在)

業種	人数	規模				
		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明
建設業	56	18	11	23	4	0
製造業	229	64	77	83	2	3
卸売業	322	43	106	165	4	4
小売業	173	57	51	56	4	5
金融・保険業	129	90	29	1	0	9
不動産業	30	5	11	11	0	3
運輸・通信業	42	11	15	14	0	2
サービス業	164	29	36	45	4	50
公務	38	(国家13 地方25)				
その他	1					1
合計	1,184	317	336	398	19	114
(構成比%)	100.0	26.8	28.4	33.6	1.6	9.6

【地域・規模別就職状況】 (1995年4月1日現在)

		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	計
関東		84	55	21	1	11	172
東 其他	3	2	2	0	0	0	7
中部		11	22	8	0	3	44
北 陸	3	9	8	1	1	1	22
近 畿	三重	3	2	0	0	2	7
	滋 賀	8	1	5	1	3	18
	京 都	11	12	22	2	9	56
	大 阪	121	155	218	10	45	549
	兵 庫	34	49	60	0	17	160
	フ ジ キ ン	4	1	8	0	4	17
和歌山	12	1	5	1	6	25	
中 国	12	9	23	3	7	54	
四 国	6	10	14	0	3	33	
九 州	2	4	3	0	2	11	
合計		317	336	398	19	114	1,184

【おもな就職先】 (1995年4月1日現在)

(建設)	竜野松下電工	ファミリーマート	大東水火災海上保険
住友林業	本田技研工業	平和堂	東京海上火災保険
大和ハウス工業	アマノ	ヤオハンジャパン	日動火災海上保険
ダイダ	電業社機械製作所	ライフコーポレーション	日本生命保険
日本基礎技術	河合楽器製作所	ニッセン	明治生命保険
(製造)	積水成型工業	レリアン	安田生命保険
伊藤園	タイガースポリマー	ソフマップ	日 栄
ケンコーマヨネーズ	(卸売)	(金融・保険)	大 和 団 体
三笠コカ・ラボリング	加藤産業	池田銀行	(運輸通信)
養命酒製造	雪印アクセス	愛媛銀行	近畿日本ツーリスト
グンゼ	菱 食	香川銀行	近鉄エクスプレス
内外織物	エー ス	京都銀行	日本通運
イトキン	グンゼ産業	近畿銀行	阪神高速道路公団
永大産業	吉 忠	幸福銀行	阪神電気鉄道
クリナップ	江 守 商 事	三和銀行	読売旅行
住建産業	進 滋	賀 賀 銀行	福山通運
タカラスタンダード	三 屋 堂	住友銀行	読売旅行
フランスベッド	スズケン	泉州銀行	日本電信電話
新王子製紙	マンダム	但馬銀行	(教育)
東 罐 興 業	ユニ・チャーム	大和銀行	大阪経済大学
ゼリア新薬工業	品川燃料	中国銀行	大阪産業大学
ツムラ	住友建材	トマト銀行	成安造形短期大学
常盤薬品工業	トラスコ中山	奈良銀行	羽衣学園
日水製薬	第一興商	南部銀行	(コンピュータサービス)
日本ケミファ	高千穂交易	阪和銀行	ダイワボウ情報システム
日本新薬	日 光 堂	百十四銀行	都築通信技術
富士製薬工業	フォーバル	兵庫銀行	福井コンピュータ
北 陸 製 薬	オートバックスセブン	和歌山銀行	タイトー
アサヒペン	ライオン事務器	尼崎信用金庫	セコム
日本バルカー工業	田崎真珠	大阪市信用金庫	(公務)
システム	ダイワラクダ工業	大阪信用金庫	大阪国税局
フジキン	(小売)	神戸信用金庫	名古屋国税局
フルサト工業	ヴェルマート	八光信用金庫	大阪府役所
三菱農機	関西スーパーマーケット	播州信用金庫	大阪府警本部
アイコム	ジャスコ	姫路信用金庫	京都府警本部
新電元工業	生活協同組合コープこうべ	兵庫信用金庫	和歌山県警本部
川崎電気	チェーンストアオークワ	日興証券	和歌山市役所
キーエンス	ニッショ	第一生命保険	

1996年度推薦入学募集概要

	特技(スポーツ)推薦入学	商業科対象推薦入学	普通科対象推薦入学(指定校制)
募集学科人 員	第1部 経済学科 35名 経営学科 20名 経営情報学科 15名	第1部 経済学科 20名 経営学科 40名 経営情報学科 20名	第1部 経済学科 140名 経営学科 70名 経営情報学科 50名 ※経済学科140名のうち20名は女子高等学校に依頼
選考方法	① 書類選考 ② 小論文 ③ 面接	① 書類選考 ② 小論文	① 書類選考 ② 小論文
出願期間	'95年10月23日(月)~ 27日(金)消印有効	'95年11月20日(月)~ 24日(金)消印有効	'95年11月20日(月)~ 24日(金)消印有効
選考日	'95年11月10日(金)	'95年12月3日(日)	'95年12月3日(日)
合格発表	'95年11月18日(土)	'95年12月9日(土)	'95年12月9日(土)

1996年度一般入学試験概要

	A方式(英語1教科)入試	B方式(3教科)入試	C方式(2教科)入試	大学入試センター試験利用
募集学部・学科 募集人員	経済学部 第1部 経済学科 50名 経営学部 第1部 経営学科 30名 経営学部 第1部 経営情報学科 20名	経済学部 第1部 経済学科 370名 経営学部 第1部 経営学科 235名 経営学部 第1部 経営情報学科 160名 経済学部 第2部 経済学科 100名 経営学部 第2部 経営学科 100名	経済学部 第1部 経済学科 50名 経営学部 第1部 経営学科 30名 経営学部 第1部 経営情報学科 20名	経済学部 第1部 経済学科 35名 経営学部 第1部 経営学科 25名 経営学部 第1部 経営情報学科 15名
試験日	1996年2月1日(木)	2月9日(金) 経済学科(第1部・第2部) 2月10日(土) 経営学科(第1部・第2部) 2月11日(日) 経営情報学科(第1部)	1996年3月6日(水)	1996年1月13日(土)・14日(日)
試験地	大阪(本学)・岡山・名古屋	大阪・東京・名古屋・金沢・姫路・高松・広島・福岡(学科別同日実施)	大阪(本学)・岡山・名古屋	
試験科目	英語 I・II II B・II C 英語 Listening Dictation は除く	外国語 英語 I・II II B・II C 国語 国語 I・II (古文、漢文を除く)	外国語 英語 I・II II B・II C 国語 国語 I・II (古文・漢文を除く)から1科目を選択	国語 200点 外国語(英語・独語・仏語から1科目) 200点 社会、数学、理科から1科目 100点 ※大学入試センター試験を利用して行う ※社会、数学、理科については2教科・科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用する。 ※個別学力検査等は課さない。
試験課目	※解答はオール・マーク方式	選択(1科目) ※解答は全科目オール・マーク方式	社会(1科目) ※解答は全科目オール・マーク方式	
出願期間	1996年1月5日(金)~22日(月)消印有効	1996年1月5日(金)~24日(水)消印有効	1996年2月13日(火)~23日(金)消印有効	1996年1月5日(金)~29日(月)消印有効
合格発表	1996年2月6日(火)	1996年2月17日(土)	1996年3月12日(火)	1996年2月17日(土)

教学関係

◎1995年度在籍学生数

() は女子学生内数

学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
第1部	経済	882 (94)	656 (65)	928 (72)	798 (66)	3,264 (297)
	経営	615 (99)	427 (65)	441 (70)	480 (56)	1,963 (290)
	経営情報	401 (48)	275 (50)	286 (59)	373 (63)	1,335 (220)
	小計	1,898 (241)	1,358 (180)	1,655 (201)	1,651 (185)	6,562 (807)
第2部	経済	106 (5)	120 (2)	149 (2)	111 (5)	486 (14)
	経営	92 (1)	129 (4)	107 (2)	144 (1)	472 (7)
	小計	198 (6)	249 (6)	256 (4)	255 (5)	958 (21)
合計	2,096 (247)	1,607 (186)	1,911 (205)	1,911 (190)	7,520 (828)	

1995.5.1現在

◇大学院
経済学研究科博士前期課程
(修士課程)

在籍学生数(研究指導科目別)

学生	研究科目	人数
M2	財政学	5
	経営財務論	1
	工業政策I(中小企業論)	1
M1	数理統計学	1
	財政学	10
	財務会計論	3
合計		21

1995.5.1現在

◎在校生の被災者に対する救済処置

阪神大震災により被害を受けた学生に対し、下記の救済処置が講

- じられることに決定しました。
- 1 見舞金の給付(1~4年生)
 - 2 授業料減免(ただし3年生以下が対象)
 - 3 授業料未納者への納付期限の1か月延長(2月末日)
 - 4 本学貸与奨学金の弾力的適用
 - 5 短期貸付金の弾力的運用
- ※上記1~5の手続きについては、市町村長等の発行する、罹災(被災)証明書が必要です。

- ◎被災した合格者に対する授業料の減免処置
- 阪神大震災における被災者に対して、前期授業料が免除されることになりました。(1部285,000円、2部105,000円)。
- 家屋等の全壊・半壊・全焼・半焼の災害にあつた合格者は、罹災証明書を3月15日(水)までに学部に送付し、審査のうえ要件を満たした者には、別途授業料減免額を控除した「学費等」納入用紙を送付します。

公開講座

◎第13回公開講座

(経済・文化セミナー) 概要
(大阪府立文化情報センター共催)
(メインテーマ)
アジアへのまなざし
韓・中・台・ベトナム・タイの産業、社会
(日時)
9月14日(木)~10月19日(木)
(場所)
肥後橋・大阪府立文化情報センター
(スケジュール)
第1週 9/14(木) アジア経済とタイ
経営学部教授 二宮 正司
第2週 9/21(木) ドイモイ下のベトナムと日本

◎第7回市民教養講座

期間 5月13日
7月15日の土曜(9回)
会場 本学E館会議室
テーマ 異文化を旅する
講師 桜井三枝子・教養部助教
授 (マヤ文化を訪ねて)
山田 裕康・教養部助教
(ポーン・イン・ザ・U・S・A・アメリカ黒人に生まれて)
徳永 光俊・経済学部助教
(日本におけるもうひとつの文化)

- 東京大学 教養学部教授 古田 元夫
第3週 9/28(木) 体制転換：社会的摩擦に揺れる中国
経済学部教授 山本 恒人
第4週 10/5(木) 長江以南地域における地域開発
経営学部助教 家本 修
第5週 10/12(木) 韓国における基盤産業としての金型産業
経済学部助教 齊藤 栄司
第6週 10/19(木) 台湾におけるコア産業の発展
経営学部教授 藤本 寿良

国庫助成

◎1994年度私立大学等
經常費補助金について

1994年11月18日付で申請し

新刊紹介

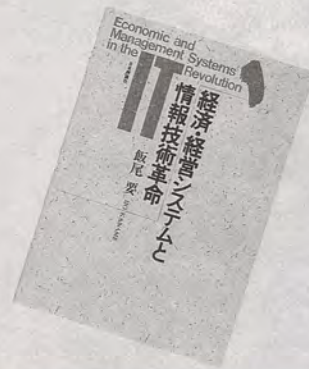
◇伊田 広行著

『性差別と資本制』
—シングル単位社会の提唱—
啓文社 1995年2月発行
473ページ 3,400円
大阪経済大学研究叢書第27冊



◇飯尾 要著

『経済・経営システムと情報技術革命』
日本評論社 1994年3月発行
278ページ 3,399円



◇山田達夫・矢吹紀人共著

『産直新世紀—こだわりの「農と食」をつくる人びと—』
シーアンドシー出版 1995年6月発行
259ページ 1,600円



◇西山 豊著

『ブーメランはなぜ戻ってくるのか』
ネスコ発行、文藝春秋発売
1994年9月発行
237ページ 1,500円



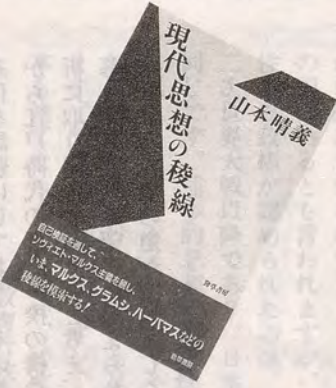
◇高寺 貞男著

『複雑系の会計学』
三嶺書房 1995年7月31日発行
211ページ 4,500円
大阪経済大学研究叢書第28冊



◇山本 晴義著

『現代思想の稜線』
勁草書房 1994年12月発行
204ページ 2,163円



◎日本経営学会第69回全国大会
開催期間 9月6日(水)~9月9日(土)
場所 C・D館、記念館大会
テーマ 日本企業再構築の基本問題
参加者 560名(会員数2,000名)

◎第1回経済史研究会開催
日本経済史研究所主催の第1回経済史研究会が公開で下記のとおり開催されました。
日時 1995年7月22日(土)午後2時~6時30分
場所 大阪ガーデンパレス
出席者 52名

Letter From Seminars ゼミ短信

1995年夏

楠本秀忠先生

今年、震災、オウム、洪水等の天災、人災が次々とありましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、相変わらず、研究、授業、クラブ等に追われ、95年の夏も終わろうとしています。そんななかで、我が家の子供たちが、海に山にと元気に遊び回っている姿を見るにつけ、子供は遊びながら育っていくものなんだな、と変なところで感心したりしています。今年、クラブ（バスケットボール部）にとっても大事な年、私も学生に負けないようにがんばろうと思っています。

(運動科学)

これは大変!

久保田諄先生

「皆と一緒に大部屋で寝るなんて僕にはできません。帰ったら欠席扱いですか」「えっ、君は高校時代に修学旅行に行ったやろ。修学旅行で皆と大部屋で寝たやろ」「いえ、修学旅行の時はホテルの二人部屋で友達と一緒にした」入学したばかりの1回生の教養ゼミ

の学生を連れて西播磨天文台に合宿に出かけると毎年のことながら驚かされます。右の学生は男子です。女子学生はもちろん、別の小部屋に入れて優遇しています。それにしても、何と幼い感覚の青年が増えたことか。どうかこの4年間でたくましく成長して欲しいと願わずにはおられません。私の教養ゼミでの毎年の第一声は、「皆さん、このゼミで先生には敬語で話しましょう」。お隣の学校でも同じ状態と聞きました。

(宇宙科学)

還暦を過ぎた

鯉田勝巳先生

今年3月で60を過ぎましたが、相変わらず毎早朝テニス、月3回程度のゴルフ、長唄少々と続け、元気に過ごしております。卒業生の皆様いかがお過ごしですか。パブルがはじけ、景気の行方は大不況との予測があり、ここ数年は慎重に行動してほしいと思います。阪神淡路大震災で拙宅も半壊し、60日をかけて基礎から建て直し、ほっとしているところです。ゼミの卒業生の皆さまと一度会いたい

本を出しました!

伊田広行先生

95年2月に『性差別と資本制』(啓文社)を出版しました。多くの人に読んでもらえることはうれしいことです。最近、アン・リンドバーグ『海からの贈物』を読みました。次はこんな本を書きたいと思っ今準備しています。制度とスピリチュアルがテーマのビジュアルな本です。

(労働経済論)

一筋の道

稲場紀久雄先生

ごく最近、伝統ある「日本経済史研究所」の所員になりました。以前から黒正巖先生の「百姓一揆の研究」のフォロワーは懸案の一つでした。黒正先生への関心を一層深めることになった契機は、『エコノミスト』誌で今春連載された「戦後半世紀への証言」の中で、久野收氏が再三触れられた黒正先生の温かい人となりです。幸運にもこの6月、所員の学内公募が実施されました。私は、かねてより「生命環境経済学」の体

系化を課題にしており、その視点から江戸時代の百姓一揆の構造分析に取り組んでみたいと考え、応募しました。希望はかなえられ、私の前に一筋の道が開けました。

(生命の科学)

奉職9年目

片山麻美子先生

最近とみに歳を感じるの、学生の名前が覚えられないことです。皆さんに大変申し訳なく思うのですが、多少の努力で補いがたく、とはいえ、うれしいことも少なくありません。最近、以前にもまして、英語力のある学生が増えたように思います。経大にも帰国子女が何人か在籍するようになりました。英語の得意な人も、苦手な人も各々に熱心に習得してくれたらと願っています。英語は人生の一部でしかないですが、その楽しさを分かち合えればと、授業では相変わらず口やかましく言いながら、学生と学ぶ今日この頃です。

(英語)

と思っています。ご連絡ください。

自宅 〒662 西宮市樋之池町13-4

TEL 0798-711-12

37 事務所 〒530 大阪市北区

鶴野町4-A-104

TEL 06-374-229

1

(会計学)

ゼミ2年目

幸田亮一先生

昨年赴任してきて、ようやく2

年目。昨年初めて受け持った第1回ゼミ生諸君の7名は、現在就職活動のまっただなかです。厳しい状況下、皆、それなりに自分の納得できるところに職を見つけたらと願っています。第2回のゼミ生となる三回生は、一挙に16名に増加し女子学生も多数います。「もっと知りたいヨーロッパの企業」というテーマで、各人が関心ある企業や産業を選んで、自分で調べ始めたところです。

経営情報学科に、今年から入った立派な機器類を、少しでも活用すべく、端末がそろった経営情報

学科の演習室でゼミを行い、テキスト輪読中心の古典的なゼミの良さと、パソコンの長所を結合したいと試行錯誤しています。

(経済史)

また行きたい、パリ

高津芳則先生

昨年度は、フランスでの在外研究の機会を与えていただきました。現地でフランスの本や資料を集めて送りましたが、やっと今年6月に、船便で大学の研究室へ着きました。夏から楽しく研究活動に入れそうです。

フランスは、日本から見ると、「先進資本主義国」と言われています。でも、よく見てみると、何が「先進」なのか分かりません。一部テクノロジの分野では、確かに進んでいるでしょう。人権の国であるとも言われますが、女性の参政権が認められたのは、第二次世界大戦以降であり、日本と同じです。進歩的思想の国のように見えますが、ドイツにむりやり対抗しているだけのようも見えます。フランスは好きですが、日本も捨てたもんじゃありません。

(教育行政学) 33

大阪の大学

後藤一郎先生

本年度の授業では、「流通システム論」も担当している。夏期休暇前の授業では、流通系列化に話が進み、事例には、松下電器産業を試みに取り上げてみた。その際、大阪で生まれた松下という中小企業が、日本の大企業に成長していく過程を注目し、そこで系列化が果たした役割を浮かびあげようとした。手前みそではあるが、反応は良好に思われた。

昨年、系列化議論が高まりを見せていたことが一因にあるかもしれない。しかし、それ以上に、家人や知人に、松下あるいは松下関係の企業で働く者が多く、身近な話としてとらえられたということもあろう。ひいては大阪という地域に対する、自覚からの反応もあつたことだろう。

今後の授業でも、適宜、地域性をおりこんだ話題を提供してみたいと考えている。

(商業学)

桜井三枝子先生

文化人類学の視座

今年はじめの卒業生を出して、感無量の気持ちで卒業式に出席した。当初は学生も私も戸惑うことが多かった。文化人類学そのものが、比較的新しい学問であり、学生にとつて馴染みがない上に、受講なので先輩から情報を得ることもできず、イメージを把握しにくかったのかもしれない。一方、私の方はたばこ塩の博物館(東京・渋谷)を主体とする中米グアテマラの学際的研究プロジェクトに参加し、祝祭と儀礼の民族学調査に参加しており、日本と中米・メキシコを往復し、ゼミ学生に国外情勢を語るが多かった。幸い、学生は稲を中心とする食物文化、経済人類学、象徴人類学、母系制社会研究と多面にわたる興味深いテーマでよい成果を残してくれた。

(文化人類学)

杉山 襄先生

富者へのプロセス

極端な低金利と価格破壊と景気不況。コスト削減の緊急と雇用悪化と所得低迷。本年度の杉山ゼミは27年目を迎え、3回生・4回生・計34名で構成。次記の如き教示

した。もしも、あなたが仕事に忙殺され、政治に関心がわかないなら、そして、こんなことでいいのかと少しでも悩んでいるなら、どうぞ手に取ってください。大きな本屋ならあるはずですし、公立図書館を利用すれば、タダで読むことができます。

(政治学)

中川 操先生

アメリカからー 中川ゼミ卒業生へ

今年も米国ワシントン州スポケーン市で書いています。この一年でうれしいこと悲しいことがたくさんありました。うれしいことは卒業生からの消息です。そのいくつかを紹介いたします。

昨年ゼミ生のクリスマス会を西宮の自宅で行った時、突然電話がかかってきました。私のゼミ1期生の石飛卓美君からです。この欄に載っていた電話番号を見てかけてくれたのです。SF作家として活躍している彼から間もなく新刊が届きました。SFといってもエコロジーの問題を取り上げたものです。私の専門の文体論から論じてもすぐれた達者な文章で書

をしています。

(イ) 富者は金作りよりも金の貯蔵を重視する。(ロ) 財産は高度に集中して作られるが、財産は高度に多様化して貯蔵される。(ハ) 富者は自分の金を失うことを嫌う。それが最重要事である。超長期に実践すること肝要である。

(生産管理論)

高寺貞男先生

『資本』の著者の会計観

商人の計算方法は、もちろん、部分的には経済学者のそれよりももっと大きい錯覚にもとづいている。しかし、他面では、実践的錯覚によって経済学者の理論的錯覚を訂正する。

(会計情報システム論)

田淵 進先生

ゲッチンゲン再訪

4月の初め、2年ぶりにゲッチンゲンを訪れた。今回は、私の恩師であるポーフム大学のD・シュナイダー教授が、ゲッチンゲン大学から名誉博士号を授与され、その式典に招待されたためである。

かれていて、一気に読んでしまいました。

昨年6月は、中川昭君が無事イースタンワシントン大学大学院で英語教育の修士学位を、今年、西口登造君がゴンザガ大学大学院で経済学修士の学位を受けました。中川君は、今後は英語学の学者の道を、西口君は、ダブルメジャーを取ってCPA(公認会計士)の道を目指すために、アメリカで引き続き勉強しています。

ゼミ卒業生の森本君、後藤君は9月入学を目指して大学院への準備コースで頑張っています。

1月17日の阪神淡路大震災で、一時は地震で壊れた家を眺めて希望を失っていた私ですが(家の破壊で引越さねばならない卒業生やゼミ生がいてつらい思いをしました)、幸い怪我の報告はありませんでした。スポケーン市で卒業生に囲まれて元気を取りもしました。こちらの夏の英語研修も無事終わり、私の夏休みがこれから始まります。

今年のゼミ合宿は教養、2回、3回合同で被災地を気づける気もあって淡路島へ行きました。4回生の卒業旅行は再びもとに戻ってブーケット・クラブメッドです。卒業生からお仲人の大役を頼ま

先生の近況

喜寿の節目

井上 清先生



ゼミOBの皆さんお元気ですか。今年平成7年という年は、小生の人生にとって最後と言えるほどの大きな節目であり、多事・多難な年でした。すなわちこの年、喜寿を迎え、名誉教授となり教職から引退しました。そして、新年早々の大震災に遭遇。手のつけようもない破壊・散乱した家財・書物の整理、配水管の復旧など今なお時間を必要としています。

小生の住む西宮市段上町は、活断層上にあり、多数の家屋が全半壊し、多数の死者を出しました。現在、多くの家屋の解体、整地が進み、更地に新築の建設が始まり、道路ではガス・水道・電気の復旧・新設工事が始まっています。小生らは、これら諸工事の騒音のなかで、頑張つて元気に暮らしています。御安心ください。

どしどし近況報告を!

伊豫田隆俊先生



1月の阪神大震災で、勤務校が多大な被害を蒙りました。

楽天家の私も、さすがに今頃はかりは絶句してしまいました。私のゼミのOB諸君に、被害がなかったのが不幸中の幸いです。ところで、この5月に、昨年卒業したゼミ生諸君と、琵琶湖リゾートクラブに一泊し、旧交を温めました。懐かしいというほど久しぶりではありませんでしたが、みんなすつかり社会人らしくなって、本心に頼もしい限りです。オメデタイ話もチラホラありましたし、私も心からエンジョイできました。このような催しは大歓迎です。で、ぜひ積極的に声をかけ合せて集まりましょう。皆さんの近況を伺うのを楽しみにしていますので、ご連絡ください。

震災後の月並生活

田中健一先生



朱夏、諸学兄その後もご清祥・活躍の程、大慶です。老生も、当時大勢から励ましを受け、寝たきり病妻とまず余生を楽しませてい



れることも多いのですが結婚、家族、転勤、移転など、なんでも下記へお知らせください。地震の時は歩いて訪ねてくれた卒業生も何人かいて、感激しました。家の応急修理は終わり、ようやく住める状態になりましたのでまた遊びにきてください。

自宅 〒662 西宮市甲陽園
東山町4-1-2
TEL 0798-74-1137
FAX 0798-74-1155

国際的な飛躍

長岡延孝先生
着任して早5年目に入りました。でも、まだまだ分からないことが多く、自分の無能さを実感しております。

今年度は、国際交流委員の一人として、本学の教育と研究の国際的なネットワークが、少しでも広がるように、微力ですが努めております。夏の語学研修に対する学生の反応も、年々良くなってきており、今年はやキャンセル待ちも出てしまいました。これらが本物に

育つていくように、皆さまからのご援助とご協力をお願いしたいと存じます。何とぞよろしくお願ひ申しあげます。
(経済政策)

還暦のいじり

永野 仁先生
私は来年3月5日をもって満60歳になります。うれしくはないけれど、いたしかたありません。そこで自祝として著書を出版します。大学当局の援助金による「大阪経済大学研究叢書」の一つとして、大変特殊な領域の本ですから、

どれだけ売れるか心許ない限りです。昔、私の講義を受けてくださった方々が「義理」として買った方々が「義理」として買ってくださったなら、この上ない幸せです。2月に刊行されます。値段は多分、5000円前後です。大学の私あてにハガキでご予約ください。
出版社は東京の新東社で、一般書店でも売ります。
直接、私の方へ注文くださった方には送料抜きと、多少の割引ができるでしょう。——今回は自己PRになったことお許しください。
(日本文学II)

和田重司ゼミ先輩の皆さまへ

林 遵先生

ゼミナール先輩の皆さまに、先生の指導教授でもあった和田重司先生の近況をご報告申しあげます。昭和8年生まれの先生は、すでに還暦を迎えられました。中央大学で精力的に教育・研究活動を続けておられます。奥さまは小学校を退職されましたが、お元気で3人のお子様たちもすでに社会人となつて、マスコミ等で活躍中です。

先日お会いした時に、同窓会名簿に、和田ゼミ先輩諸兄のお名前が掲載されていますと申しあげたところ、ぜひ見たいということでお送りしました。皆さまにくれぐれもよろしくお伝えくださいのことです。
小生のゼミは来年3月によるやぐ1期生が卒業する予定です。どうぞよろしくお願ひ申しあげます。
(経済原論I)

震災お見舞いありがとうございました

おられるとのお便りをいただきました。
その他連絡のとれなかった人たちのなかには、被災者もおられるかと思ひますが、すでに半年以上も経過してはいますから(8月現在)、前向きに暮らしておられることと思ひます。住所の変更や、困っておられてお助けできることがありましてらご連絡ください。
(西洋経済史)

多忙の中身に変化

松村文武先生

ゼミOG・OBの皆さんお元気で。周知のように、今年には就職戦線が超氷河期ということ、4年生は悪戦苦闘しています。個人的にも同様の娘をかかえ二重に暑い夏を経験しています。

大学はようやく新しい理事長に交替することができ、心機一転、未来に向かって歩み始めつつあるというところです。小生は、相変わらず研究教育に追われていますが、ラジオ出演がきっかけで、講演依頼が増えています。

また、学術会議の委員に選ばれ、東京出張なども多くなりました。研究面では、多国籍資本主義の時

ただいております。御安堵ください。
その後、諸事件で教育(学)者としても憂慮多いですが、TVで高校野球・相撲等を楽しみ、目下、J・J・ルソーを再読しています。彼は「考える前に感じる」といい、自然の語も感情的好みからか、幾通りかの概念に使っていますが、その一自然力の偉大に比し、人工力の空しさを感じます。「真理をまず感じとる」との直観子感力を老生も多少は持つよう、震災時にも現われたか(?)半壊の借家も、改修工事前第7サティアンと自称する(その実、ラッキー7でした)が、ようやく昨今、内外補完を得て、外観見違える程となりました。家賃高騰を覚悟の現状です。教育論の夢見はしていますが、サリン等は造っていませんから安心してください。ではまた。

私の心境

平 寛先生



私も人生の黄昏期の中へ完全に入りこみましたが、私の境界内におけるミネルヴァのふくろうは、まだ翔び立つてくれません。そこで、ハイデッカーを気取る訳ではありませんが「死への存在」の異義を痛切に感じている昨今です。

ゼミの行方

間野嘉津子先生

今年からゼミを持つことにしました。これまで授業で出会った人たちが、その後どうしているかしら?と思うことが時々ありましたので、そのこともこのゼミを持つ一つのきっかけとなりました。ところが、ゼミコンパや合宿を37

今年も暑い夏でした
松原和男先生
卒業生の皆さん、元気でご活躍のことと存じます。阪神大震災で罹災された皆さんには、遅ればせながら、心からお見舞い申しあげます。なお、私どもの被害は幸い軽微で、壁にひびが入った程度で

(産業組織論)

松岡憲司先生

1月17日の地震では、間一髪で助かりました。私の家をかすめた地面の亀裂は、ご近所の家々を全壊にしまいました。一時は空き地ばかりになってしまった周囲も、少しずつ家の再建が始まり、大工さんたちで毎日賑わっています。

ゼミ卒業生の多くの方々から、お見舞いのお電話をいただいたり、なかには休みの日に家まで来てくださった方もあり、本当にありがたいと思ひました。

皆さまのなかには、もつとひどく被災された方が多くいらつしやることと思ひます。謹んでお見舞い申しあげるとともに、一日も早い復旧再建をお祈り申しあげております。

松村幸一先生

1月17日の阪神大震災は、我がゼミの卒業生のなかにも、さまざま形で爪跡を残しました。直接、連絡のとれた何人かとは、無事を確認して喜びあいましたが、身内にご不幸があった人もいました。また、後日、転居通知をいただいた、初めて住居を失われたことを知らされた人もいました。そのようなご不幸にあわれた人も、その後、復興にむけて元気に前進して

(経済変動論)

松村幸一ゼミ卒業生の皆さまへ

おられるとのお便りをいただきました。
その他連絡のとれなかった人たちのなかには、被災者もおられるかと思ひますが、すでに半年以上も経過してはいますから(8月現在)、前向きに暮らしておられることと思ひます。住所の変更や、困っておられてお助けできることがありましてらご連絡ください。
(西洋経済史)

多忙の中身に変化

松村文武先生

ゼミOG・OBの皆さんお元気で。周知のように、今年には就職戦線が超氷河期ということ、4年生は悪戦苦闘しています。個人的にも同様の娘をかかえ二重に暑い夏を経験しています。

大学はようやく新しい理事長に交替することができ、心機一転、未来に向かって歩み始めつつあるというところです。小生は、相変わらず研究教育に追われていますが、ラジオ出演がきっかけで、講演依頼が増えています。

また、学術会議の委員に選ばれ、東京出張なども多くなりました。研究面では、多国籍資本主義の時

通じ、人間的なつきあいが始まりかけたこの時に、今回のフランス核実験のニュースが報道されました。

フランスと関係の深いすべての国や地域の文化を研究の対象としているこのゼミにとって、この事件は決して避けて通ることのできない大きな課題です。これまで以上に、もっと切実に、フランスについては世界と日本の関係について若者たちとともに考えていきたいと考えています。

(フランス語)

UBC訪問

六浦英文先生

今夏、カナダのヴァンクーヴァー市のUBC(ブリティッシュ・コロンビア大学)で開かれた、第9回「ドイツ語学・文学国際学会」世界大会に出席しました。

市内からトロリーバスに乗って30分で、緑に囲まれたUBCに到着。第一印象は、何と広いこと！数年の並木道を挟んでさまざまな建物が点在しています。校舎はもちろん、万巻の書を収めた図書館、研究所、スタジアム、宿泊施設、音楽ホール、劇場、博物館、

庭園、購買部、駐車場など、必要なものは何でもそろっています。これはもう一つの町といっても良いぐらい。さすがにカナダ西海岸随一の大学。広大な土地があって、基本設計が良ければ、こういう大学ができるでしょう。思わず、ため息が出てしまいました。

(ドイツ語)

簿記? 会計?

渡辺 泉先生

1995年度より、会計のカリキュラムが大きく変わりました。というのも、最近とみに学生諸君たちの間で、「会計離れ」が進んでいると思われたためです。何とかもう一度、会計に興味を取りもどさせようという試みから、思い切った変更に踏み切りました。

「会計離れ」最大の原因は、1年次でいきなり複雑で難解な簿記の仕訳をするからではないかと考えました。したがって、複雑な簿記の仕訳を2年次に回し、1年次で会計の必要性や正しい立ちを話し、簿記は、その基本原理のごく簡単な説明に止めました。果たして、吉とでるやら凶とでるやら。研究の方は、しばらくの間、損

益計算から資金計算へのシフトをテーマにやってみていくつもりです。

(財務会計論)

ザンボン

震災後、元気に再会!

清壽会文化サロン

第16回目の会合は、94年8月20日に谷町の「湖陽閣」で、井上清先生「カンボジアアンコール遺跡」、松本茂郎先生「最近の中国」の報告を聞く。15人の参加。

第17回は、12月10日神戸元町の「愛園」で、竹延弘倫君「スベイン・ポルトガルを訪ねて」の報告を聞く。参加者22人。

第18回は、95年1月24日・香住旅行を予定していたが、阪神大震災で中止する。

第19回の会合は、大地震のほとぼりはまだ冷めていなかったが、早く元気な顔を見たいという要望で、6月4日、大阪曾根崎の「多幸梅」に元気な顔がそろった。被災者が大地震の経験談を語った。参加19人。

酒井亮介(15)

年一回には意味がある

松村幸一ゼミOB会

卒業後20数年が過ぎた今も、年一回ゼミ同窓会が開かれています。僕は、たまにしか出席できませんが、この「年一回」には意味があります。運よく出席できた今年、しばしの歓談のなかで、一つの光景が僕の脳裏を走りました。

卒業前後、松村先生の研究室。就職することに明るい展望を持ってないでいた、不服屋の僕を論じた先生の言葉、「矛盾を抱えているのは君だけではない。同じような矛盾のなかに仲間たちがいることを忘れないでほしい!」。

この言葉に支えられて、切り抜けてきた人生の局面が何度もあつたし、これからも年に1回くらいはあるでしょう。その度にゼミ同窓会に思いを馳せます。やはり「年一回」には大きな意味があるんだなと、今つくづく思っている次第です。

大森俊次(40)

老・中・若、さまざまな世代の意見を 取り入れよう。



同窓会長 萩原市郎

平成6年12月17日、磯野前会長の突然の辞任により常任理事会の諸君に強く要請され会長への就任を迫られました。

私はその任にあらず、他の適当な方をお願いすればと、極力お断りしましたが種々情勢を説明され、諸君の苦衷を慮りお引き受けすることになりました。

しかし、就任そうそう学校法人では12月19日、鈴木理事長が辞表を出され、11回卒の桑津理事が後任として理事長に就任されることになり、年が改まり1月17日古今未曾有の淡路・阪神

大震災に遭遇、この対応に精力をとられ被災者に対してのお見舞いの要請に陰下事務局長と同道、被害地の各支部長を訪れ、お見舞い金の伝達等をお願いに回り、終わったのが5月、新会長としての今後の方針・法人理事会への対応等々の考えをまとめる余裕もなく6月の理事会・支部長会を迎えました。

支部長会では私の頭の中は白紙であるから何でもかまわぬから好きなことを言ってくれとい、各支部長の発言を求めたところ若い支部長の諸君より思い切った発言を得て心強く、且つ参考になりました。

今後、できる限り各支部を訪問し、その声を聞き、これを参考に同窓会は今後如何あるべきか、役員諸君と検討し、新しい方針を立てたいと思っております。

十数年前、身体の不調もあり副会長・常任理事を辞任し、その後、顧問としてのんびりと同

窓会を眺め、岡目八目と申しますか、外にあつて見ておりまして何かと色々なことが目につきました。

本部執行部・支部等への対応に気が掛かることも多くありました。しかし、当事者になればこれも仕方ないことと見過ごすことも少なくはありませんでした。

同窓生も1回より61回と三世代、親・子・孫といった関係で誠に複雑なものがあります。三世代同居の家庭であってもこれを一つに纏めることはなかなか難しいものがあります。同窓会においてはそれぞれ、老・中・若の考え方も、育った環境も違っております。

この違った世代を如何にうまく纏めて行くのが大切な今後の課題ととらえております。卒業生の数も6万人を超え、大学に昇格してからの卒業生も既には60歳を越え、各企業・団体ではリタイヤをして第二の人生に入った方達も多くなっております。

ます。

旧高商の卒業生は僅か千余人に満たないようになっております。

この比率より考えましても私の後継者はずからず大卒の方に譲りたいと考えております。以上、新会長としての思いを述べてみました。今後のご協力をお願い申し上げます。

大学もこれからまさに冬の時代を迎えようとしております。平成11年には18歳人口が激減する事態になります。これに対応して法人も教学も財政の見直し・新学部の増設等種々の改革を一体になって努力しております。11回卒の桑津昇理事長・同期の岩谷宣治理事・そして、財務担当としてこのたび31回の中村敏啓君が理事に就任され、同窓会としても学校当局に全面的な協力をしなければならぬ状況となっております。

同窓生の皆さまもこのような状況をご推察の上益々のご協力をお願いしてご挨拶に代えさせていただきます。

今後とも母校の充実発展と 同窓会の隆盛を祈つて。



齊野磯 前任相談役
常任相談役
前会長

母校大阪経済大学は、今年創立63年になりました。開学以来、自由と融和を建学の精神として継承し、今日まで幾多の人材を世に送り卒業生はすでに5万8千名を数えることになりました。躍動と沈滞を繰り返しながら、着実に発展を続ける商都大阪に立地して、学問と実学とともに学ぶアカデミックな環境は、青年期の勉学に最適な条件を具備するものと確信しております。現在、多くの卒業生が東京、大阪を初め、各地で、指導的活躍をされていることは、同窓生の

等しく誇りとするとところであり、願ひますと昭和25年同窓会再建に加わってから今日まで40年を越える長い歳月にわたり同窓会活動に携わって参りましたが、この日まで大過なきを得ましたことは、大学関係者の皆さま、同窓会役員会、支部長会、先輩、後輩の方々の暖かいご協力ご支援を賜わったお陰であります。特に50周年記念事業募金、経営情報学科開設記念募金に際しましては、全国津々浦々から母校愛溢れる拠金を頂きました。そ

の時の感激は今なお胸に焼き付いております。昨年12月同窓会支部長会、役員会のご了解を得て永年にわたる会長職を辞任いたしました。10回卒業市郎君が選ばれて新会長に就任されました。どうぞ私同様変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。退任にあたりましては、思いがけず、支部長会、常任理事会のご好意により慰労会を開催して頂き公私ご多忙のなか全国から多数ご参加賜わり身に余る数々のお言葉を頂きました。その上に記念品まで頂戴いたしました。まことに有難いことで終生忘れることはできません。今後とも余生ある限り、皆さまと手をつないで本学の充実発展と同窓会の隆盛に微力を尽したいと思っております。終わりにのぞみ皆さまのご健勝を心からお祈りしてお礼のご挨拶いたします。



平成7年度 同窓会総会

平成7年度同窓会総会は、例年通り11月3日(文化の日)好天に恵まれ、来賓多数のご臨席を得て、母校50周年記念館で開催された。今年、母校教職員組合主催の「戦後50周年記念行事」の講演会があり、例年より受け付け開始時間を1時間早めて、記念講演を聴講された会員も多数あった。

◆総会セレモニー

今年、最初に「淡路・阪神大震災」があり、幸い会員・母校教職員、学生諸君に人命の被害はなかったが、その関係者で亡くなられた方もあり、また、この1年間に他界された会員諸氏も多く物故者のご冥福を祈り黙禱を捧げた。

その後、福元総会特別委員会委員長代理が開会の挨拶を述べ、続いてグリーククラブの指導で参加者全員が学歌を斉唱した。

続いて、萩原同窓会会長から要旨、次のような挨拶があった。

①ご来賓多数のご臨席を得て、盛大に総会が開催されたことを心よりお礼を申しあげます。
②昨年末12月17日の臨時理事会で、磯野前会長の後をうけて会長に就任したが、年初早々に淡路・阪神

大震災があり、その対応に追われ今なお確固たる同窓会の運営方針を確立しておられないのが実情であるが、本会のために幾多の功績をのこされた磯野前会長の方針を重んじつつ新しい方針を打ち出して行きたいと思っております。既に、六十数年の歴史を有する本会の老・中・若の三世代にわたる会員諸氏の融和を図りつつ本会を運営することは自分に課せられた重大な責務であると思っております。③母校の経営も厳しい環境を迎えるが、母校発展に会員諸氏の積極的なご支援、ご協力をお願いする。④総会を開催するに際してご協力をいただいた職員の方々に心よりお礼を申しあげます。

来賓ごあいさつ
桑津理事長ご挨拶の要旨
①同窓会総会が盛大に開催されたことを祝福するとともに会員諸氏の本学に対する心配りを感謝する。②本学の充実と堅実な発展を如何に俊敏に実行するかが理事長の使命であると認識し、見識と鑑識をもつてその任にあたる所存である。学内、学生、後援会、同窓会においても、その目指すところは同じであると確信している。③歴代理事長の名を汚すことなく、率先実行の範を垂れてその目的に

母校の経済学部長、大学院委員長、学長、理事長代理、代行の要職を歴任され、昭和61年7月理事長に就任され、この度、その職を退かれ、その間、本会の発展・充実に多大のご尽力をいただいた。上島武前学長
母校の経済学部長、大学院委員長、教務部長等の要職を歴任され、平成4年11月学長に就任され、この度その職を退かれた。その間、本会の発展・充実に多大のご尽力をいただいた。同窓会役員・支部長紹介
当日出席の副会長以上の本部役員常任相談役・常任顧問を含む顧問並びに全国各地から出席された支部長各位を陰下事務局長が紹介し、セレモニーを終了した。
◆懇親パーティー
高塚総会特別委員(41)の司会で開会、萩原会長、磯野前会長、桑津理事長、鈴木前理事長、北崎学長、上島前学長6氏による恒例の鏡開きに続いて田中北海道支部長(10)の乾杯の音頭で全員祝杯をあげ懇親会の幕を開けた。
今年、は前年より参加者も多く、談話室、お茶席も賑わい、午後2時の閉会予定時間も遅れ、グリーククラブの指導による追遠歌斉唱の後、鮫島ハンドボール部OB会長

本部だより

の音頭で威勢のいい二本締めを行い、午後2時30分過ぎ閉会した。
平成6年度臨時理事会開催

◆日時 平成6年12月17日(土)
 午後4時開会

◆場所 新阪急ビル12階
 レストラン・パレス

◆議案

磯野会長の辞任に伴う後任会長選任報告の件
 同窓会創設以来本部役員として、また、昭和56年6月以降は、本会長として永年に亘り本会のために活躍された磯野齊氏(3)が健康上の理由で辞意を表明され、再三常任理事会を開催し任期満了までその職に留任されるよう要請したが、ご本人の意思も固く、健康上の理由ということもあり、ご本人の意思を尊重し、会則第9条の定めるところにより、後任会長の選任に入り、平成6年12月17日の常任理事会において、萩原市郎氏(10)を後任会長に選任した。

以上の経過を報告するため、同日臨時理事会を開催した。

多くの理事から磯野氏の辞任を惜しむ意見が出されたが、健康上の理由ということで報告事項は了承され、同日付をもって萩原市郎氏(10)が新会長に就任された。

◆日時 平成6年12月17日(土)
 午後4時開会

午後2時開会
平成7年度理事会開催

◆日時 平成7年6月24日(土)
 午後4時開会

◆場所 新阪急ビル12階
 レストラン・パレス

同日午後4時から開会の平成6年度臨時理事会に先立って、当日の議案である「磯野会長の辞任に伴う後任会長選任報告の件」について、その経緯を説明するため臨時の全国支部長会を開催した。
 磯野会長の辞任を惜しむ意見が多く出されたが、健康上の理由ということと出席者全員これを了承した。

平成7年度理事会開催

◆日時 平成7年6月24日(土)
 午後4時開会

◆場所 新阪急ビル12階
 レストラン・パレス

◆議案

萩原市郎会長挨拶の要旨
 磯野会長の突然の辞任により、昨年12月17日に開催された常任理事会で会長に選任され、同日開催された理事会の了承を得て会長に就任したが、突然のことでもあり今後の同窓会運営について色々思いを巡らす矢先に「淡路・阪神大震災」があり、早急に常任理事会を

開催してその対応を協議し、ふれあいを重視すべき同窓会としては金額の多寡は別として、被災者各位に気持ちだけでもお見舞い金を贈りたいという気持ちから、被災地の支部長の迷惑は承知で一般会計の予備費から150万円を支出して、被災地の各支部長を歴訪し終えたのが5月末であった。

その後、常任理事諸氏と今後の運営について種々検討を重ねていくが、更に検討を重ねる必要を残したまま本日の理事会を迎えたのが実情である。

◆議長選出

慣例に従って、萩原会長を議長に選任し議案の審議を入った。

◆議案審議

第1号議案 平成6年度決算について
 本案件については、中村財務部長(31)が收支各項目について詳細な説明を行い、続いて植村監事(32)から、平成7年6月8日に監査を行い「その処理は正確且つ適正であった」旨の監査報告が行われた。

議長が本案件について、その賛否を問うたところ、満場一致で原案通り承認可決された。

◆第2号議案 平成7年度予算(案)について
 本案件については、福元総務部副部長が各項目について詳細に説明し、特に今年度は前年に比較して会費収入が増加する理由等を説明し、議長がその賛否について問うたところ、満場一致で原案通り承認可決された。

◆第3号議案 その他
 別段の提案事項なし。

以上で議案審議を終え、続いて、二宮入試部長、国友就職部長から、本年度の入試状況並びに就職状況が報告され、理事会を終了した。

◆懇親会

懇親会は例年通り立食パーティー形式で開催した。

開宴に先立って、ご臨席いただいたご来賓各位を代表して桑津理事長、上島学長から挨拶をいただき、続いて陰下事務局長がご来賓各位を紹介した後、北村経営学部長の音頭で乾杯、懇談に入った。

平成7年度全国支部長会開催

◆日時 平成7年6月24日(土)
 午後2時～3時45分

本部だより

◆場所 新阪急ビル12階
 レストラン・パレス

◆出席者 萩原会長以下常任理事15名並びに東京、東海、岐阜、滋賀、富山、福井、三重、奈良、大阪、大阪市役所、豊中、池田、泉南、尼崎、西宮、神戸、丹波、姫路、淡路島、岡山、備後、広島、山口、香川、愛媛、徳島、熊本、南九州の各支部長(代理を含む)

◆開会

定刻に車野組織部長の司会で開会、萩原会長から就任間もないことでもあり、淡路・阪神大震災の被災地についてはその地域の支部長を訪問し、お見舞い申しあげることに懇談する機会を得たが、他の支部については全く様子を把握し得ていないのが実情である。

しかし、会長に就任した以上は事情の許す限り支部総会に出席して、支部長の意見を聞くとともに会員諸氏とも親しく交流を温めたかと思っている。

従って、本日のところは出席された支部長各位のご意見を拝聴して、今後の同窓会運営の参考としたいのでフリートーク形式で忌たんのない意見を聞かせて欲しいとの趣旨の挨拶があり、その趣旨にそって会が進行され要旨次のような意見が出された。

平成6年度収支決算書(単位:円) 自 平成6年4月1日 至 平成7年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	21,591,914	21,591,914	総会費	5,251,596	7,000,000
会費収入	55,154,000	53,000,000	役員会費	2,774,057	2,800,000
総会収入	806,000	800,000	支部費	5,685,091	8,000,000
利息収入	1,073,330	1,200,000	事務費	482,159	1,000,000
濶名簿収入	913,600	700,000	事件費	7,426,000	7,600,000
雑収入	738,780	300,000	旅交通費	3,478,640	3,500,000
	344,000	0	濶江発行費	15,967,153	18,000,000
			名簿調査費	1,353,087	2,000,000
			学対費	3,507,623	5,200,000
			諸会助成費	971,875	2,000,000
			慶弔費	346,860	700,000
			災害見舞金	1,500,000	0
			名簿積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ振興積立金	3,500,000	3,500,000
			特別基金へ繰出	8,000,000	8,000,000
			子備費	0	4,291,914
			次期繰越金	16,377,483	0
合計	80,621,624	77,591,914	合計	80,621,624	77,591,914

平成7年度収支予算表(単位:円) 自 平成7年4月1日 至 平成8年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
前期繰越金	16,377,483		総会費	7,000,000	
会費収入	58,200,000		役員会費	3,200,000	理事会・常任理事会各部会
総会収入	800,000		支部費	8,500,000	運営費・支部総会援助
利息収入	1,000,000		事務費	1,000,000	
濶名簿収入	800,000		事件費	7,800,000	事務局人件費
	300,000		旅交通費	3,700,000	
			濶江発行費	18,000,000	
			名簿調査費	2,000,000	
			学対費	5,200,000	大学等・クラブ補助 諸会援助
			諸会助成費	2,000,000	
			慶弔費	700,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ振興積立金	3,500,000	
			特別基金へ繰出	8,000,000	
			子備費	2,877,483	
合計	77,477,483		合計	77,477,483	

①母校と同窓会の関係については、大学の経営も厳しい環境を迎える現状に鑑み、更に改善を要する点もあるのではないかと。

②各支部で総会を開催される際に母校のPRになるような行事を計画することも必要ではないかと。
 ③社会情勢の変化に対応するためには、母校内部の改革・前進が必

要であると思うが、同窓会の若返りも必要である。

④従来の支部長会幹事会は継続することが望ましいが、より一層積極的に対応されるような幹事会を設置されるように希望する。

以上の意見に対して、萩原会長が貴重な意見であり、その意見が尊重して極力その期待にこたえ得る

ような同窓会運営に努力したいと所信を表明された。

最後に、磯野前会長が、本部役員並びに支部長各位に在任中の協力に対し謝辞を述べられ閉会した。



もっと若い人も参加できるよう盛りあげよう

盛況な集いとなりました。井阪支部長の挨拶に続いて、内海大学院委員長と萩原同窓会長から祝辞を頂戴し、総会恒例の経済講演につきましては、国際証券松谷社長が「来年春頃までの見通し」を解り易く紹介されました。当日のハイライトは、Jリーグ

浦和レッズの守備の要、土田尚史選手が出席したことです。挨拶の中で、後輩である鹿島アントラーズ長谷川選手への闘志むき出し発言には、会場の諸先輩から思わず喝采がわきました。今後、長谷川選手をはじめプロスポーツ界で活躍する大経大出身

者を大いに応援していくこと、若い人達ももっと参加できるように東京支部の活動を盛り上げていくことを誓って閉会となりました。尾崎章(36)

来賓として内海大学院委員長、北村経営学部長、国友就職部長、萩原同窓会長、中村同窓会財務部長をお迎えし、参加者65名という

ますますの盛会を誓う

平成7年度の東京支部総会は10月25日、新宿野村ビルで開催されました。
東京支部
来賓として内海大学院委員長、北村経営学部長、国友就職部長、萩原同窓会長、中村同窓会財務部長をお迎えし、参加者65名という
ますますの盛会を誓う
山下隆司(32)

話題の同窓生

墨色の素朴さと水彩画の美しさが手軽に味わえると、水墨画がちょっとしたブームになっているがこの水墨画の全国的なコンテストである全日本水墨画選抜展(東海テレビ放送主催)で見事グランプリ賞を射止めた同窓生がいる。東海支部長の阿部淑子さん(13)である。「夕景」と題する10号大(1号はハガキ一枚分の大きさ)の作品は、墨一色で描かれた中国の農村風景に、真っ赤な夕陽が風景写真のように大胆に描かれている。本人は全く自信がなかったと謙遜するが、全国から寄せられた50



見事、水墨画でグランプリを受賞

0余点の応募作品の最高位に輝いた力作である。阿部さんが水墨画を始めたのは約10年も昔。子供の頃から得意だった書道新しい感覚で勉強し直そうと師事したT先生から「水墨画もやってみたら」とすすめられたそう。その後めきめき腕をあげ、昨年も「日中水墨画代表作家展」に日本代表として選ばれている。写真も経大時代に写真部を創設したという年季の入れ方で、現在毎日文化センターへ在籍する一方、グループを結成して各地でフォト展を開いている。得意は風景写真で、水墨画の受賞作「夕景」と同様、光の美しさを幻想的にとらえた芸術作品が多い。彼女はやりたいことは何でもやるという行動派で、支部活動でも「若返り」をスローガンに、幹事会、基金集めと骨身を惜しまない。

稲沢市西町3-17-118-1203の自宅は、病院勤務の医者、夫の長雄さんとの気楽な二人暮らし。暇な時は後輩同窓生が経営するバーへ足を運ぶこともあるという。我が道を行く彼女には「極楽トンボですから」と相好をくずされる愛妻家ぶりである。前東海支部長 加藤正秋(10)記



書道、絵画など趣味の世界でも、この気概が手先の器用さと相まって、どこでも頭角を現す感じである。

支部だより



流公園に立つて

北海道支部

一昨年の支部だよりに寄稿した地震災害に遭った奥尻島を、本年5月末に訪ねてきました。災害復旧途上で防潮堤、防波堤工事等が随所で行われ、さすがの観光の島も観光客の姿がなく、いささか淋しい感じでした。流政之先生の作品のある流公園に立ち寄ってみました。西海岸の高台で大変展望のよい所です。地震によって作品は歪んでおりましたが、雄々しく立ち並んでおりました。その記念に写真を撮ってきました。まさに先生の作品と共に北に向かって立ってきました。一刻も早く復旧して、大勢の観光客が往来し、北の孤島に建つ先



流先生の作品とともに北に向かって立つ

いつの日か常設の支部事務所を!

東京支部

東京支部の幹事会はいつもの「漁火」を利用してあります。当支部は本部に次ぐ多くの卒業生が在任しておりますが、仕事の関係で転勤等移動が激しく総会案内状が数多く返送されてきます。卒業後すぐ上京された方、知人の連絡等支部の連絡事務所がわりに利用してください。東京駅の近くですので仕事の後のくつろぎ、上京の際の打ち合わせ等に便利です。いつか常設の支部事務所を構えたいと思



今年も「漁火」と和気あいあいと幹事会

全支部員へ年賀状

東海支部

知性と行動力溢れる女性支部長の誕生でスポットライトを浴びている東海支部―その平成6年度支部総会は11月18日午後6時、名古屋国際ホテルで開催。新支部長は清楚な和服姿で凛々しく登場。発表間もないシンボルマークとロゴタイプも会場に色を添えた。

総会には母校理事・教授の森川滋先生、同窓会水納敏也副会長、神田博常任理事が出席。母校の現況を報告。祝辞に先だつて恒例の同窓生講演は前支部長の加藤正秋氏（10）が行った。テーマは「景気回復は本物か」。元ジャーナリストで現短大講師だけあって話題は豊富、好評博す。

参加者へのお土産は支部長提案による母校名入りバスタオル。二次会は梅垣高夫氏（39）の店、有志が集い遅くまでカラオケ三昧。和気あいあい。

本年元旦には支部長から厚い思いの年賀状が全支部員へ送られました。また好評。返信30余通あり。

明田安生（25）



女性支部長を中心に集う有志たち

母校の一層の発展を

富山支部

富山支部は毎年7月に総会を開催しております。本年も20名の参加を得て、会員の交流と親睦を深めました。萩原新会長と陰下氏の本部役員と大学から森川・二宮両先生のご出席のもと、学園の現状と将来についての報告をいただきました。18歳人口の減少傾向という困難のなかで、既存の大学の独自性を発揮しつつ、サバイバルの時代に、母校のより一層の発展を願う声が出ておりました。支部全

体としても、さらに交流を深め、各分野で頑張りたいと思います。支部長 重松 尚（23）



交流をさらに深め、各分野でガンバル!

中身の濃い総会で 友好深まる

武内 稔（12）

岐阜支部

平成7年度の支部総会を8月5日酷暑の中、新岐阜駅前前の「岐阜キャッスルホテル」において開催しました。母校から香積理事、本部から萩原会長、陰下事務局長、東海阿部支部長、加藤顧問らをお



中身の濃い同窓会に全員満足

懐旧は尽きぬ

福井支部

当支部は、平成6年10月19日福井市内のユアーズホテルにおいて上島学長を迎えて総会を開催。久しぶりの会場で懐旧は尽きなかった。事務局長から近況をうかがって、小生のような年輩者は視界から去った学園の面影を心地よくよ

迎えました。

支部会員10名参加と少し寂しい総会にはなりましたが、内容は大変濃いものになりました。母校の現状報告・同窓会のあり方を熱っぽく語っていただき、会員各自の自己紹介と現状の報告と、少人数でしかできない総会を行うことができました。今後とも支部役員で岐阜県流の活動も考えております。来年はもっと多数の参加を。

支部長 長崎和夫（29）

訃報・朗報悲喜交々

三重支部

当三重支部は今年悲喜交々といつたところか。2月に支部長の木戸董氏（6）が、また3月には支部発足以来40数年にわたり支部発展の基礎を築かれた前支部長水上敏夫氏（3）が相次いで逝去された。両氏の永年にわたるご尽力に対し心から感謝申しあげるとともに衷心よりご冥福をお祈り申しあげます。

次に7月には関田庄司氏（8）が日展審査員に就任されるという朗報である。すでにご案内のとおり氏は昭和42年の初入選以来、入

選実に15回、平成2年には2度目の特選を受賞され、このたび栄えある審査員に任命されたのである。当支部としてもこのような同窓の榮譽を心から祝福申しあげるとともに、今後のご健祥、ご精進を祈念するものです。

支部長 中尾大輔（5）

やむに強硬なる組織に

和歌山支部

同窓生の皆さん、元気で日々お過ごしのことと思います。さて、和歌山支部は昨年ターミナルホテルにて9月3日総会を開きましたので今年度はミニ集会の年でありました。9月29日、同窓生の店（居酒屋「純屋」）で約60名ぐらいの人数を予定して開催しました。

さて、和歌山支部長坂田文治様、今年2月頃より軽い老人性痴呆症と持病の肝臓も悪くしまして、自宅療養中でありました。しかし、役員15名会合をもち、来年総会までは現役員体制で行くことにしました。坂田支部長、前松本支部長の作られた立派な同窓会組織を、より強硬なる会に引き続き作りあげていきたいと思っております。同窓生の皆さんもよろしくお祈りします。

絵は生命力。ひと目見た時の感動が命。



「子供の頃は絵が大嫌いだっ」と語るのは関田庄司氏（8）。本年度日展の洋画部門の審査員に選任されました。油絵を始めたのは40歳の頃。タッチや色づかいはすべて独学で習得されたそうです。

次回は多数の参加を期待

大阪市役所支部

当支部の総会は年1回開催している。平成6年度は、平成6年11月11日に大阪市桜宮会馆にて、陰下事務局長、高城教授の出席のもとに開催した。

幹事連の懸命の勧誘にもかかわらず、例年約40名のところ、25名のみでの参加であった。当支部は大阪市の各部署、事業所、区役所等の同窓生で結成された職域支部であり、仕事上の情報交換等に利便がはかれると思うのだが、一時的なものであると楽観し、次回には幹事一同さらに工夫し、努力す47

話題の同窓生

和歌山支部は南北に長い県でありまして、和歌山市地区会、那賀地区会、有田地区会として年に一度地区内で会合をしています。さらに、新宮地区（紀南）、橋本地区（紀北）も組織作りをして行きたいと思っています。その地区の皆さま方の協力をよろしくお願い致します。和歌山支部へいろいろ連絡、意見がございましたら、事務局長（支部長代理）宇藤博文までお願いします。

宇藤博文（28）

るつもりである。会員諸氏の多くの出席を望むものである。

支部長 角谷泰秀(29)



来年はもっとも多数の参加を!

より多くの人々の集いを

豊中支部

阪神大震災による建物被害が大阪府下で最も大きかった豊中市では、会員のほとんどが家屋の全半壊から器物破損と物的被害を受けました。精神的後遺症に悩まされながらも、会員の方々は公的私的の補助を基に、苦心を重ね復旧につくされているのが現状です。これに関連して7月中旬に開催した支部役員会でも、本部からの見舞金の配分方法を検討しました

が、会員数550余名と多数のため結論が出ず平成7年10月21日の総会に諮り決定することになりました。そうしたことから会員相互の親密度を深める為懸案の『支部会報』を発行し、全会員に配布しました。その目指すところは、同窓会は格好の異種業交流の場で、種々の情報交換。「友達の輪」を広げるには諸行事に多数の会員参加を期待という次第です。

林博(12)

和やかなムードで友情の輪を

泉南支部

本年度泉南支部総会は、6月17日割烹『この木』にて、本部より萩原会長、波根部長、大学より中尾教授、中村理事をお迎えし開催いたしました。

ご来賓の萩原新会長より同窓会本部の運営や、抱負などについてご挨拶をいただきました。続いてご来賓の先生方から学園の近況、同窓会本部の活動などについてお話をいただきました。

地元では、先般無事開港しました関西国際空港に各国からの飛行機が次々と舞いおり、また海外へと青空の中に飛び立っていくなど、世界の人々が行き来し始めました。

開港以来、予想を大きく上回る人出でにぎわうなど、今や大阪の新しい名所となった感じがいたします。今回第一回卒の、数内先輩ら始め若手会員の参加で21名が集い終始和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしました。

支部長 小松安夫(23)



大阪の newName となった泉南、全員がいいムードで

ゴルフと総会で結束

丹有支部

阪神方面への交通アクセスが進み、朝夕はちよつとしたラッシュアワーも見られます。

今、当地域からは4つの高校を中心として、母校に1000人近い

時期に来ていると思う。『神がかり経済学』より『土がかり経済学』へ。我々の時代に旋風を起こしたゴットル経済学も、時代と共に過去のものとなりつつあることに、



一人ひとりの胸に残る和やかなひとときを

一沫のノスタルジアを感じるのには、決して私一人ではありません。最後に支部の概要について(一) 結成日、昭和23年1月18日。(二) 会員約800名(平成7年現在) 支部長 永川仁一(6)

「寅さん津山へきんちやい会」ロケを実現!

岡山支部

人気映画「寅さんの男はつらいよ」の最終ロケが今秋津山市に来る! 平成5年、吾ら、大阪経大津山会代表幹事である竹本巧氏(37)が「寅さん津山へきんちやい会」を発足。団体代表として市民ら1万人の署名を集め、松竹を迎えロケ実現を熱心に要望した。以来、その活動を展開。先般ロケ

決定になった。予算4000万円も決定した。

「県北ロケ実行委員会」を中心として観光PRポスター受け入れ活動等10月下旬から約2週間行われる「最終ロケ」に向けて、大車輪である。県北、津山地区の発展のため大経大同窓会員の努力、活動により、地区のPRはもろろんのこと、大経大津山会の親睦、団結を図り、大成功に終わることを心から祈念する。12月公開の映画をぜひ鑑賞したい。

支部長 村上二夫(12)

岡山支部津山会

岡山津山支部

今年で5回目を迎えた我が岡山県支部津山会。去る9月1日、大阪から同窓会萩原会長、陰下同窓



今年初参加4名、また輪が広がる

会事務局長、大学からは香積事務局長(津山出身)をお迎えし、盛大に開催された。今年初参加4名を含め、20余名の参加となり、少しずつだが輪も広がり、経大津山会ここにあり!と言われるようにいろいろ趣向を

お店 拝見



味の蔵「純屋」

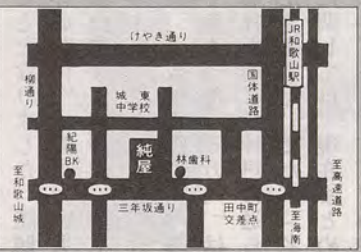
歴史が香る酒蔵で 旬の味を

和歌山支部の自慢のお店、味の蔵「純屋」をご紹介します。和歌山ならではの海の幸を心ゆくまで味わえるお店です。建物は祝砲の酒蔵を改造。太い柱と梁がむきだした店内には、伝統を伝える心とその歴史が香ります。経営者は小村文宏氏(24)、建物の所有者は祝砲社長林嘉寿氏(33)。和歌山にお越しの折りはぜひ足をお運びください。

純屋コース料理

- おまかせ5種 ￥2500 (付出し・造り・串物・揚物・飲茶)
- おまかせ7種 ￥3500 (付出し・造り・串物・揚物・焼物・飲茶・寿司)
- おまかせ10種 ￥5000
- 懐石料理 ￥6000～
- 特別コース料理 ￥3500～ (ご予算・料理内容・ご相談の上決定します)

*酒類のお飲み物につきましては、別料金とさせていただきます。





南九州のシンクタンクとなり交流を深めよう

この度、「大経大地方公開講座」を行いました。開始時刻には指宿市中央公民館講堂は満員となり、伊状支部長（県立短大商経科長）以下スタッフはホッと胸を撫でおろしました。講師の森川教授にも熱弁を振るっていただき、市民との意見交換も活発に行われました。この試みは、マスコミの記事となり、これが聴講した市民の意識改革となれば、その効用は測り知れないものがあります。シンクタンクとしての大経大の教授陣と地方住民との交流を今後ますます深め、これが双方の活性化につながっていくことを期待いたします。

前原五男（38）

大経大の知恵、南九州から発信

南九州支部

回を重ねて53回

広島支部

回を重ねて第53回目の支部総会が7月22日、瀬戸内観光ホテルで開催されました。ご来賓に内海教授、萩原同窓会新会長を始め5名のご臨席を賜わり、会員の参加者は31名でした。

広島支部では会員名簿を支部総会の都度改訂して配布することにしてはいますが、その改訂の資料は総会案内の「出欠」の返信により住所、勤務先等を確認しています。しかし、発信に対する返信の比が6割程度です。名簿の精度向上のためにも「出欠」の返信だけはぜひ出していただきますよう、支部会員の皆さまにお願いいたします。

友谷義明（36）

凝らして頑張りたいと思っっている。来年は手始めに、地元で活躍している（アマチュアとして）ハワイアンバンドの粉川さん、津山国際ホテル勤務の日野田さんを中心にピアガーデンを貸切って開催予定。ご期待を！

竹本 巧（37）



年輪を重ねさらに深まる会員の友情

名簿の修正に御協力を

香川支部

去る7月22日午後6時から「ホテル川六」にて香川支部総会を開催しました。当日は、大学後援会主催の父母懇談会も同ホテルで開催されましたので、総会には、上島学長を始め大学側6名、同窓会

震災復興状況

● 尼崎支部

1月17日早朝、兵庫県南部を襲った直下型地震は、阪神間を中心に縦断。その揺れは広範囲にわたって被害を及ぼし、私たちの生活に重大な影響を与え、ともに5000人を超える尊い命を奪いました。

尼崎市では27人の方が亡くなり、今現存でも6000人余りの方が避難生活を余儀なくされています。さらに、道路がいたる所で地割れ、隆起陥没がおき、ガス臭く、あちこちでも建物が倒壊。橋梁が落ち多くの箇所で行止めになりました。また、新幹線のけたも落下。尼崎市内の線路のけたが一番ひどく、名神高速道路のけたも外れ通行不能となりました。

そして、そのつめ跡は今なお大きく私たちにのしかかっています。尼崎市内には、大阪経大卒業生700余人が住んでおります。多数の方が、全半壊の被害を受けておられ、一日も早い復興を願っています。

最後になりましたが、大学同窓会より尼崎支部に対し多額のお見舞いをいただきました。大切に使用させていただきます。この紙面を

本部2名、会員33名の方々が出席され、2、3次会も盛会裡に終了しました。御出席いただいた皆さま方に厚くお礼申しあげます。また、平成5年から発行しております会員名簿も毎年修正して3冊目になりました。住所、勤務先等が変更になったり、総会の案内状が届かない方は、事務局まで御一報くださいますようお願いいたします。

支部長 岡野 敦（31）



2次回、3次回と盛会裡に幕を閉じる

愛媛支部名簿作成にご協力を

愛媛支部

平成7年7月2日、リーガロイヤルホテル新居浜にて開催され

お借りし厚くお礼申しあげます。

支部長 小谷 芳男（24）



私たちが襲った自然の猛威はあまりにも大き過ぎた

● 神戸支部

甦えれわが街神戸

未曾有の被害をもたらした阪神大震災の傷あとにまだ癒えぬ神戸ですが、日々復興の槌音高く、歳月は要しますが、必ずや以前にも増して魅力的な街並みを甦えらせしてくれることを、私たち神戸支部会員は信じて疑いません。

とはいえ、やはり個人個人にとっては、大なり小なりの被害は蒙っており、深刻な問題を抱えてい

した愛媛支部総会も、はや12回を数えることとなりました。議題は「名簿作成の件」「阪神大震災の件」等沢山ありましたが、基本的にはフリートークという形で行われました。「阪神大震災」の義援金として集まった「5万円」は、毎日新聞社を通じて神戸に送らせていただきました。また、「名簿作成」に関しては、現在まどめの段階に入っております。すみやかにご返送ください。名簿の完成は、来年の役員選考後に予定しております。

宮崎 望（37）



それぞれの意見を気楽に交換しあって

る人も少なくはないというのが、実情ではないかと思っています。今年の支部総会には、何とか連絡をとり合って一人でも多くの会員の出席を得て、お互いに励まし合いながらゆつくりと語りたいと願っております。

支部長 桐月 正邦（22）



必ずこの街にあの輝きを

●豊中支部
復旧への道程は
まだまだ続く

大震災による被害が大阪府で最も大きかった豊中市は、95年6月末現在、死者6人、重傷者101人、軽傷者829人、全・半壊家屋4852棟と発表されています（『広報とよなか』8月号）。とくにひどかったのは、北部では刀根山地域、南部では庄内地域で、現在、道路の亀裂などは補修されたものの、家屋の撤去された更地が思いがけない所あちこちに散在し、街の姿を寒々しく変貌させています。服部緑地をはじめ、13カ所の仮説住宅が940戸、その他一時非難用応急住宅で暮らす家族6月23日現在で1595世帯もありません。

外観からは一応平穏に見えても、大なり小なり屋内は損傷をうけており、補修工事の槌・モーター音は絶えず街のそこそこから響いています。屋根職人の私底でいまだにビニールシートの屋根が多数残っていますし、復旧への道程はまだまだこれからも続きます。

お見舞金をお届けくださいましてご厚情に感謝しております。7月15日役員会を開き、全壊・半壊の会員もかなりおられると報告があり、種々協議しました。しかし、本部の趣旨を550名の会員に、被害状況に合った公平な分配をどうすべきなのか、まだ結論が見出せないのが実情です。

笠井二郎(26)、前田悦子(13)

●淡路島支部
淡路島は元気です!!

不気味な地鳴りが響き渡り、突き上げるような激しい揺れが続く。家がきしみ、瓦が地面に落ちる、しばらくのあいだ茫然としていたが、ニュースは震源地が我が家からわずか数キロとはなれていなかったことをしきりに伝えていた。

1月末に開催予定であった支部総会は、順延を決定し、支部会員は懸命の復興作業に取りかかった。あの震災から7カ月余り：去る8月26日、大学より香積事務局長、同窓会本部より萩原会長・陰下事務局長をお迎えし、元氣いっぱい第5回淡路島支部総会を開催することができた。



心温まる数々のお見舞いをありがとう

この紙面をお借りして、同窓会本部をはじめ関係各位の心温まる数々のお見舞いに対し、衷心より感謝と御礼を申しあげます。

支部長 宝川雅嗣(23)

●西宮支部
阪神・淡路大震災の記録

この度の大地震で廣田神社は本・拝殿が銅板葺きであったため倒壊を免れたが、瓦葺きの屋根の重い建物は全部倒壊しました。すなわち、明治41年新築の木造重層入母屋造榎松材瓦屋根の儀式殿、昭和15年新築の檜材瓦屋根の氏子参集所、明治41年新築の木造切妻榎材瓦

屋根の手水舎、江戸末期築といわれる境外撰社南宮神社本殿・拝殿・社務所も全壊してしまった。馬場先の鳥居・社号標・燈籠も完全に倒壊してしまいました。

大経大同窓会西宮支部の会員の安否をできるだけ早く知りたくても、電話はかからず、交通はいたる所で麻痺し、全く身動きがとれない状態でした。

電話が通じるようになって金子赫(24)・中島茂(25)両副支部長、また進木伸次郎西宮市長室長(33)と互いに無事を喜びあい、前田壽弘理事(7)の地域は被害が最も大きく、心配され気になりながらも前田先輩の宅を訪ねたのは1月下旬でした。いち早く娘さんの嫁ぎ先の千葉の別荘に避難されておりひと安心した次第であります。

しかしながら一方、近くの氏子地域も死者が多数で当社社責任役員1名を含む3名の氏子総代が帰らぬ人となったことは痛恨の極みであり、廣田神社の氏子地域の内でも最も古い歴史をもつ広田区・中区・越水区の3区の被害状況は次のとおりです。

広田区 全壊1,305戸 半壊

833戸 計2,138戸 死者47名
中区 全壊 436戸 半壊 63戸 計 499戸 死者60名
越水区 全壊 795戸 半壊 254戸 計1,049戸 死者35名

地震発生当日は、当神社の被害状況の把握と二次災害の発生危険箇所を職員全員で応急工事。そして見舞いにかけていただいた方々の応接に費やし、翌1月18日になって境外撰社(10社)の被害状況確認を兼ねて氏子内を回ったが、あまりの惨状に唯々恐愕するばかりでした。当神社から500mの位置にある西宮市立体育館が避難所となり、約1,500名の避難者がひしめき合っ余震の続く不安な夜を過ごし、壁1枚隔てた部屋には約800の遺体が安置されている有様でした。

当神社の例祭は3月16日であるため地震発生直後2カ月先の例祭は斎行すべきかどうかの決断を迫られたが、幸い本・拝殿の修復は約1カ月と予想されたので、氏子の方々の震災復興の励みにもなるうかと神社側の判断で例祭斎行を決意しました。

例年は参列者約150名のところ震災直後で心配されたが約70名の参列者があり、ただ氏子総代世

話人は33名中5名でした。地震発生から当神社の御神水は貴重な飲料水となり、連日長蛇の列が夜まで続いて地域の人々の命の水となったことは、神域内井戸の尊さを改めて認識した次第であります。

末筆になり恐縮ではありますが、同窓会会長様には遠路御多忙のところわざわざ御見舞くださる額の御見舞金を賜り衷心より御礼申しあげます。

支部役員と協議し有意義に使わせていただくことにいたしました。今回の震災は住み良い街を自他ともに誇った阪神間ベッドタウンに突然襲った試練であろうかと思えます。

支部長 中山隆(15)

伝言板

神戸支部会員の皆さまへ
この度の阪神大震災により被災されました会員の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

神戸支部の総会は毎年行っておりますが、名簿の住所相違等により連絡がとれず、支部総会に御出席いただけない会員もたくさんおられます。この度の震災により連絡先が変わられた方もおられると思いますので、移転された方ご存じの方おられましたら、なにとぞ大学同窓会本部か左記迄ご連絡ください。

〒654
神戸市須磨区外浜町2-9-19
(株)カンキ内 田中 和夫(35)
電話 078-1733-2225

平成7年中に開催された支部総会一覧

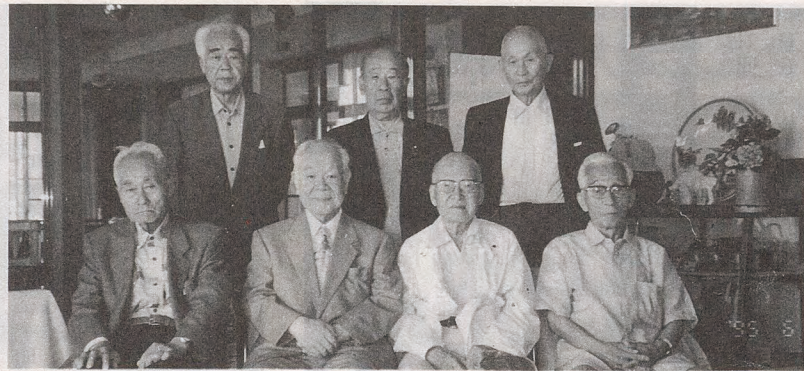
開催月日	支部名	開催場所	開催月日	支部名	開催場所
6月17日(土)	泉南支部	この木	10月21日(土)	南九州支部	さつなん荘
7月2日(日)	愛媛支部	リーガロイヤルホテル新居浜	10月25日(水)	東京支部	野村クラブ
7月16日(日)	富山支部	ホテルニューオータニ高岡	10月27日(金)	姫路支部	北京閣
7月22日(土)	広島支部	瀬戸内観光ホテル	11月10日(金)	大阪市役所支部	桜ノ宮会馆
7月22日(土)	香川支部	ホテル川六	11月11日(土)	熊本支部	ニュー浜磯
8月5日(土)	岐阜支部	岐阜キャスルホテル	11月11日(土)	徳島支部	徳島ワシントンホテル
8月26日(土)	淡路島支部	松葉寿司	11月14日(火)	丹有支部	三田セントラルホテル
9月1日(金)	岡山支部津山会	桐生	11月17日(金)	神戸支部	神戸ワシントンホテル
9月8日(金)	高知支部	三翠園ホテル	11月19日(日)	三重支部	和田金
10月20日(金)	北海道支部	札幌第一ホテル	11月24日(金)	東海支部	名古屋国際ホテル
10月21日(土)	福井支部	サンピア敦賀	12月17日(日)	山口支部	ホテル石田屋
10月21日(土)	豊中支部	千里阪急ホテル	12月22日(金)	京都支部	京都ホテル

同窓会支部役員

支部名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	田中喜三郎	10		
東京	井阪 健一	19		
東海	阿部 淑子	13		
岐阜	長崎 和夫	29		
滋賀	正村 公一	27		
京都	深田 稔	29		
富山	重松 尚	23		
石川	柚木 繁	21		
福井	内田 甫	6		
三重	中尾 大輔	5		
和歌山	坂田 文治	11		
奈良	白井 武夫	20		
大阪市	太田 一澄	17		
大阪市役所	角谷 泰秀	29		
北摂	石川 裕	28		
豊中	黒田 稔	15		
池田	渡辺 泰敏	21		
泉南	小松 安夫	23		
尼崎	小谷 芳男	24		
西宮	中山 隆	15		
神戸	桐月 正邦	22		
丹有	梶村 文弥	8		
東播磨	永井 宏	19		
姫路	永川 仁一	6		
淡路島	宝川 雅嗣	23		
岡山	村上 一夫	12		
備後	小池 勝章	32		
広島島	佐々木一義	9		
山口	江村 育己	29		
鳥取	西山 林一	35		
島根	渡部弘一郎	9		
香川	岡野 敦	31		
愛媛	小野 茂樹	26		
徳島	田中 良昌	26		
高知	横田 憲介	7		
北九州	嶋原 正孝	24		
熊本	浜 忍	35		
南九州	伊伏 彰	23		

OB
NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET W
B NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET W
OR OB NET WORK OB NET WORK OB
NET WORK OB NET WORK OB NET WO
RK OB NET WORK OB NET WORK OB N
ET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK
OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET
WG NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB
NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK
OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET
WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB
OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET
WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK
OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET
WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB
NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET
WORK OB NET WORK OB NET WORK OB NET WORK OB

ネットワー



互いの健康を喜び歓談も夜半まで及びました

来年も必ず集まろう！

昭寿会(第4期生会)

平成7年度昭寿会は去る7月26日赤穂線日生駅「岡山県和気郡日生町」にて集合。武田先生を先頭に駅前港より島巡り船にて多島美を賞でつつ太多府島に到着。爪先登りの道を2分、宿舎に到着。お互いの健康を祝しながら歓談夜半に及ぶ。本会員はすでに長寿平均年齢を越えた。参加者も年々減少のありさま。峠を脱いだ吾々は社会に迷惑をかけないようにと誓いながら「来年も必ず集まろう」の合言葉でお別れ！

参加者 前列右より櫻井、武田先生、宮平、山本 後列右より 周藤、三木、内田

周藤秀夫(4)

一期一会懇友会

第5期生会

我々の会は一期一会をモットーに毎回会を持ってきました。今年も5月25日大阪の南で開きました。17名も集まり盛大にまた時のたつのを忘れて和気あいあい

のうちに会を終わりました。今回は雨宮、中野両氏の初参加を得て会に花をそえていただきました。我々も余す年も毎年少なくなります。一期一会と申します。

阪神の大震災で延びていた今年の九友会は、日本の丁度真ん中に位置する京の文化と東国の文化の接点の浜松にて10月6日7日第21回の集いを持つ。豪華な浜名湖ロイヤルホテルで湖畔の灯を眺め、会場に掛けられた見事な九友会の看板の下で、古稀を過ぎた16名の同期の面々が現在の生活をしてこれか

九友会浜松の集い

ていた。総員16名が勢ぞろい。関東の川村、滝中、大分の藤原、三重の橋本、山口の串田、藤本、関西は赤松、琴野、伊藤、浅野、沢田、佐藤、大谷、柴田秀、柴田



古都、秋空の下で青春時代が甦る

らの夢を各自で語り合う。円高で苦しんだ経営者の話、運動、読書これからの夢と理想を追う話など食べ飲み歌い夜のふけるのを忘れて有意義な一夜を過ごす。明けて7日好天気恵まれバスにて鶯嬢の説明で湖畔を廻りかんざん寺港より遊覧船で奥浜名湖めぐり、美しい湖岸の風景を眺め、デッキに

九友会(第9期生会)

真、長尾、の諸君。同窓会は陰下事務局長が出席してくださり、盛會に終わった。
会の後、あの阪神大震災、何人かの友の家は倒壊したし大橋君の三宮の書店も壊滅的な打撃を受けた。しかし、皆この年齢なのに、敢然と再建に頑張っている。声援を送りたい。
無事で「生かされていること」の幸せをしみじみと思う。生ある内に一度でも多く会い、共に過ごした、あの青春を語りあいたい、と名簿を繰りながらいつも思う。益々のご健勝を切に祈る。お元気で……。

長尾 晃(8)

TOPICS

ベンチの設置



学生が授業の合間に一時、休憩したり、友人と談笑するために、東学舎及び西学舎敷地内に分散してベンチを設置しました。今回はベンチ46台とスモーキングボックス33台及びダストボックス15台をそれぞれ設置しました。

大阪経済大学九友会



大いに語り大いに歌い一夜を過ごす

て爽やかな秋風に吹かれて心ゆくまで語り合い、自然の恵みを味わう。昼食は浜松が天下に誇るうなぎで腹鼓を打ち、再会を約して駅にて解散して素晴らしい二日間を終えた。次会は琵琶湖長浜にて5月。西村義男君にお世話になり集まることを決定。多勢の皆様さまご参加をお待ち申し上げます。
南部俊一(19)

昭六会小旅行記



一期一会をモットーに今年も盛大な会となりました

昭六会(第6期生会)

できるだけ多数の御参会をお待ちします。
(参加者名) 雨宮、菊地、岸本、倉垣、重本、芝田、村上(中浦)、中尾、中野、長岡、福嶋、堀、阪本(堀江)、柳内、笹、吉年、和田
長岡辰生(5)

10月12日、午後1時。爽やかな秋晴れのJR熊取駅に、次々に老



科学と自然の見事な融合にであえた小旅行でした

友が降り立った。総勢15名。学窓を後に55年、人生を乗り越えた自信と、旧友にまみえん喜びに輝いて見える。彼らの多くは、喜寿を目前の人たちである。
コースはまず、「京大原子炉実験所」見学に始まる。原子炉と聞けば、身近なようでもあり、遠い存在のようでもあり、馴染み難い代物に過ぎなかった。それが今、目の前にある。しかも、緑に囲まれ、広大な自然の中で、物静かに存在しているのだ。丁寧な解説を耳にすると、研究と安全性の大切さを今さらに思い知らされ、改めてその重要性を認識させられた。

それより一行は一路、犬鳴山天然温泉へ。「不動口館」では、同窓会新会長と事務局長が待つておられた。席上、丁寧なお祝辞をいただき、賑やかに懐旧談の飛びかう中、瞬く間に夜はふける。辺りは溪流を下に自然に恵まれ、落ち着いた気分浸れ、近郊にしては巷塵を避けているのが嬉しい。明朝は関西新空港へ。テレビではお馴染みでも、全貌を目前にする、さすがに素晴らしい。展望台からは、巨大な胸体を露わに、次々と大空に舞い上がる、国際機を仰いで、正に少年の日に還る思いがす

る。さらに、敷地の広大さ、洗練された科学の粋に、思わず息を呑む。空港での昼食を最後に解散。あつという間の、ささやかながらの楽しい小旅行であった。
記憶に留めておきたいのは、私たちが目にした、科学と自然の見事な融合である。それは、現代科学の生きた姿であろう。一方、私たちが老いを越えて、旧交を温め、活力ある人生を望む時、現代社会の息吹を、肌感じないではおれないのだ。正に、充実の一日であった。
伊藤音七郎(6)

7期生会同期会総会開催予定のお知らせ

第7期生会

7期生の同期会総会を開催したいと思ひ、世話人で準備を進めています。来春に開催を予定していますが、詳しいこと(日時、場所等)は詳細決定次第お知らせします。

一人でも多くの皆さんに参加いただきたいと思いますので、前もってお知らせします。
世話人一同

京都三名所巡りバスツアー

第8期生会

第21回 8期生同窓会(於…京都H6・10・17(18))
10月17日午後1時JR京都駅集合。3時間の三名所巡りバスツアー。秋空に燦然と輝く金閣寺、室

町中期の代表的庭園を持つ銀閣寺、最後に「清水の舞台から…」の清水寺。午後5時過ぎに宿舎の緑風荘へ。すでに山口の串田君、本当に久しぶりの赤松初司君が到着し



麻雀、カラオケ、ゴルフ、観光…心ゆくまで楽しんで

今年も大いに友好深まる

第16・18同期会

一日も早い復興を、心からお祈り申しあげます。年一回の会合は、学生時代の若さを思い出させてくれます。来年の再会を楽しみにしております。

西村(林) 豊子(13)

ます。なお、鈴木(藤橋)さんは、今も入院しております。

合同同期会は、平成7年5月14日15日三重県鳥羽市で開催された。昨年の岡山に引き続き、2回目の一泊旅行である。参加者は左記19名(幹事 西丸・鮫島) 荒木・陰下・加藤・川崎・鮫島・酒井・陶山・玉田・中里・中谷・中山・西丸・平石・福田・細井・松尾・松尾夫人・松原・守屋 夜の宴会は、昨年参加のメンバーが多いせいもあり、大いに盛り上がった。2次会は、麻雀組・カラオケ組にわかれ、深夜まで楽しんで。翌日は、生憎の雨ながら、ゴルフ組と観光組それぞれが友好を深めた。

第16・18同期会は、毎年5月の第2日曜日月曜を定例開催日として申し合わせており、来年は奈良で行うことになっている。一人でも多くの方の参加を願っている。

鮫島 圭(18)

あの震災の直後に再会

第11期生会



会は震災の話題でもちぎりでした

平成6年度の第11期生会は、1月20日(金)、「レストラン・パレス」において、上島学長・萩原同窓会会長をお招きして開催しました。

戦後50年・阪神大震災

ひとみ会(第13期生会)

1995年度のひとみ会は6月6日38名の出席のもとに京都の都ホテルで開催されました。それは阪神大震災で多くの苦難を受けら

れた方々を少しでも励ますことができればと願った集いでありました。その願いを汲んで悪い交通事情も厭わず遠方からも多数御出席

特筆すべきは、今年1月学校法人の理事長に桑津さんが、また昨年から専務理事に岩谷さんが母校のリストラと発展のため頑張っております。何卒、皆さまのご協力とご支援をお願いします。 出席者 井上(豊)・伊東・岩谷・酒井・坂田・重里・浅田・土屋・林(光)・北條・村田・桑津・筒井

筒井英夫(11)



被災された方々の話に感慨もひとしおでした

くださいました。被災された方々が当時の危機的状況、社会不穏、

東京だより



被災地の一日も早い復興を願っています

今も癒えぬ心の衝撃をつぶさに語られ、その明るく元気に振る舞ってくださる姿に私たちは万感胸に迫る思いでした。全員一人残らずマイクでお見舞いの言葉、御自分のお仕事や現況を美しい話術で語ってください、時の経つのを忘れませんでした。 藤澤(高原) みほ子(13)

東京ひとみ会(第13期生会)

7月16日、渋谷の日本料理店「蕨(いらか)」で「東京ひとみ会」を開催いたしました。8名が出席、元気で顔をあわせることができました。 先日、京都で開かれました「ひとみ会」での、「震災募金」の収支報告もさせていただきます。 上京されていた土井さんから、その後の神戸のようすをうかがい、被災地では、まだ、いろいろのご苦労がおりと拝察いたしました。

遠方よりも友来たる、楽しい夕べ

澱江27期会

澱江27期会の私たちは35年の経済社会でグローバルに活路を開いています。恒例として、毎年10月第2金曜日、大阪東急ホテル内に開催いたします。近畿一円に大半の方が在住していると聞いていますが、遠く岡山県より、平垣喜久男氏出席の上、嬉しい一夕

を過ごすことができました。世話は次の通りです。 代表幹事 東野修三 幹事 松田英志 岸野光雄 岩崎正弘 多田活二 名取信也 土屋徳治 永田健治 夏原拓治 事務局 角本喜八郎 神代憲治(27)

「40経友会」誕生

第31期生会



卒業して30年目、人生に余裕のもてる歳になりたい

を思いだし仲間と集うこととなりました。当日は30年ぶりに会う人もいてお互いに昔の思い出を語りあいました。同時に無事でゴルフができる健康を喜び合いました。今年もできるだけ同期を集い年に何回が開催することと生会の名称を「40経友会」とし、知り合いに積極的に声を掛けていくことにします。

なお、当日出席者は下記のとおりでした。

国本泰男、世羅信義、海堀修嗣、石井敏生、松本 健、中橋源蔵、森山集策、田水延一、古川民生、橋本栄志

当日都合で欠席者 川長聡男、亀井祥一、以上

快晴、微風の東条湖CCにて9月11日に学生時代の仲間と楽しい一日を過ごしました。 母校を卒業して30年目となる今年それぞれ50歳を越え、人生に余裕を持てる歳となり若き学生時代

また、次回予定は12月6日、場所は海南高原CCを予定しています。

31期生の皆さまの多数の参加を
お待ちしております。
橋元栄志(31)

28年ぶりの再会に喜ぶ

第33期一組同窓会



我が「愛」組はこれから2年に1度集います

メージとはすっかり変わった方も何人かおられました。最初は他人行儀でしたが、自己紹介を中心になごやかな歓談のうちに予定時間を軽くオーバーして会食が終了しました。

席上、古谷君がI組を「愛」組と命名し全員に承認されました。鈴木君の意見で同窓会を2年に一度と決定。最後に写真部の前田君のカメラに収まって終了。

団塊の世代の先がけ、バブルがはじめて久しく、期待する景気の動向も先の見えにくい時代。50代に差しかかり社会でも家庭でも重責の立場にある我々！ 全員の健康と活躍を祈念して乾杯！

井上 朗(33)

伝統、今も健在

去る6月18日、第28回岡山大学吟詠部、大経大吟詠部交歓吟詠発表大会が盛大に開催されました。

樟耀会(吟詠部OB会)

この記念すべき大会を開催できまことは吟詠部同窓の最も慶とするところでございます。吟詠部創

25日は、赤穂城跡、大石神社、花岳寺を参拝し、最後に牛窓のホテルで昼食を取り、来年も元気で

再会できることを約し散会いたしました。
源 幸夫(26)

創立25周年記念OB総会盛大に開催法学(律)研究部OB会



全国から有志集まりムードは最高!

'94年11月5日、創立して4半世紀、動乱の時代にふさわしく近江の国彦根城の近く「彦根かんぼ」にて記念総会が開催されました。当日は多忙の中全国から20名のOBが参集しました。初参加の松岡(24)、浅井(26)、高坂(31)をはじめ、20数年ぶりに土屋(27)、錦(37)、15年ぶりに中本(35)、9年ぶりに水野(27)、八木(33)等敬称略が駆けつけた。進行役は長島(39)、大谷世話役(36)による開

会宣言の後、勤務上欠席の星加会長(26)に代わり、多賀顧問(24)による祝辞、初参加の立花(24)による乾杯の言葉で始まった懇親会のムードは最高に盛り上がり、旧交を深める酒杯が続いた。場所を代えて高間プロ写真家(24)による記念撮影、林(26)による力強いエール指導の後、恒例の「逍遙歌」を全員肩を組んで合唱、ユニークな近況報告が行われた。今回の記念会に奈良在住の星加会長をはじめ、熊本の浜(35)、岡山の山本(33)、香川の野田(37)、長崎の白石(28)、愛知の前田(38)、池田(39)、兵庫の西村(38)、千葉の吉野(36)等敬称略、多くの会員よりメッセージ、寄付等をいただきありがとうございます。最後に母校の顧問先生は当日出張、公務のため出席いただけませんでした。メッセーじがありありがとうございました。そして今回も同窓会本部事務局様には記念品等大変お世話になり、この紙面をお借りして厚く御礼を申しあげます。

部38代となり樟耀会も250名にいたりました。経済優先の社会は、人間の真理さえ風化せんとしておりますが、この焦燥の中にあつて真理の探究と至誠の気風を極めんと、吟友諸君の熱き思いは今も健在であります。我が同窓樟耀会会員諸兄におかれましては、経大で

30数年前の青年に還った日

寄多郎会(柔道部OB会)



久しぶりに会う元気の姿に皆喜ぶ

ことにいたしました。

当日、我々幹事役の辺見、岡本源の3名が旅館に到着すると、被災地の神戸から、昨年心臓のバイパスの手術をされた高橋君が元気な姿を見せてくれたのは我々幹事一同感激いたしました。

京都から上野様が、また、第2の被災地尼崎から吉田御夫妻が、奈良から生田御夫妻が、姫路からの塾御夫妻、大道御夫妻が、また当日経大同窓会で超多忙の車野君が会合終了後伊藤君、西君と共に駆けつけてくれました。同期の梅垣君は我々と同行いたしました。特別参加の川添君も元気な姿を見せてくれました。

今年は初めてカラオケも登場し、宴会終了後、囲碁組、雑談組に分かれ30数年前の青年に還り夜のふけるまで語り合いました。

奥 正信(36)

事務局 〒520-123
滋賀県野洲郡野洲町北野1丁目17-13

ハンドボール 全日本三位に！ハンドボール部OB会



全日本3位に祝杯。OB、現役共々喜び集う

平成6年秋の全日本学生選手権試合において、ハンドボール部は堂々三位に入賞した。創部以来初

めでたきことであり大変喜ばしく、OB会が中心になり、平成6年12月18日同窓会館にて祝賀会を開催した。大学からは理事長、学長の祝詞を頂戴した。また同窓会からは萩原会長・陰下事務局長に祝辞を頂戴した。祝賀会は、大学・同窓会・OB・父兄・現役あわせて約80名の盛会であった。

ハンドボール部は、まもなく創部50周年を迎える。平成8年3月には、記念祝賀会を開催すべく準備中である。現役の益々の活躍をバックアップし、皆で祝杯をあげたいと思っている。

OB諸兄！ご協力のほどお願いいたします。

鮫島 圭(18)

30余年瞬時の如し

一都會計学研究部OB会

卒業してから30余年大学とも縁が切れずに来れたのは、昭和34年に会計学研究部を結成し、同36年に今は亡き松本剛教授を顧問に迎え、そのご縁のお陰です。本年4

月に松本先生の故郷島根県美保関町惣津へ、ここは3年前に隕石が落下した所で、そこからわずか10数メートル程しか離れていない場所に先生の墓碑を建立されました。61

墓碑の眼前には日本海が広がり見晴しが良く、この浜は先生が少年時代に過ごされた思い出の地です。小生が早朝から写経した般若心経をOB代表6名が一同に御霊前で読経して先生の安らかな眠りを祈りました。

また、ご遺族の好意により「大

井手口先生の喜寿を祝う

寮反会



思い出の地広島で徳を慕って盃を傾ける

学生寮の私どもの恩師であります井手口茂美先生の「喜寿を祝う会」が、去る6月10日先生の故郷広島で盛大に開催されました。先生の思い出の地「広島」で、との思いで地元にいる者が準備いたしました。先生ご夫妻にはお揃いで吹田市からお出でいただいた

阪経済大学二部会計学研究所」と灯籠に碑名していただき、その名を惣津の浜に残すことになりました。思えば、先生との30余年の歴史を振り返り、喜怒哀楽を共にしたことが瞬時の如く思い出されて……。合掌

小山由彦(29)

たのをはじめ、遠くは三重県からまた香川、愛媛県からもご参加をいただき、本当にありがとうございました。当日の参加者は、いずれも学生寮の時代には、先生に一方ならぬお手数をおかけした者たちばかりのようでしたが、久方ぶりの再会を喜び、和気あいあいのムードのなか長寿を祝い、徳を慕って盃を傾けながら広島の一夕を心ゆくまで歓談できました。この感激は決して忘れられません。いつの時代でも、同じ学窓に学んだもの、共通の思いは年月が過ぎ去っても楽しく懐かしいものがあります。願わくば、健康第一にゆとりある人生を送るうではありませんか！

次回どこかの地方で「喜寿プラス〇年を祝う会」での再開を楽しみに、諸兄の益々のご健勝とご多

震災の対策活動に奮闘

川西市役所大樽会



震災から数カ月、今も復旧に励んでいます

恒例の総会を今年も1月27日に開催する予定をしていましたところ、1月17日に発生した阪神・淡路大震災により延期となつてしまいました。その後ようやく4月27日に、22名の会員が参加して総会

を開催することができました。川西市は六甲山系の東部に位置し、有馬・高槻構造線という活断層が市の中心部を東西に走っている関係上、死傷者544人損壊家屋9163棟等の大きな被害が出ました。

私たちは大震災の当日より約3カ月間は通常業務がほとんどできず、日夜災害対策活動に従事してまいりました。最近では、街の復旧が進むにつれて私たちの気持ちも徐々に平穏さを取り戻すことができるようになってきました。1日も早い街の復旧を願いつつ業務に励んでいます。

今中 保(47)

東京支部に新風なるか！

日立大樽会関東支部がスタート

東京地区に今春4月より日立大樽会関東支部がスタートしました(本部は大阪で日立金属グループに勤務のメンバーで32名で構成)。関東支部は田中富三先輩(18)以下16名のメンバーで年齢差がかなりありますが(昭和27卒)平成

6卒)、私共には共通の話題があります。また、母校の伝統である面倒みの良い先輩にも恵まれ、応援とご指導のもとに出会いとご縁を大切にしながら日々新たな挑戦の中で切磋琢磨することを目指しています。この私共の心意気で井

幸をお祈りいたします。

島村照生(35)

第4回定期総会開催

税理士大樽会

税理士大樽会の第4回定期総会が、去る10月14日、同窓会ホールで行われた。例年は7月の開催だが、阪神淡路大震災のため秋開催の運びとなつた。

昨年の創刊号にひきつづき本年は「阪神・淡路大震災特集号」が発刊され、17名の被災会員の体験や教訓が機関誌第2号として全会員に届けられた。総会に先立ち、研修会が行われた。

第一部は、本学卒業生である大蔵省証券局企業財務課課長補佐、小谷融様を講師にお迎えして「新外貨建取引基準と法人税法」についてご講演いただき、第二部は、税理士大樽会会員である塩見哲様から「環境対応策としての会計事務所役割」というテーマで経験豊かなアドバイスをいただいた。現役の税務研究会のメンバーが数名、研修会に同席してくれ、若い人達と共に学び、意義深い研修会となった。定期総会は、全議案、異義なく



研究会では世代を超えて共に学んで

承認され、来期の活発な活動を再確認し合つて無事終了した。懇親会は、ご来賓として、桑津昇理事長、上島武学長、泉谷勝美教授、渡辺泉教授、萩原市郎同窓会会長、陰下嘉典同窓会事務局長をお迎えし、なごやかに歓談が続き、また会う日を楽しみに母校をあとにした。

平田久美子(35)

阪、西山様はじめ先輩達の培ってきた東京支部活動にさらなる活性化のお役に立てればと考えています。今後世の中がいかかわるうとも変らぬもの、それはお互いに「惜しみて励め我が青春を」です。ね！全国の皆さん！

国西良昌(29)



「惜しみて励め我が青春を」

TOPICS

厚生大臣表彰 受賞される

重松尚富山支部長



富山支部長重松尚(23)氏は、富山県の優良企業「カサマツ株式会社」代表取締役として、また協同組合富山問屋センターの理事長として活躍されており、さらに日頃同窓会富山支部のために大変なご尽力をなされております。

去る10月20日、森井忠良厚生大臣より「永年にわたり薬事衛生の分野において業務に精励され国民保健の向上に寄与された功績は誠に顕著なものとあります」という趣旨により、厚生大臣表彰状を受賞されました。誠にめでたいことであり、全国の同窓生の皆さんへご報告申し上げますとともに、同氏の今後のますますのご健勝とご活躍を祈念する次第であります。

同窓会富山支部事務局 高橋 努(34)

青空のスマイル

大阪産業大学理事長
古谷七五三氏(22)



梅雨空がやつと開けた7月24日、香積大学事務局長、波根同窓会広報部長とともに古谷七五三氏を本館10階にある理事長室に訪ねた。珍しいお名前なので、読み方と言われをお聞きした。

「しめじ」と呼び、昭和7年5月3日に誕生した次男ということで名付けられたそうだ。現在、大学、短大、付属高校二校及び、齒科衛生専門学校を持つ学校法人大阪産業大学理事長である。

代の若さで、同校の教頭、校長を経て、法人の常務理事・事務局長に就任、平成5年に理事長に就任された。

母校在学中は、井上清ゼミに在籍、大阪市信用金庫理事長の新堂氏とともに、空手部を創設された。勉強は記憶に薄いのが、当時の学園は小人数で、家族的な雰囲気でもよよかったそうだ。氏の motto は忍耐、「人のいやがる仕事でも、努力してやってきたことには自信がある」と語っておられた。若い時に、困難な問題をこなしてきたことが、現在の自分につながっていると感じておられるようだ。常務理事になられてからも、新学部・付属高校の増設、国際交流等、時間のかかる困難な問題を精力的にこなしてこられた。私たちが、訪問した前々週には、提携先であるドイツのヴュルツブルク大学等最近でも、中国西安公路学院今年から提携する東南アジアの諸大学を歴訪されたそうだ。

リーダーシップとは
徳である

日立金属株式会社
代表取締役副社長
田中富三氏(18)



この7月に本学のオープンカレッジである経済学特殊講義において講師として招聘している企業のトップで活躍されている方々の中、OBとしては唯一、講義していただいた田中富三氏に貴重な時間をとっていただいた。月の半分は東京と大阪を往復なすり、わずかな時間のインタビューの間も時折席を外され、氏の多忙さが伺い知れた。インタビューでは大企業の大要職

に就いているという物々しい態度もなく、論語の一説である「徳不孤必有隣」を座右の銘とする氏の人徳と心遣いが私たち広報部の者にもよく伝わった。

大学時代には、御尊父の病氣のため、苦学生であったこと、演劇部に所属し、そこでいい先生、いい学友に出会い、いい経験をしたことが、今の自分に息づいている。また、入社以来、人一倍の努力と人との縁を大切にしてきたことで現在の自分があると熱っぽく語られたのが印象的だった。

最後に「また、一緒に食事でもしましょう」と、にこやかにおっしゃられた時、改めてその人柄に

プロフィール

昭和27年3月大阪経済大学経済学科卒業後、日立製作所入社。同31年日立金属工業株式会社(現日立金属株式会社)に転じ、現在、代表取締役副社長。

コープこうべ組合長
木村正人氏(24)の
講演を拝聴して

コープこうべ組合長
木村正人氏(24)



今年、同窓会総会が行われた日を同じくして、大阪経済大学教職員組合主催の戦後50周年記念講演会も本学で開催されました。その講演会に本学卒業生で、現在コープこうべ組合長をされている木村正人氏が講師として来られました。テーマは「明日の経済を考える」地域に根差した生協活動」。約

(大門由秀記)

1時間にわたり貴重な講話を聞くことができました。

歴史的に見れば、生活協同組合は、賃金を搾取されていた労働者の生活が常に危険にさらされていた1840年代、社会的要請からイギリスで誕生したそうです。良質な商品を適正な価格で提供することによって、生活の向上を図ったそうです。19世紀末から様々な協同組合が設立され、また、日本でも大正10年頃、労働者の貧困が社会的な問題となり、労働者の救済のため様々な協同組合ができ、今日に至っているそうです。

コープこうべは日本最大の生活協同組合で、組合員数は120万人。良質な商品の提供のみならず、福祉やボランティアなどあらゆる方面から組合員の生活向上のため活動されています。特に、先の阪神大震災では協力・助け合いの精神で地域社会の復興に貢献されたようです。『誠実に勝る知恵なし』が motto の木村氏。地域社会に根差した生協活動をさらに展開されていく意気込みを感じました。

(川崎 章記)

感銘し、すばらしい大先輩に会えた満足感に浸った。

(菊川和義記)

歴史ある都市の
新たなビジョンを
掲げて

舞鶴市長
江守光起氏(33)



波静かな湾内に停泊する護衛艦や赤レンガの倉庫群が独特の雰囲気醸し出す北近畿の拠点都市舞鶴は、旧海軍の町また引き揚げ船の港として全国に名を知られている。平成7年2月、舞鶴市の新市長

となられた江守光起氏を、陰下同窓会事務局長、波根広報部長と共に舞鶴市役所にお訪ねした。今年50歳になられたばかりという颯爽とした新市長だが、議会畑は長く市会議員をはじめ府議会議員を3期務めたベテランである。大学時代はワンダーフォーゲル部で北海道の山々を遠征したり、自動車部の再建などにも尽力されたとか。ガソリンスタンド経営が本職ということもあって、アメリカ、カナダを60日間歩いて、ガソリンスタンドの一考察のテーマで卒論を書き上げたとのこと。

舞鶴は40年ぶりに外部から新市長を迎えたこともあって、初登庁以来ほとんども休んだことがないという忙しさが、環日本海時代の到来を見据えて、旧軍港時代には閉ざされていた港の活性化、ナホトカ、大連との姉妹都市提携、赤レンガ倉庫での千人のジャズコンなど、歴史を背負った都市の新たなビジョンを語ってくださった。新市長の描く舞鶴に何か親しみを感じるような訪問であった。

(吉村和利記)

丹波篠山五十三次ガイド
改訂『ふるやつの探訪』

平成7年8月1日発行
篠山観光協会
106ページ



毎日新聞(朝刊)
『丹波ぶらり散歩道』

平成6年11月1日発行
5段64ページ
梶村文弥(8)著



地方には都市にはない独自の文化と歴史がある。そして市販のガイドブックだけでは決して分からないような事も多い。例えば、昔の有名な人伝承、あるいは地元の人もほとんど訪れることもなくひっそり眠る史跡、ガイドブックには掲載されていないが、地元ではちよつと有名な観光スポットなど。

『ふるさとの探訪』では、篠山のそのような文化と歴史を長年にわたり研究してきた筆者自身の数え切れない現地調査をもとに選ばれた96カ所がそのいわれとともに紹介されている。また、『丹波ぶらり散歩道』は約1年間に亘り毎日新聞に掲載された記事をまとめられている。どちらの本も単なる名所のガイドなんかではなく篠山の歴史と文化と伝承が伝わり、ただ読んでいるだけでもおもしろい。江戸時代には小京都として栄え今でも古い町並みが残る町篠山。カメラ片手に、このガイドブックを持って、訪れてみるのはいかがであらう。

(菊川和義記)

『続丹波杜氏』

『続丹波杜氏』編纂委員会
平成7年7月27日発行
丹波杜氏組合
637ページ



このたび、丹波杜氏組合の創立100周年を記念し、『続丹波杜氏』が刊行された。『丹波杜氏』は60周年を記念し昭和32年に刊行された。編纂に2年余を要した、その大部な書籍の編纂委員(7名)には、2名の母校関係者が名を連ねている。

その2名とは、母校理事で元菊正宗酒造専務・工学博士の森太郎氏と、母校評議員で元県立高校長・同窓会丹有支部長の梶村文弥氏である。森氏は日本酒醸造の権威、梶村氏は文章と歴史に造詣が深く、編纂のみならず執筆、座談

会にも深く係わられたそうである。内容としては業界史であるが、「近世酒造業の発展と丹波杜氏」について、江戸期から阪神・淡路大地震後の今日まで、多岐にわたってまとめられており、年表、史料等も豊富である。興味のある方は公共、大学図書館等で閲覧願いたい。

(波根伸俊記)

『書道藝術』
—奥山岳風社中と現代中国西北域の書畫—

1995年7月号
110頁2113頁掲載

奥山岳風氏の自作詩「谷川の音」と同人の方3名の書と中国の西北域の書畫家12名のすばらしい書が書道芸術1995年7月号に載っております。

私も見させていただきましたが、すつきりとした奥山氏の書に、重厚とした中国書畫家達の力強い息吹きを感じられます。

『営業マンの掟』

部奈壮一(37)著
平成7年5月10日発行
三笠書房
250ページ
定価500円



この書は営業の立場でかかれています。ビジネス全般に置き替えても通用する内容で、初心ビジネスマンのバイブルとも言えるすばらしいできになっていて。読後に勇気がわいてくる内容はすばらしく今後の新刊が非常にたのしみで待ち遠しく感じられた。

(大門由秀記)

『市民とソング』

久野収 聞き手 高島通敏
平成7年9月10日発行
毎日新聞社
313ページ
定価2,200円



「これは戦後50年を機会として、久野さんのいわば語り下ろしによる自伝。半世紀にわたる久野さんの自分史、および周辺の同時代の知識人たちの、人間味あふれる数々のエピソードの面白さを語ってもらったもので、読者は十分に堪能されるに違いない」と。対談者の高島通敏氏がへはじめに「でいみじくも語っておられる通り、久野収先生は積極的な文化人として市民運動の体験をふまえ、市民的哲学者として、現在も評論活動の第一線で活躍しておられます。ある時期、先生が大学院館(昔へ支那経済研究所)と呼んでいた)に住んでおられたのをご存じですか。昭和商高が大阪女子経専・大阪経専を経て、今日、大阪経済大学として存続してこられたのは「久野先生の頑張りが大きかった」と、当時の学校首脳部が1947年(昭和22年)、先生の退職時に賛辞を惜しみなく贈っておられるのです。

久野先生独特の口調が随所に散らばり、ご存じの方には懐かしく、ご存じでない方にも非常に読み易く編集されています。

(前田悦子記)

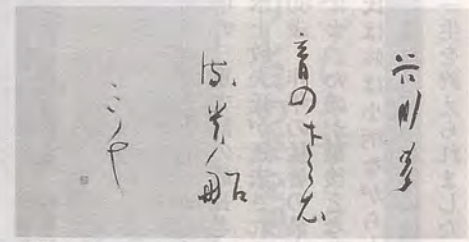
奥山岳風 プロフィール

1948年 書畫家を志す。
1995年3月 中国 西省人民

政府管理西家雁塔題名書畫研究会顧問 書を授与。

8月 中国甘肅省書法研究会より顧問の要請を受ける。
9月 イランの書家と新たに友好を深める。NICE Society of Men

バーに加わる。(大門由秀記)



「谷川の音」自作詩

訃報

水上敏夫 元三重支部長を悼む



平成3年3月30日、かねてから療養中の三重支部の最長老、元支部長水上敏夫氏が逝去されました。享年80歳、昨年の猛暑の最中お見舞いによったのが最後となりました。氏は躰は小柄ながらも精気満々、談論風発、まさに快男子のまま一生を終えられました。

私が昭和商高に入学した時、氏は最上級の3年生、確か水泳部のキャプテン。「郷土の先輩にこの人あり」といわれた我々新入生の尊敬の的でした。戦後お会いしたのは、確か昭和26年、氏の呼びかけで、市内の万歳館という市の施設に、スキヤキ鍋、カンテキなどを持ちこんでの同窓会でした。以来平成3年に体調を崩され、辞されるまで実に40年の長期に亘り三重支部長として、正に支部生みの親育ての親でありました。

戦後、氏は県立名張高校教諭としてまた、進路指導部長として、多くの生徒を経大へ送り、さらに経大卒の後輩の就職あっせんにご尽力されました。私共後輩としては、まだまだお元気で何かとご助言をいただきましたがたかつたのですが残念の極みです。

ここに先輩が永年に亘り、お育ていただいた、三重支部のさらなる発展をお誓い申しあげると共に心からご冥福をお祈り申しあげます。次第であります。

三重支部長 中尾大輔(5)

前三重支部長 木戸 董君を偲んで



平成3年、初代三重支部長水上敏夫氏(3)より、バトンを受け継ぎ、「さあこれから」という矢先、病に冒され入院を繰り返され、懸命の闘病も遂に効なく、平成7年2月3日、他界されました。全く惜しみても余りあり残念というほかありません。

氏は平素より長年の軍隊生活で鍛えた頑健な躰、見るからにエネルギーギッシユな風貌。さらに、根

つからの頑張り屋で今回の訃報に皆がまさかという思いで耳を疑ったものでした。

昭和15年、昭和商高卒業後、程なく応召され、中国華中戦線での戦争体験談は、よく聞かされたものです。終戦復員後は長らく三重県庁に務められ、定年退職後は地域のボランティア活動に精を出され老人クラブ連合会長、さらに行政相談員の三重県副会長など活躍されました。また、同窓会三重支部の役員として長く、水上支部長を補佐され、当支部の発展にご貢献をいただきました。今回の突然の訃報には、氏の平素のお元気を知っているだけに、一様に驚きを隠しきれず、ただただ心からご冥福をお祈り申しあげざるばかりであります。

三重支部長 中尾大輔(5)

パイプにキザミタバコ、 存りし日の姿を偲ぶ



た。渡辺氏、故世良氏、磯野氏の三同窓会会長のもとで事務局長として会の運営に尽力され、温厚な性格、面倒見の良さは、後輩の敬慕するところでありました。また、甲子園大学、浪速短期大学の教授として、研究活動にも励まれました。母校と共に、母校をこよなく愛し、行末を案じられた比企先輩パイプにキザミタバコを吹かす存りし日の元気なお姿を思い浮かべつつ、ご冥福を心よりお祈りいたします。

大西健介(35)

黒正徹先生記念碑と 清水好喜代君を憶う



8月28日朝11時過ぎ、君の訃報に接し、あまりにも突然のことで一瞬、息をのみ、悲しさが、胸にこみあげるのを覚えた。

今年3月には、村中君社葬の知らせを受け、数少なくなつた学友の中から数名が参列したが、その帰り途、君は、また一人減つた淋しさをうち払うように元気な声で祭壇の写真にふれ、自分も気に入つたのができたから、君達も作つたらどうかと笑って話していたのに、あれから、まだ半年、まさか帰らぬ人になろうとは、人生の果敢なきに心が痛む。

思えば、君とは永いご縁であった。もう60年になる。君は卒業と同時に丸永株式会社に入り、上海支店勤務になり大陸へ渡つた。生来の決断力に加え創造力に恵まれた君は、やがて、頭角を現わし、縦横の働きによって業績をあげ、戦後帰国すると、今治支店長、名古屋支店長を歴任したが、ニチメンとの合併を機に独立。38歳で社長業の第1歩を踏み出した。以来40年、学生時代に薫陶を受けた恩師黒正博士の教訓を胸に困難を乗り越え、今日、4事業所を持つ中

磯野 斉(3)

堅企業として、業界に確固たる地歩を固めるに至つたことは、まことに敬服すべき人生であった。先年、令息に社長職を引き継ぐに当たり、恩師への感謝をこめて、先生の遺訓「道理貫天地」の文字を刻んだ見事な記念碑を多数の植樹とともに大学へ寄贈されたことは感銘すべき快挙であったが、私は因らざるもこれを助ける役目を果たすことができて嬉しい限りである。君の一生の支えになつた恩師黒正徹先生の遺訓は、永く学生達に伝えられ、多くの植樹は、年々、幹を太くし枝を張って、大学とともに成長を続けるであろう。つかの間を生涯とは言え、君と親しくできたことは私の無上の喜びであり、今はただ君のご冥福をお祈りするばかりである。

北から

W



南から

中国経済と昭和商

吉原清次(5)

68-49

昭和商の3年生になった昭和13年、裏側に支那経済研究所ができた。卒業アルバムには、起工式の黒正校長猷入れと、生徒代表の玉串奉呈が掲載されていた。57年前の若々しい校長と生徒の

老年の楽しみ

福井尚吾(9)

知識には自然、人文、社会の三分野がある。人間として生まれ小・中・高・大と学校にいき、前記三分野の知識を学び、社会の一員となる。十全の知識を得て、社会生活に入る訳ではなく、一生が試行錯誤の連続というのが人生というものである。全知全能を目指しても欠如あるのが人の一生であると思ふ。

世界や人生が理解できたとしても、万全を期すわけにはいかぬ。大悟一番未完に徹するのが人の一生であろう。大地に根をおろし天空高く舞い上り、また地上に戻ろう。

自宅 鳴門市大麻町萩原西山田

競争時代に思う

大森侃二(6)

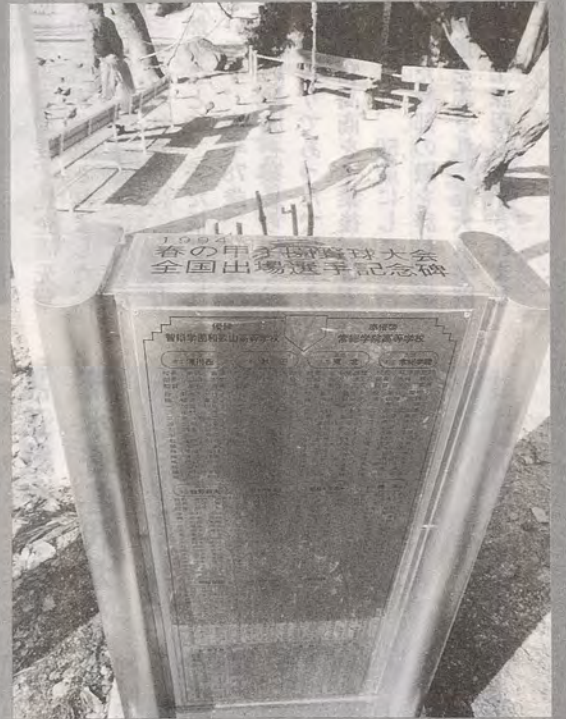
我々が在学したのは昭和12年から3カ年間。当時、阪急アパートの大食堂で5銭のライスとただの福神漬とソースで昼食を済ませた思い出がある。

元来、コーヒート付きのライスカレーを20銭で売るアイデアは、社長小林一三さんの発案であり、ライスだけのお客さんにも、社長自ら福神漬を配ってサービスしたエピソードは有名である。

今や日本はコストダウン、サービスの大競争時代、経営者はもって範とすべきではないかと思う。自宅 岡山県和気郡和気町尺所59

TOPICS

廣田神社の感動の碑 (高校野球記念碑)



3月24日今年の春の高校野球の開催前日に昨年の選抜高校野球の「感動の記念碑」が廣田神社の境内に建立された。廣田神社の宮司である中山隆(15)氏と藤原産業代表取締役藤原充弘(35)氏は、「甲子園球場は西宮市に位置し、阪神タイガースが毎年参拝にくる、何かと縁のあるこの神社に、高校野球の感動の碑を設置することは、本当に意義のあることで、高校野球の聖地として、また出場選手たちの思

い出の場所になれば」とおっしゃられた。廣田神社と言えば、『日本書紀』にも記述のある由緒正しき神社でもある。また、参道はゆうに600mもあり、敷地の広さが2万坪近くあることにも本当に驚かされる。「感動の碑」は、同窓の先輩・後輩が二人三脚で各方面に手をつきされ情熱をもって建立されたものである。思えば、数年前流石のモニユメントの除幕式で、生来のアイデアマンである藤原氏と何事も前向きに取り組む中山氏が出会わなければ、このような素晴らしい記念碑も建立されることはなかった。

「感動の碑」は、今後毎年設置していく予定であり、また過去にさかのぼって設置する予定である。本年1月17日、多くの同窓生に多大の被害を被らせた阪神大震災。廣田神社も例外ではなく、参道の鳥居が倒れ、建物が倒壊するなど多大の被害に遭われた、それをものともせず、今回の「感動の碑」を建立されたことこそ、正に感動に値する。



この「感動の碑」の隣には、同じく藤原産業で作られた「願石」(電話をかけて話すよと本殿へ向いたスピーカーからその願いが叶えられる)も立っている。二人のアイデアにより未来へ向かう「廣田神社」、しかし中山宮司が最後に言われた。「私は、この神社に植樹をして、緑を増やして神社の森らしくしたい。できれば日本全国の県木を植樹したいと考えている。」さすがに、天然記念物の「三ツ葉つつじ」を守る中山氏の懐の深さが感じとられた。

築立ち52年の回顧

串岡 茂(10)

私は、昭和18年9月、戦時特別措置により大学高専を6カ月短縮で卒業し、三菱銀行に入社。神戸支店勤務3カ月後の11月1日金沢市の山砲九連隊に入隊した。同部隊に高商同期剣道部の高野之茂君がいた。牡丹江・暉春・鶴岡・ハルピンと国境警備につき、新京緑園にあった関東軍経理部教育部815部隊を昭和20年5月卒業。この陸軍経理学校では、高商同級で京都の山下博三君と一緒にいた。また、すでに任官し、珍しいサーベルを腰に鎖をガチャガチャして歩いていた宮前旭先輩が、桂木斯の山砲隊3909部隊におられ、馬魂碑の前での写真が今も手許に残っている。当時部隊全員がよく唱った緩芬河小歌「北満のユーフラチナヤの丘に立ち見渡す平野グロアゴボソ連のトーチカほの見える」が思い出される。

スポーツ少年団顧問であり竹刀を振っている。母の郷里ここ石巻に落ち着いて50年になろうとしている。5日前、出羽三山詣でに行き、明日8月5日は、山形上山(斉藤茂吉の生地)で文部省派遣海外教育視察団の会合に出席する。結構暇なく諸行事に参加、元気にしている。

自宅 宮城県石巻市三和町2-3
勤先 石巻商業女川高校

兵庫教育界で活躍する経大卒業生 倉垣貞雄(11)

現在、経大卒業生が兵庫県下の公立高校で多く活躍しており、年1回総会を開いて親睦と団結を固めております。高校長3名、教頭3名、県指導主事1名ですが、次々と後輩が管理職に挑戦しており、県下商業教育界に隠然たる勢力となってきました。

不肖私が、昨年春の叙勲で勲四等瑞宝章を受章した時、商業科関係の経大卒業生が多く集まって祝賀会をもつてくれました。兵庫県商業科教師の会長は私、事務局は県立姫路商業高校校長佐藤裕之君です。

自宅 兵庫県多紀郡篠山町新荘 1132

昭和の乱世と我が人生

翠 高明(12)

学園を離れてから50年が過ぎました。「光陰矢の如し」です。残念ながらこの間機会に恵まれず、母校にも同窓会にもご無沙汰のままです。いつも「濶江」を懐かしく拝見。今昔の感一入です。我々は昭和18年4月、大東亜戦争の真只中での入学で、在校中も戦時色一色の学生生活でした。そして、2年生になった時には、校名も昭和と高商から大阪経専となり、女子専門の経専として新入生はすべて女性となりました。

そんな頃から同期の大半が、学業半ばで征途に立ち、そのなかの多くが帰らぬ人となられています。私も戦線に征って、20年にはソ連に抑留され、シベリヤ抑留生活4年半を体験しました。帰国後もまた、今日まで戦後の激動を乗り越えて、今や人と人並みの平和な余生を送りつつあります。昨今の日本の世相を見るにつけ、一層恒久平和を願う日々です。亡き友の冥福と母校の発展を祈っております。

自宅 名古屋市長東区平和が丘 5-164

本籍地へ送付の卒業証書

福井眞八(12)

昭和20年9月敗戦罹災によりほとんど焼失。父の生家で奇寓している状態でした。現在の就職難以上の深刻さでした。学業も、工場へ動員と2年生の半ばより授業らしきものはなく、戦況の悪化とともに無休で幾日も軍需工場で働き続け、どん底の境遇でした。そんな折りに卒業証書、しかも授業料卒業試験もノーコメント。黒正校長以来の母校の温情あふれるこの措置に、母校の名を揚げる人間にならざるを堅い決意をいたしました。

最初に卒業証書の効果が現れたのが、国家公務員税務三級職試験に受験したこと。もちろん、大学卒が条件で、合格率は相当な厳しさで、私は猛勉強に励みました。上級職の部類に入る1番高度な国家試験で、経済、数学、物理、法規等200問におよぶ問題でした。その試験で上位に合格したのが自信のつき始めで、中堅税務署員になるも転勤のため退職しましたが、続いて司法書士試験に合格。運と努力が功を奏したとと考えています。難関の税理士試験にも挑戦。受験の都度、卒業証明書を添えて提出

「濶江精神」を胸に

北住(原田)和子(13)

間もなく人類が2度目に経験する新しい世紀を迎えますが、次の千年王国に期待する夢は何でしょうか。終末論的な世紀末現象が続いている昨今ですが、50年前のあの激しい時代の流れのなかであって、必死に学んで体得した「濶江精神」とも言ふべきものを、私たちはしっかりと胸に秘めて生き抜いて行きたいものです。

自宅 埼玉県北葛飾郡庄和町大倉 496-142

飽食の世への雑感 和久本(田中)禮子(14)

町を歩いていたら「生き方教室」という広告がふと目に止まりました。授業料を払って「生き方」を学びに行く人がたくさんいるとい

うことなのだろう。経済的な豊かさのなかで方向性を見失った若者たちが増えているのは嘆かわしい。自ら考える力を失い、「生き方」も教えてもらわなければ分らないということが、オウムのような事件を生む。こうした社会風土を作ったのは私たちの責任かと思えば、心して物を考え、自ら信ずるところにしたがって行動することが必要なのではないのでしょうか。

自宅 東京都文京区本郷 3-43-18

人生の第三楽章を有為に生きたい 内海哲雄(21)

「戦後五十年」の今年私の余生元年でもある。しかし、二十数年(?)の余生を有為に生きたいと思つた矢先に大震災で被害を受け、つまづきのスタートとなった。余生で大切なことは「生きる」との質で命の長さより深さだと言われる。それでまず積み放しの本を読み、次に興味をもったテーマに取り組み、なんてことを夢想している。

私は母校へ入って、戦中の画一的な教育と異なる世界を垣間見てカルチャーショックを受け、政治

経済に関心を抱くようになり、一時期、神戸で文教活動に取り組んで青春時代を過ごした。そして、今、その時の友人の一人と十数年前から続けている勉強会、井上ゼミOBの清寿会、大学の公開講座などが私の知的刺激剤となり、好奇心が衰えないように努めている。戦後奇跡的な発展をとげた日本という株式会社は大きな転換期を迎えており、産業や金融の空洞化が言われるなどその行方から目を離せない。母校も21世紀を見据えたユニークで魅力のある大学として躍進することを期待している。

自宅 兵庫県明石市松が丘 3-4-3

価値判断できる人格指導を 鶴原公章史(23)

学園経営の問題がからんでくるが、何カ年計画で落第制度、留年制度を厳格にして、卒業証書だけが欲しい学生を排除し、将来、無試験入学で勉強したい学生の学園にして欲しい。我々会社にとって、学校歴は必要でない。履歴書の学歴は学校歴では困る。

今の新入社員は、卒業して入社したその日から仕事のできるようには育成されていないと思われる。

例えば入社してきても簿記がつけられない。商業文が書けない。マニュアルにそんなこと書いてないとか言う。個人のバラバラの知識はもっていても、知識が常識の段階までに成長してないので応用がきかない人が多いように思われる。価値判断できる人格指導を願う。

このことは母校だけでなく一般的現象だけに経大の躍進を祈ります。

経大と日立金属グループ企業 中西國男(23)

経大創立者黒正巖先生に日立金属2代目社長河野典夫氏(現在相談役)は京都大学在学中、黒正先生のゼミでご指導と薫陶を受けられた。この縁あつてか、経大卒業生が日立金属グループで、いずれも企業経営に参画、活躍されている。

日立金属副社長田中富三氏を筆頭に、関連日立金属商事に取締役2名、部長、所長多数名、日立ツールに役員1名、部長数名、いずれも企業の中核で勤務されている。経大の教育の理念と日立金属グループ企業の経営方針に何か共通点を感じられる。就職試験の厳しい昨今、この困難を突破して日立金

属グループ企業に入社され先輩に続かんこと。

自宅 横浜市戸塚区汲沢

1-41-16

勤先 日立ツール(株)

母校の人々が私の宝

田中隆衛(28)

この度の大震災に対し心から御見舞いを申しあげます。

遠く長野県の地にてこのニュースに接して以来、とりわけ神戸市役所の同窓の皆さまのことが想い出され心を痛めております。と申しますのも、今から10数年前、小地方自治体に身を置く者として、時の首長より命を受けて先進地神戸市の実務を研修させていただくことになりました。その折、『濶江』によって同窓生が市役所の中核におられることを知り、ご依頼申しあげたところお引き受けくださり、こと細かにお手配くださり、実り多い収穫がございました。母校の人々に恵まれたこのことを、今も忘れず日々努めております。

自宅 長野県北佐久郡軽井沢町

大学長倉4758-2

勤先 軽井沢町役場

阪神の地域のみの人たちが苦しまねばならぬのかとも思い、今後の復興を祈っております。

私が母校で得た財産は、いかなる事態にも強い心で立ち向う精神。このたくましい精神を培えたことをありがたく思い、感謝の気持ちで一杯です。

妻を亡くして7年、母の助力でようやく2児も成長、中2、小6となりました。

自宅 大垣市切石町1-5-8
勤先 ホウトク販売株京都支社

表彰式に出席して

松原誠二(41)

第47回国土建設週間中の7月12日、高松市にある香川厚生年金会館において、建設功労者および勤続精励者表彰式が行われた。私も局長表彰勤続精励者として出席することになった。

式場には少し早めに到着したが、勤続精励として局長表彰を受けるほとんどの者の顔はすぐ分かった。ただ一名だけはすぐには分からず、20年たつとあの時の顔がこのようなおツサン顔に変わるのかと、へんに納得してしまつた。

早いもので大学を卒業して20年、今までご迷惑をかけた方々の顔を

経大同窓生の誇りを大切に

国西良昌(29)

私の宝物、それは母校で学び、良き友を得たことです。今までに転勤等で8つの町に住み、6つの経大同窓会支部(現在は東京支部)のメンバーとなりましたが、なぜか私には一度ならず、二度までも母校のある大阪の地を跨ぐ習性があるようです。しかし、毎年11月3日には、どの地においても必ず母校に駄せ参じることになっています。いつの頃からか経大同窓会全国区のコクと呼ばれるにいたりました。

ただし、全国区人間にも取り柄があり、今までの地に行きましても、同窓の仲間と山の兄弟(元ワンゲル部)がおり、公私ともにずいぶん助けてもらつて参りました。

先般(95年7月)も、関東地区にいる元ワンゲル仲間尾瀬の燧岳(2,356m)に登りました。久々に会つても学生気分に戻るには3分もかかりませんが、寄る年波は認めざるを得ませんでした。何はともあれ、今後も引き続き経大同窓生の誇りと健康管理を大切に「生涯現役」を目指すつもりで

す。

自宅 市川市大洲

4-21-20-203

勤先 日立金属商事(株)

松本剛先生と遊んだクラブ活動

植村祐三(32)

私が経大2部へ入学したのは、昭和37年4月、25歳だった。早速会計学研究部に所属し、顧問の松本剛先生の授業が終わるのを待ちかねて、夜遅くまで薫陶を受けた。一つ年上だったこともあり、友人になろうなどと、今思えば失礼なことを言ってしまった。

本当に学者らしい先生だった。亡くなられてはや2年、昨年は『会計学研究』という機関紙で、追悼集を出し、4月、島根での三回忌にはクラブOB一同参列しました。我が経大は、対外的に人気と、愛校心に欠けるように思います。クラブ活動を通じ少しでも役立ちたいと思っています。

自宅 奈良県山辺郡都祁村太字針
2400番地

勤先 植村祐三税理士事務所

安静なる高齢化社会を

岡田佳明(33)

日々の暮らしに追われ、普段は気にもとめていないが、新聞の中に母校の名を目にするとふと「あの頃」を思い出す。訳あってクラブを断念したこと、ゼミ「交通論」のこと、そして学舎から学舎へと走り回ったこと。中年という名で呼ばれる今、すべてがただ懐かしい。4年間で得たもの失ったもの、そんな表面的なもの以上に、今、私の心に残ったもの。それは人生の中で一番輝いていた瞬間を「大経大」で過ごしたという事実だ。

自宅 撰津市千里丘4-23-14
勤先 不二施設品配送サービス

本と学生

長谷中英昭(47)

先日、専門書を探しに、某大学の正門前にある書店に行った。けっこう広い店であったが、専門書らしきものすらなく、コミック本や雑誌類がほとんどで大変以外に思ったことがあった。経大の周囲の書店には、どんなに間口が広くても、店の中には専門書が並ん

母校を卒業してはや28年、医療の裏側を支える医師会に勤務して今年で26年目になる。最近、職業柄かもしれぬが、高齢化に伴う介護や医療について、いろいろ考えさせられることが多い。

ご承知のとおり我が国は、世界のどの国よりも速いスピードで高齢化社会に向かっている。その結果、長期の介護と医療を必要とする高齢者が増え、21世紀には100万人を越えると予想されている。これらの高齢者を支えるのが、医療・保健・福祉であると考えられる。現在の医療・保健・福祉制度は、転換せざるを得ない状況にあると思われる。

とにかく高齢になつて動けなくなつた時、安心して静かに「終わりを迎えるにはどうしたらよいのか。国民的なコンセンサスを得た制度やシステムの構築が当面の緊急課題になると思つている。

頑強な精神を培って

牛屋正昭(39)

ご無沙汰に打ち過ぎお申し訳もございません。阪神の大災害は、誠に心打たれました。物資豊富の世への警鐘かと思ひますが、なぜ、

でいたことを思い出す。この大学の学生が、あまり本を読まないのか、それとも時代の流れなのかと考えさせられた。講義から得ることは、大変多いと思うが、活字から得ることは、それ以上に多いと思う。後輩たちが、目的を持って大学で勉強することを願う。

自宅 明石市魚住町西岡1699
勤先 神戸市立井吹東小学校

Jリーグを観て..

岩沙克尚(48)

先日、Jリーグの試合をテレビで観ていたところ、ゴールの後ろに「大阪経済大学」の名を目にして非常にうれしく思いました。卒業以来ふり返つてみますと、六大学野球、駅伝等マスメディアで、母校の名が登場するのは数少なく、名古屋では、新聞の大学入試案内欄にも掲載されず寂しい思いをしておりました。今後もスポーツ等文化活動への参加をふくめ、積極的に大学の広報活動を進めていきたいと思ひます。

自宅 岐阜県羽島郡岐南町
勤先 小杉産業(株) みやまち3-93

今年の世相を斬る

上田 豪(52)

今年の初めに阪神大震災があり、我が母校の関係者の方々の中にも被害にあわれた方もいらっしゃるかも知れない。あの時、なぜ国がすぐに行動しなかったのか、村山内閣がささずGOサインを出していれば、ああまでも死者が出ずにすんだかもしれない。もったいない場合、どういう対処をとるか国・政府が考えてもらいたい。タレント議員も良いが、もう少し考えるべきである。これからの日本を創るのは我々の世代であるのだから。

自宅 和歌山市葵町1番2号
勤先 浅井建設(株)

いつまでも生き生き青春

長谷川(豊田) 敦子(54)

私が在学していた頃、もう今から10年ほど前の話になりますが、当時、経大のキャンパスには女子学生は少なく、同学年の女子同士がかたまっていたと聞いていました。それが、ゼミに入ったとたん、男友達が増え、お互い気の合う仲間になりました。ゼミ以外の時間も、

一緒に行動したり、旅行に行ったり、コンパで大騒ぎしたり、楽しい学生時代を送ることができたかったと思っています。

私の結婚式にも、北村実先生をはじめ、遠方よりゼミの仲間たちも出席してくださり、祝辞をいただきとても感激しました。ゼミには同じように陽気で世話好きな女子が4人いましたが、今では皆結婚し子宝に恵まれ、幸せに暮らしています。私も、一男一女に恵まれ、ゼミ仲間との交流を忘れず、いいおつきあいをしています。おじさん、おばさんになっても、いつまでも生き生き青春していきたいですね。

自宅 大阪府守口市滝井西町 2-1-3

一生の目標を得た4年間

日夏昭三(54)

私は経大を卒業し8年目になります。大学卒業と同時に、1年間の臨時講師を経て、現在の勤務先である滋賀県立国際情報高校に商業の教諭として赴任いたしました。思い返せば、自分は中学、高校時代ともに、これといった目標もなく、ただなすがままに身を任せ

ているに過ぎませんでした。しかし、経大入学後、必ず高校の教員になるという明確な目標が見つかり、一生の仕事勝ち取ろうと死に物狂いで努力したのを覚えています。どうか経大生の皆さんも、一生の財産となる大学4年間で有意義に送ってください。

自宅 滋賀県彦根市日夏町 3004
勤先 滋賀県立国際情報高校

大学生生活をふり返って

可児純人(58)

私は、今でも強烈に大学時代の部での活動を思い出します。もう30年近くも生きてるのに。一考するに、勉強こそ学生の本分と言いなから、私は母校で人とのふれあい、上下関係等本当に世間へ出て必要なことを非常に多く学んでしまったからだと思っています。大学と部活動とは相関的に結びついていると思う。だから、あの時の友ともう一度会いたくて、この庭(まなびや)に帰って来たくなるのだ。だからこそ、私の今があるのだ。自宅 兵庫県西宮市小松西町 2-6-17
勤先 東芝タンガロイ(株) 西部支店

筋書きのないドラマ

本田雅裕(57)

私の学生時代はまさにプロ野球一色でした。友人同志で「プロ野球同好会」なるサークルを結成し、私自ら部長となり、阪神、近鉄を応援しました。飲みに行くといえは決まって甲子園、日生、大阪球場の外野席でした。熱狂的な阪神の応援、野茂の奪三振ショー等そこにはまさに筋書きのないドラマがありました。夏休みには、当時完成したばかりの東京ドームをはじめ全国各地の球場に遠征したのも、今では楽しい思い出です。

社会人となった今では、あまり球場に足を運ぶこともなくなりました。今年結婚することになったので、今度は妻や子供たちと筋書きのないドラマを見に行くことが、今の私の「フィールドオブドリームズ」です。
自宅 京都市右京区嵯峨中又町 16-5
勤先 京都府立亀岡高等学校

皆さんにご投稿いただいたテーマ
●今年の世相を斬る
●母校への提案
●母校で得た私の財産
●その他

記念品販売のお知らせ

同窓会総会の参加者に配布した平成7年度の記念品は、「大阪経済大学同窓会」のネーム入り『実用字典 特装版』(三省堂)。黒の表紙に金文字のシンプルな装丁です。「現代の日常語を書きしるすのに必要と思われる語を中心に選びました」というこの字典は、手紙やビジネス文書などを作成するのに大変役立ちます。たとえば同じ読み方の漢字で、どちらを使うのが正しいか迷った時に、あるいはどんな漢字が忘れてしまった時に

大活躍。アイウエオ順で配列され、用例も示されています。さらに、ペン字の書体も掲載。サイズも10.2×17.1cmなので場所もとりませんし携帯にも便利。使いやすさに気を配った実用性の高い一冊です。
ご希望の方は、同封の振込用紙で同窓会事務局までお申し込みください。(販売価格1冊1,000円)
なお、売り切れの場合はご容赦ください。



お知らせ~事務局~

本部役員一覧表

1995.11.20現在

役職	氏名	卒回
会長	萩原 市郎	10
相談	磯野 齊	3
顧問	南部 俊一	9
副会長	玉岡 浩	12
(財務部広報部担当)		
〃 (支部長会担当)	太田 一澄	17
〃 (総務部組織部担当)	水納 敏也	25
事務局 長	陰下 嘉典	16
広報部 担当	前田 悦子	13
総務部 〃	上野満里子	14
財務部 〃	打出 清	20
組織部 〃	鶴谷 利一	28
組織部 〃	平尾 哲男	28
〃 部長	車野 修三	27
〃 部長	森 政彦	33
総務部 〃	津秋 靖博	29
〃 〃	福元 輝雄	37
財務部 〃	中村 敏啓	31
〃 〃	大西 健介	35
広報部 〃	波根 伸俊	32
〃 〃	神田 博	30
名誉会	渡辺 達好	3
〃	山上 善彦	2
〃	長岡 辰生	5
〃	桑津 昇	11
〃	長尾 晃	8
〃	中村美智子	13
〃	植村 祐三	32

同窓会会員名簿は、現在、同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、
1、郵便番号による都道府県市町村別会員名簿作成
2、ゼミ別会員名簿作成
3、卒業回数別会員名簿作成
4、クラブ別会員名簿作成
5、業種別会員名簿作成
6、封筒用漢字ラベル作成
などのアウトプットが可能です。

異動があったときは ただちに連絡ください。

- 住所変更 ●呼称変更
 - 勤務先変更 ●所属部課異動
 - 役職異動 ●電話番号変更
- などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。
- とくに、官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申し上げます。

平成4年度版(平成5年3月発行) 同窓会名簿を販売しています。

新名簿を販売しています。
ぜひ購入して有効に活用してください。

〈収録概要〉

◇第1回卒業生より第58回卒業生
(平成4年3月卒業)
◇創設時より平成4年3月までの
大学院の卒業生

〈申し込み方法〉

◇郵便振込
同封の払込用紙をご利用ください。

(注)郵便局をご利用になれば払
込手数料はいりません。

◇現金書留
送付先/〒533

大阪市東淀川区大隅 21218

大阪経済大学同窓会
名簿係宛

◇価格
一冊 ¥6,000(送料込み)



◇お問い合わせ先
大阪経済大学同窓会事務局
〒06・328・2431代

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で、『澱江』を育てよう! 1,000円にご協力を!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました澱江購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集者一同は、この力強いご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、一ふんばり、二ふんばり頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局をご利用になれば振込手数料は不要です)

● ご注意 ●

最近皆さまのお手元に、複数の出版社等から、大阪経済大学同窓会名簿の制作に当たってという名目で、調査カード並びに購入の勧誘が届いていることと思えます。この件についてさまざまなお問い合わせが寄せられていますが、同窓会本部とは一切関係がありません。ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

編集後記

▼引き続き激動の1995年でした。母校で学んだことを思い起こし、会員諸氏のご健闘を祈ります。

▼本年は、新年早々、大震災で、被害にあわれた同窓生の皆様、関係者の皆様、心よりお見舞い申し上げます。

▼支部活動は昨年同様ますます活発に、職域、業種等、より一層の組織活動を展開し同窓会本部にご連絡ください。

▼『会員名簿』の購入、「澱江購読料」へのご協力をお願いします。

▼澱江の編集スタッフも若返りました。今後も親しまれる機関紙を目指しますので、ご協力お願いします。

▼未筆ながら、多数のご投稿ならびに取材にご協力いただいた方々に心より感謝いたします。

逍遙歌

作詞 中村行男(16回卒)
作曲 松川圭一(15回卒)

- 比叡 城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえは
薰風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり
- 水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変わるまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を
- 踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな比の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

学園歌

作詞 黒正 巖
(昭和高商初代校長)
作曲 水野康孝
(元本学教授)

- 商都の東北澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の玄野原
- 一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標
- 黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八衝を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

学歌

作詞 秋本吉郎
(元本学教授)
作曲 柴田南雄
(放送大学教授)

- 大淀の 水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁みる
この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学
- 大樟の 蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

でんこう
澱江
1995

■発行日 1995年12月20日
■編集 同窓会広報部
■発行所 大阪経済大学同窓会
〒533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話(06)328-2431
■印刷 凸版印刷株式会社
〒553 大阪市福島区海老江3-22-61
電話(06)454-3256



KEIDAI
O S A K A